

にし も や た

# 西下谷田遺跡

— 古代編Ⅱ —

平成20年3月

宇都宮市教育委員会



西下谷田遺跡周辺航空写真

## 序

本遺跡は、宇都宮市南部の茂原町に清掃工場を建設するのに先立ち発掘調査を実施したその調査結果を報告するものです。本遺跡内には、全国的にあまり発見例がない「評家」跡と考えられる遺構が確認されています。すでに弥生・古墳時代前期の遺構と古代の遺構の一部を報告いたしましたが今回は、この特殊な遺構に隣接する集落跡や、それに先行する古墳時代後期の古墳群について報告します。

本報告書が、本県の古代の歴史を解明する上で、参考となれば幸いです。

最後になりましたが、本調査及び報告書の作成にあたり、ご尽力を賜りました、栃木県教育委員会及び埋蔵文化財センターの方々には厚く御礼申し上げます。

平成20年3月30日

宇都宮市教育委員会

教育長 伊藤文雄

## 例 言

- 1 本報告書は、栃木県宇都宮市茂原町宇西下谷田に所在する西下谷田遺跡のうち、古代の遺構に関する発掘調査報告書である。
- 2 本調査は、宇都宮市清掃工場建設に伴い、宇都宮市環境部より宇都宮市教育委員会に依頼されたものである。
- 3 調査は、4次にわたり実施した。第1次調査が平成8年12月10日～平成9年3月31日、第2次調査が平成9年5月25日～平成10年3月31日、第3次調査が平成10年4月2日～平成11年3月31日、第4次調査が平成11年6月15日～平成11年11月4日に実施した。本報告では、3次と4次調査分を中心に古代の遺構について報告する。
- 4 調査面積は、第1次調査が約10,800㎡、第2次調査が約23,000㎡、第3次調査が約23,000㎡、第4次調査が2,300㎡である。
- 5 発掘調査での測量、写真撮影等は、京極隆利、吉澤宣行がこれにあたった。
- 6 遺構・遺物の整理、実測などは、大澤順子、君島朱美、澤村有紀子、大野節子、大森八重子、鈴木芳子、福田貴久栄、樋口静子、鈴木道子、川津淳子、阿久津とよ子の協力得て、今平利幸がこれにあたった。また、遺物の写真撮影は、今平利幸、大澤順子、君島朱美、澤村有紀子がこれにあたった。
- 7 本書の執筆は今平がこれにあたった。
- 8 本遺跡出土の遺物及び図面・写真は、宇都宮市教育委員会で保管している。
- 9 発掘調査の関係者は次のとおりである。

### 〔指導助言〕

宇都宮市文化財保護審議委員会委員 堀静夫  
 ＊ 大金宣亮（故人）  
 ＊ 橋本澄朗

### 事務局

#### <発掘調査時>

教育長	大塚一之	
教育次長	阿部将樹	
文化課長	桜井敬明	
文化課長補佐	西田秀雄	
文化財保護係長	手塚英男	
文化財保護係	梁木 誠	高野欽哉
＊	小松俊雄	吉澤宣行
＊	大塚雅之	清水正幸
＊	神野安伸	
＊	富川 努	
＊	栗原武夫	
＊	増山孝之	
＊	京極隆利	
＊	今平利幸	

#### <報告書作成時>

教育長	伊藤文雄
教育次長	高井 徹
文化課長	篠崎 茂
文化課長補佐	篠原 豊
文化財保護係長	大塚雅之
文化財保護係	井上俊邦
＊	神野安伸
＊	富川 努
＊	増山孝之
＊	今平利幸
＊	須田浩太郎
＊	前原義之
＊	黒須 寛
＊	寛 芳子

(発掘調査補助員)







今井トキ 大越ミカ 栗原利江 佐々木績 篠原キヨノ 鈴木サク 鈴木二郎 高嶋好子  
田村フミ子 寺内ミキ 野沢一 橋本キク江 橋本尚子 藤田幸子 藤沼チヨ 山崎テル  
山崎ミイ 吉成千代子 遠井文子 鈴木雅人 山崎末子 高山礼子 吉田弘 橋本一夫  
児玉祐美子 細野誠 寶島幸子 山崎徹 清水豊 植松雄介 粒良江美 中村一也 平井健一郎

10 発掘調査及び報告書作成においては、次の諸機関、諸氏にご協力を頂いた。記して感謝の意を表する。

(敬称略・順不同)

栃木県教育委員会文化財課、財団法人とちぎ生涯学習文化財埋蔵文化財センター、宇都宮市環境部、  
大川清、田辺征夫、竹澤謙、岩上照朗、中山晋、田熊清彦、小森哲也、大橋泰夫、秋元陽光、板橋正幸、  
塚原孝一、内山敏行

## 凡 例

- 1 挿図の縮尺は、竪穴住居跡などの遺構が1/60とし、遺物は1/3で示した。また、遺物実測図番号は遺構平・断面図の番号及び図版の遺物番号と一致する。
- 2 断面図基準線は標高であり、平面図の方位は真北を示す。
- 3 遺構実測図の土層説明においては、次の略号を使用した。  
ロームブロック…RB ローム粒…RR 今市バミス…IP 七本桜バミス…SP 鹿沼バミス…KP  
焼土粒…SY 焼土ブロック…SYB 炭化物…C
- 4 遺構においては次の略号を使用した。  
竪穴住居跡…SI 掘立柱建物跡…SB 溝…SD 土坑…SK 不明…SX
- 5 土層断面図において  は黒色地山、 はローム層、 は鹿沼軽石層を示す。
- 6 遺構平面図において  は粘土、 は焼土、 は炭化物を示す。

# 目 次

## 序・例言・凡例

### I はじめに

- 1 調査の経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 遺跡の環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  - (1) 地理的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  - (2) 歴史的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

### II 調査概要

- 1 竪穴住居跡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 2 掘立柱建物跡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
- 3 溝状遺構・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
- 4 土坑・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
- 5 井戸・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
- 6 古墳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
  - (1) 1号墳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
  - (2) 2号墳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
  - (3) 3号墳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
  - (4) 4号墳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
  - (5) 5号墳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
- 7 鉄製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
- 8 遺構外出土物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81

### III おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82

## 图 版 目 次

第1图 调查範圍全体图 . . . . . 2	第34图 Ⅲ·Ⅳ次調査区SB平·断面图(1) . . . . . 40
第2图 Ⅲ次B区全体图 . . . . . 3	第35图 Ⅲ·Ⅳ次調査区SB平·断面图(2) . . . . . 41
第3图 Ⅲ次調査区全体图 . . . . . 4	第36图 I次調査区SD平·断面图 . . . . . 43
第4图 Ⅳ次調査区全体图 . . . . . 5	第37图 Ⅱ次調査区SD平·断面图(1) . . . . . 45
第5图 遺跡分布图 . . . . . 8	第38图 Ⅱ次調査区SD平·断面图(2) . . . . . 46
第6图 SI60平·断面图 . . . . . 12	第39图 Ⅱ次B区SD平·断面图 . . . . . 47
第7图 SI65平·断面图 . . . . . 13	第40图 Ⅱ次C区SD平·断面图 . . . . . 48
第8图 SI66平·断面图 . . . . . 13	第41图 Ⅲ次調査区SD平·断面图 . . . . . 50
第9图 SI77平·断面图 . . . . . 14	第42图 Ⅲ次B区SD平·断面图(1) . . . . . 51
第10图 SI80平·断面图 . . . . . 15	第43图 Ⅲ次B区SD平·断面图(2) . . . . . 52
第11图 SI81平·断面图 . . . . . 16	第44图 Ⅲ次B区SD平·断面图(3) . . . . . 53
第12图 SI83平·断面图 . . . . . 17	第45图 溝出土遺物実測图 . . . . . 54
第13图 SI84平·断面图 . . . . . 17	第46图 Ⅱ次調査区SK平·断面图(1) . . . . . 56
第14图 SI85平·断面图 . . . . . 18	第47图 Ⅱ次調査区SK平·断面图(2) . . . . . 57
第15图 SI86平·断面图 . . . . . 18	第48图 Ⅲ次B区SK平·断面图(1) . . . . . 58
第16图 SI87平·断面图 . . . . . 19	第49图 Ⅲ次B区SK平·断面图(2) . . . . . 59
第17图 SI87 <sup>rr</sup> 平·断面图 . . . . . 20	第50图 Ⅲ次B区SK平·断面图(3) . . . . . 60
第18图 SI88平·断面图 . . . . . 20	第51图 土坑出土遺物実測图 . . . . . 61
第19图 SI89平·断面图 . . . . . 21	第52图 Ⅱ·Ⅲ次調査区SE平·断面图 . . . . . 63
第20图 SI90·91平·断面图 . . . . . 22	第53图 1号墳平面图 . . . . . 65
第21图 SI92平·断面图 . . . . . 23	第54图 1号墳周溝断面图 . . . . . 66
第22图 SI93平·断面图 . . . . . 23	第55图 1号墳主体部平·断面图 . . . . . 67
第23图 SI94平·断面图 . . . . . 24	第56图 2号墳平·断面图 . . . . . 70
第24图 SI96平·断面图 . . . . . 24	第57图 2号墳主体部平·断面图 . . . . . 71
第25图 SI97平·断面图 . . . . . 25	第58图 3号墳平·断面图 . . . . . 72
第26图 SI65·66出土遺物実測图 . . . . . 26	第59图 3号墳主体部平·断面图 . . . . . 73
第27图 SI77·80出土遺物実測图 . . . . . 27	第60图 4号墳平·断面图 . . . . . 75
第28图 SI81出土遺物実測图 . . . . . 28	第61图 4号墳主体部平·断面图 . . . . . 76
第29图 SI83·84·85出土遺物実測图 . . . . . 29	第62图 5号墳平·断面图 . . . . . 77
第30图 SI87出土遺物実測图 . . . . . 30	第63图 5号墳主体部平·断面图 . . . . . 78
第31图 SI89出土遺物実測图 . . . . . 31	第64图 古墳出土遺物実測图 . . . . . 79
第32图 SI90·91·92·93出土遺物実測图 . . . . . 32	第65图 鉄製品実測图 . . . . . 80
第33图 SI94·96·97出土遺物実測图 . . . . . 33	第66图 遺構外出土遺物実測图 . . . . . 81

## 目 次

第1表 調査経過表	1	第7表 出土遺物観察表(5)	38
第2表 周辺遺跡一覧表	9	第8表 SK一覧表	55
第3表 出土遺物観察表(1)	34	第9表 土坑出土遺物観察表	61
第4表 出土遺物観察表(2)	35	第10表 井戸一覧表	62
第5表 出土遺物観察表(3)	36	第11表 鉄製品観察表	80
第6表 出土遺物観察表(4)	37	第12表 遺構外出土遺物観察表	81

## 写 真 図 版

PL 1 ①SI65完掘状況	PL 4 ①SK732完掘状況
②SI66完掘状況	②SK733セクション
③SI77完掘状況	③SK735完掘状況
④SI77遺物出土状況	④SK737完掘状況
⑤SI80完掘状況	⑤SK737セクション
⑥SI81完掘状況	⑥SK739セクション
⑦SI83完掘状況	⑦SK747完掘状況
⑧SI84・86完掘状況	⑧SK747セクション
PL 2 ①SI87完掘状況	PL 5 ①SK748セクション
②SI88完掘状況	②SK748完掘状況
③SI89完掘状況	③SK751セクション
④SI89遺物出土状況	④SK751完掘状況
⑤SI90・91セクション	⑤1号墳完掘状況
⑥SI90・91完掘状況	
⑦SI92完掘状況	PL 6 ①1号墳石室
⑧SI93完掘状況	②1号墳周溝埋土状況
PL 3 ①SI94完掘状況	③1号墳墓道
②SI96完掘状況	④1号墳墓道閉塞石
③SI97完掘状況	⑤1号墳石室確認状況
④SB21完掘状況	⑥1号墳石室完掘状況
⑤SB23完掘状況	
⑥SE05セクション	PL 7 ①2号墳完掘状況
⑦SK730セクション	②2号墳石室完掘状況
⑧SK731セクション	③3号墳完掘状況



PL 8 ①3号墳墓道セクション

②4号墳石室完掘状況

③4号墳完掘状況

PL 9 ①5号墳完掘状況

②5号墳墓道完掘状況

③5号墳石室完掘状況

PL10 ①古墳群遠景

PL11 ①SI65出土遺物

②SI66出土遺物

PL12 ①SI77出土遺物

②SI80出土遺物(1)

PL13 ①SI80出土遺物(2)

②SI81出土遺物(1)

PL14 ①SI81出土遺物(2)

PL15 ①SI83出土遺物

②SI84出土遺物

PL16 ①SI85出土遺物

②SI87出土遺物

PL17 ①SI89出土遺物

PL18 ①SI90出土遺物

②SI91出土遺物

③SI92出土遺物

PL19 ①SI93出土遺物

②SI94出土遺物

③SI96出土遺物

④SI97出土遺物

PL20 ①溝出土遺物

②土坑出土遺物

PL21 ①古墳出土遺物

②鉄製品(1)

PL22 ①鉄製品(2)

②遺構外出土遺物

# I. はじめに

## 1. 調査の経過

清掃工場建設に先立ち、平成8年3月1日から31日にかけて実施した確認調査の結果、堅穴住居跡8軒、掘立柱建物跡が数棟、溝、土坑が確認できた。このことから、平成8年度～11年度にかけて4次にわたる本調査を実施した。調査は、調査区を4ブロックに分け、工事の進捗状況に合わせて実施した。それぞれの調査期間と調査面積は次のとおりである。

なお、市が調査した部分の南側を、下水道資源化工場建設に先立ち、平成9年10月1日～平成12年3月30日の期間で、(財)とちぎ生涯学習財団が発掘調査を実施し、7～8世紀にかけての遺構などを確認している。その調査の際にも、古墳時代前期の堅穴住居跡2軒と土坑1基が確認されている。

調査次	調査期間	調査面積 ㎡	調査内容
第Ⅰ次	平成8年12月10日～9年3月31日	10,800	奈良時代の堅穴住居跡21軒、掘立柱建物跡4棟、平安時代の墓壇1基ほか (北側調査区)
第Ⅱ次	平成9年5月25日～10年3月31日	23,000	奈良時代の堅穴住居跡3軒、掘立柱建物跡1棟、鍛冶遺構1軒、平安時代の墓壇1基、時期不明の溝跡5条 (南側調査区) 飛鳥時代の掘立柱建物跡3棟・柱穴列、奈良時代の堅穴住居跡32軒、掘立柱建物跡9棟、井戸跡3基、平安時代の墓壇13基、時期不明の溝跡8条
第Ⅲ次	平成10年4月2日～11年3月31日	23,000	古墳時代前期の堅穴住居跡15軒、掘立柱建物跡1棟、古墳時代後期の円墳5基、奈良時代の堅穴住居跡17軒、掘立柱建物跡2棟
第Ⅳ次	平成11年6月15日～4年11月14日	2,300	弥生時代の堅穴住居跡1軒、奈良時代の堅穴住居跡4軒ほか

第1表 調査経過表

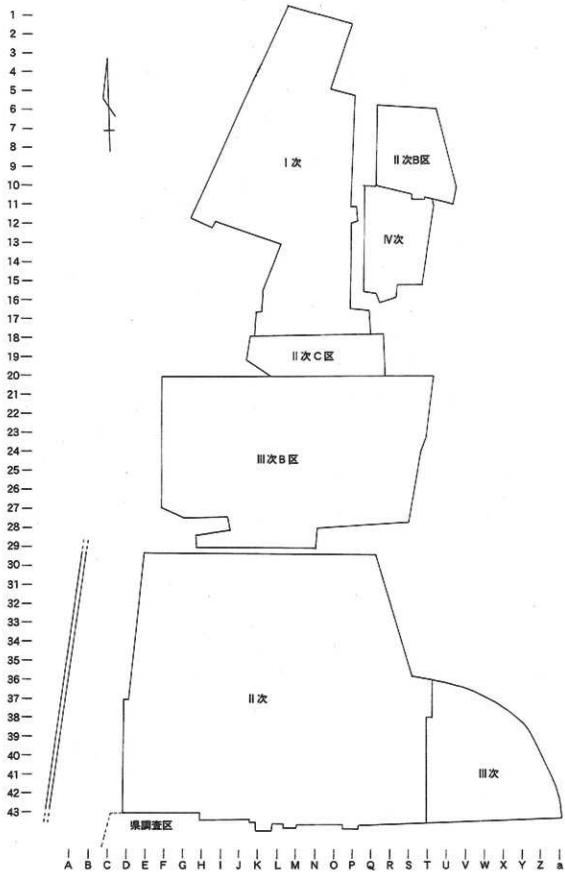
第1図は、調査区配置図である。台地の東側には谷が入り、その東斜面上に遺跡は立地する。今回の報告は、既に報告した第Ⅰ次調査・第Ⅱ次調査の古代の遺構及び第Ⅲ次調査の古墳時代前期の遺構と第Ⅳ次調査区の弥生時代の遺構以外の遺構について報告する。

測量の際の基準杭は、国家座標を基準とし南北軸を10mごとに北から1～43まであり、東西方向を10mごとに西からA～aまであった。

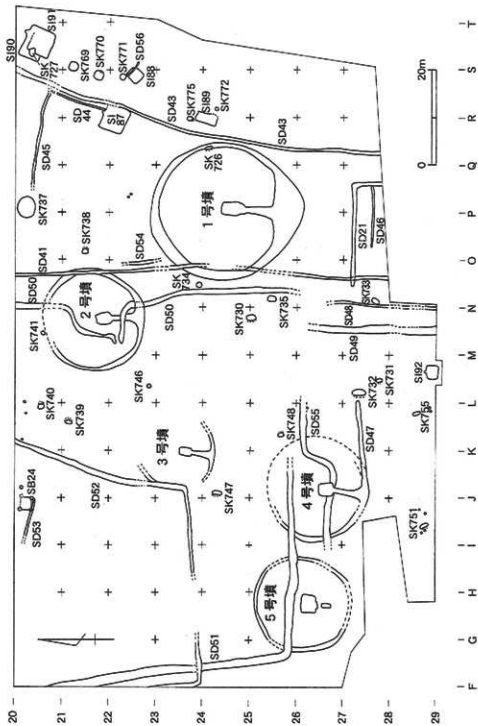
第2図は、Ⅲ次B区調査の遺構配置図である。古墳時代後期の円墳が5基確認されたほか、古代の堅穴住居跡も古墳を避けるように6軒(SI87～SI92)確認されている。

第3図は、Ⅲ次の遺構配置図である。今回はこのうちのⅢ次調査の古代遺構分(SI60～SI86)の11軒を報告する。

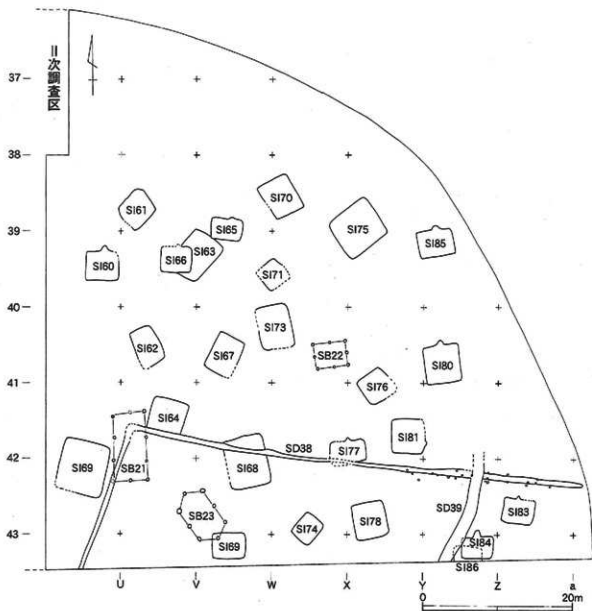
第4図は、Ⅳ次調査の遺構配置図である。弥生時代の住居跡1軒(SI95)、古代の堅穴住居跡4軒(SI93・SI94・SI96・SI97)と掘立柱建物跡1棟(SB25)が確認されており、ここではSI95以外について報告する。



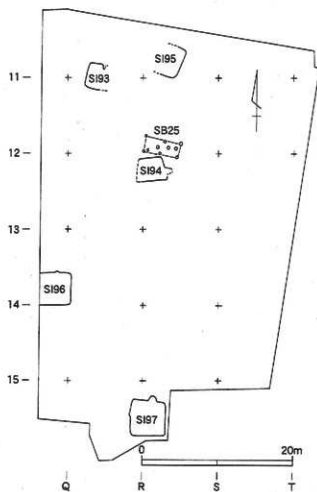
第1図 調査範囲全体図



第2图 Ⅲ次B区全体图(1/800)



第3図 III次調査区全体図 (1/500)



第4图 IV次調査区全体图(1/500)

## 2. 遺跡の環境

### (1) 地理的環境

西下谷田遺跡の所在する宇都宮市は、栃木県の中央部に位置し、関東平野の最奥部にあたる。本遺跡は、宇都宮市の中心から南方へ約10kmに所在し、すぐ南が宇都宮市と下野市と上三川町の3市町の境界となっている。

本遺跡は、姿川と田川に挟まれた宇都宮・祇園原台地上に立地する。標高は約80mを測る。また、遺跡の東側の神主台地との間に狭い谷が入る。調査前は雑木林と一部畑地であった。

次に、本遺跡周辺の歴史的環境について概略を述べる。

### (2) 歴史的環境

本遺跡の周辺で旧石器時代の遺物が確認されているのは、殿山遺跡、上神主・茂原遺跡、大日塚古墳、権現山北遺跡、薄市遺跡がある。殿山遺跡では、ナイフ形石器や石核等が出土している。また、上神主・茂原遺跡では暗色帯の下位から2箇所のブロックを確認し、ナイフ形石器やスクレイパーなど総数263点が出土して、薄市遺跡では、ハードローム層よりナイフ形石器や尖頭器が出土している。権現山北遺跡では旧石器時代とされる槍先形尖頭器が採取されている。

縄文時代の遺跡は、後志部古墳の調査で早期の条痕文系の土器、前期後半、後期前葉、晩期の土器片が出土し、薄市遺跡では早期・前期・晩期の遺物が確認されている。殿山遺跡では、早期～晩期にかけての遺物が出土しているが、量はそれほど多くない。市内の他の地域に比べるとこの時期の遺跡は少ない。

弥生時代中期になると、本遺跡で1軒の竪穴住居跡が確認されているほか、権現山北遺跡・愛宕塚東遺跡・上神主・茂原遺跡・殿山遺跡などで遺物が確認されており、この周辺に小規模なムラが点在している様子が窺える。

弥生時代末期には、殿山遺跡で21軒の竪穴住居跡が確認されていることからそれまでよりも大きなムラが登場したことがわかる。

さらに古墳時代前期になると、本遺跡をはじめ、大日塚古墳周辺や権現山北遺跡などこの時期の遺物を出土する遺跡の数も増え、本地域の首長墓と考えられる大日塚古墳・愛宕塚古墳・権現山古墳の3基の前方後墳が連続して築造される。

そして、これらの前方後墳に後続して造られるのが上神主浅間神社古墳である。直径58mの大型円墳で、方形墳から円形墳への転換期の古墳として注目される。この後、この地域の首長墓は、田川の東側の笹塚古墳（全長約100mの前方後円墳）を中心とする東谷古墳群に移るが、この神主台地上でも、後期になると狐塚古墳（全長41mの前方後円墳）、後志部古墳（全長46mの前方後円墳）、神主41号墳（全長40mの前方後円墳）、夜泣き止め塚古墳（径35mの円墳）が連続して造られる。狐塚古墳は帆立貝形で埴輪を持つことから6世紀前葉から中葉とされ、後志部古墳は基壇があり埴輪も持つことから6世紀後葉、神主41号墳は基壇があるが埴輪を持たないことから6世紀末葉の築造と考えられている（秋元2003）。この時期と重なる時期に本遺跡でも5期の円墳が築造される。

この時期の集落跡は、本遺跡では確認されていないが、周辺の権現山北遺跡、殿山遺跡では前期に引き続き集落が営まれている。特に殿山遺跡は、大規模な集落で、中・後期合せて447軒の住居跡が確認されている。また、本遺跡の南方約500mに位置する向原遺跡では後期の竪穴住居跡22軒、掘立柱建物跡10棟が確認され、本遺跡の古墳群との関連が想定される。

7世紀後半になると、本遺跡内に忽然と掘立柱扉による区画施設が出現する。区画の規模は、南北108

m×東西約150mで、その内側から大型の掘立柱建物跡や大型の堅穴建物跡、八脚門跡が確認されている。また、出土遺物の中に新羅系土器が数点含まれていることも注目される。これらの点から、「評家」等の官衛的な施設であると考えられている（板橋2006）。

この区画施設は8世紀初頭にはなくなり、本遺跡は一般的な集落として8世紀後半まで継続する。

この本遺跡の区画施設廃絶に代わり、東方約800mに位置する上神主・茂原官衛遺跡に官衛機能が移ったと想定されている。この遺跡は、人名瓦を多量に出土したことから従来上神主廃寺と言われてきたが、近年の調査により、「コ」の字状の掘立柱建物跡の配列をもつ政庁跡と大型総柱式掘立柱建物跡の倉庫群からなる河内郡家の可能性が指摘されている。また、ここから3.5kmほど南に所在する多功遺跡も、地業建物・掘立柱建物23棟が確認され、以前から河内郡家の可能性が指摘されている。このように、一郡内に複数の官衛遺跡がある例として両者の関係が注目されている。また、上神主・茂原官衛遺跡内では古代の幹道である東山道が確認されている。東山道はこの先北東に向かい、笹塚古墳の南側を通り、杉村遺跡・西刑部西原遺跡と続いていることが調査により判明している。

#### （参考文献）

秋元陽光 2003「上三川町における古墳の素描—古墳から見た古墳時代後期集団の抽出—」『栃木の考古学—一端静夫先生古稀記念論文集—』

秋元陽光ほか 1999『上神主・茂原遺跡Ⅰ』上三川町教育委員会

石部正志・秋元陽光ほか 1994『上神主浅間神社古墳・多功大塚山古墳』上三川町教育委員会

石部正志・秋元陽光ほか 1998『後志部古墳』上三川町教育委員会

板橋正幸 2006「第四章 まとめ」『西下谷田遺跡Ⅱ』栃木県教育委員会・（財）とちぎ生涯学習文化財団

大川清・吉岡秀範ほか 1995『栃木県上三川町殿山遺跡』上三川町教育委員会

久保哲三ほか 1979『権現山北遺跡』宇都宮市教育委員会

久保哲三ほか 1990『下野茂原古墳群』宇都宮市教育委員会

安永真一 2001『上神主・茂原 茂原向原 北原東』栃木県教育委員会・（財）とちぎ生涯学習文化財団





第5圖 遺跡分布圖

No.	遺跡名	所在地	備考
1	西下谷田遺跡	宇都宮市茂原町	古墳時代後期の円墳5基、飛鳥時代の官衙関連遺跡・平安時代の墓域。
2	茂原向原遺跡	宇都宮市茂原町	古墳～平安時代の集落跡。
3	上神主・茂原官衙遺跡	宇都宮市茂原町・上三川町上神主	奈良時代の官衙関連遺跡。
4	向原遺跡	上三川町朝堂ほか	古墳後期～平安の集落跡。
5	上ノ原遺跡	上三川町多功	古墳前期・奈良時代の集落跡。
6	殿山遺跡	上三川町上神主	旧石器・縄文・弥生～平安時代の集落跡。竪穴住居跡の総数は600軒を超えると報告されている。
7	北原東遺跡	宇都宮市茂原町	縄文時代の土坑23基、古墳時代の方墳1基、木棺墓1基。竪穴住居跡3軒。
8	愛宕塚東遺跡	宇都宮市茂原町	弥生～古墳の集落跡。
9	権現山北遺跡	宇都宮市茂原町	旧石器時代・弥生～平安の集落跡。
10	五領山古墳	宇都宮市茂原町	長軸22m、短軸18mの円墳、石室あり。
11	権現山古墳	宇都宮市茂原町	全長約63mの前方後方墳。
12	大日塚古墳	宇都宮市茂原町	全長36.5mの前方後方墳。
13	愛宕塚古墳	宇都宮市茂原町	全長約50mの前方後方墳。
14	神主古墳群	上三川町上神主ほか	上神主浅間神社古墳・狐塚古墳・後志部古墳を含む40基を超える古墳群。現状では円墳・方墳等27基の古墳が現存していると報告されている。
a	上神主浅間神社古墳	上三川町上神主	直径58mの円墳、底部穿孔土器あり。
b	上神主狐塚古墳	上三川町上神主	全長41mの前方後円墳。
c	上神主後志部古墳	上三川町上神主	全長46mの前方後円墳、円筒埴輪、形象埴輪(人物、鞍形、駢形)。
15	宇都宮機器南遺跡	宇都宮市下横田町	古墳時代の集落跡。
16	茂原北原遺跡	宇都宮市茂原町	奈良時代の集落跡。
17	西の前遺跡	宇都宮市茂原町	奈良時代の集落跡。
18	前畑遺跡	宇都宮市茂原町	奈良時代の集落跡。
19	小藪遺跡	宇都宮市茂原町	奈良時代の集落跡。
20	江面遺跡	宇都宮市茂原町	奈良時代の集落跡。
21	後志部東遺跡	上三川町上神主	古墳～平安時代の集落跡。
22	薄市遺跡	上三川町下神主	旧石器・縄文～平安時代の集落跡。
23	新出遺跡	上三川町大山	古墳～平安時代の集落跡。
24	粕内遺跡	上三川町川中子	縄文・古墳時代の集落跡。
25	大山遺跡	上三川町大山	弥生時代の集落跡。
26	二の谷北遺跡	上三川町多功	奈良時代の集落跡。
27	天神町北遺跡	上三川町多功	奈良時代の集落跡。
28	大山古墳群	上三川町大山	古墳時代の古墳。
a	長塚古墳	上三川町大山	中期の前方後円墳(全長約50m)。
b	瓢箪塚古墳	上三川町大山	後期の前方後円墳(全長43m)。
29	北原遺跡	下野市下古山	古墳～平安時代の散布地。
30	一本松遺跡	下野市下古山	奈良・平安時代の集落跡。竪穴住居跡19軒、井戸1基。
31	若林北遺跡	下野市下古山	古墳～平安時代の散布地。
32	若林南遺跡	下野市下古山	縄文時代の散布地。
33	谷端遺跡	下野市下古山	縄文・古墳～平安時代の散布地。
34	谷端北遺跡	下野市下古山	古墳～平安時代の散布地。
35	双子塚古墳	宇都宮市東谷町	全長約60mの前方後円墳。
36	笹塚古墳	宇都宮市東谷町	全長約100mの前方後円墳。
37	鷲舞塚古墳	宇都宮市東谷町	直径約50mの円墳。

第2表 周辺遺跡一覧表

## II. 調査概要

飛鳥～平安時代にかけての遺構は、Ⅲ次調査で竪穴住居跡16軒、掘立柱建物跡3棟、Ⅳ次調査で竪穴住居跡4軒、掘立柱建物跡1棟が確認された。以下、それぞれの遺構について記す。

### 1. 竪穴住居跡

#### SI60 (第6図)

位置 Ⅲ次調査区U-39南。平面形 南北4.0m×東西4.4mの方形。方位 N-1°-W 床面 ローム地山。壁 確認面から深さ50cm。壁溝 無。柱穴 4本。カマド 北カマド。遺物 実測可能な遺物は無。

#### SI65 (第7図)

位置 Ⅲ次調査区V-39東。平面形 南北3m×東西4.2mの長方形。方位 N-4°-E 床面 ローム地山。壁 確認面から深さ50cm。壁溝 南側の一部。柱穴 1本。カマド 北カマド。遺物 実測可能な遺物は土師器坏4、甕2。備考 四隅に土坑状の掘り込みあり。

#### SI66 (第8図)

位置 Ⅲ次調査区V-39南。平面形 南北3.3m×東西4.1mの長方形。方位 N-2°-E 床面 ローム地山。壁 確認面から深さ40cm。壁溝 無。柱穴 2本。カマド 北カマド。遺物 実測可能な遺物は土師器坏5、甕3。備考 北西から南東にかけて大きく攪乱を受けている。SI63を切る。

#### SI77 (第9図)

位置 Ⅲ次調査区X-42。平面形 南北2.9m×東西4.9mの長方形。方位 N-4°-W 床面 ローム地山。壁 確認面から深さ30cm。壁溝 無。柱穴 無。カマド 北カマド。遺物 実測可能な遺物は土師器坏3、甕1、須恵器高台付坏2、紡錘車1、刀子片1、鉄鏝片1。備考 南西隅に攪乱あり。SD38に切られる。

#### SI80 (第10図)

位置 Ⅲ次調査区Y-41東。平面形 南北5.2m×東西5.0mの方形。方位 N-6°-W 床面 ローム地山。壁 確認面から深さ40cm。壁溝 全周。柱穴 5本。カマド 北カマド。遺物 実測可能な遺物は須恵器坏1、土師器坏7、柄1、甕4。

#### SI81 (第11図)

位置 Ⅲ次調査区Y-42北。平面形 (古) 南北3.7m×東西4.0mの方形、(新) 南北4.5m×東西4.4mの方形。方位 N-2°-E 床面 ローム地山。壁 確認面から深さは古い時期のものが40cmで、新しい時期のものは20cm。壁溝 無。柱穴 12本。主柱穴は4本で建て替えにより、掘り直されている。カマド (古) 北カマド→(新) 東カマド。遺物 実測可能な遺物は須恵器坏2、土師器坏10、甕4、鉄鏝片2。備考 建て替えを行っている。

#### SI83 (第12図)

位置 Ⅲ次調査区Z-43東。平面形 南北3.3m×東西4.2mの長方形。方位 N-9°-E 床面 ローム地山。壁 確認面から深さ40cm。壁溝 無。柱穴 1本。カマド 北カマド。遺物 実測可能な遺物は土師器甕2、坏2、須恵器壺1。備考 北東側に攪乱あり。

#### SI84 (第13図)

位置 Ⅲ次調査区Z-43西。平面形 南北3.2m×東西4.2mの長方形。方位 N-1°-E 床面 ローム地山。壁 確認面から深さ80cm。壁溝 無。柱穴 2本。カマド 北カマド、煙道が長い。遺物 実

測可能な遺物は土師器坏7、紡錘車1。備考 SD19、SI86と切りあう。SI86を切る。

#### SI85 (第14図)

位置 Ⅲ次調査区Y-39。平面形 南北3.6m×東西5.0mの長方形。方位 N-12° -W 床面 ローム地山。壁 確認面から深さ40cm。壁溝 無。柱穴 無。カマド 北カマド。遺物 実測可能な遺物は土師器坏2、甕2。備考 カマド付近に攪乱あり。

#### SI86 (第15図)

位置 Ⅲ次調査区Y-43南西。平面形 南北1m×東西4.0mの方形? 方位 不明。床面 ローム地山。壁 確認面から深さ60cm。壁溝 無。柱穴 不明。カマド 東カマド。遺物 実測可能な遺物は無。備考 SI84に切られる。南側は県調査分SI510にあたる。

#### SI87 (第16図)

位置 Ⅲ次B調査区R-22。平面形 南北5.1m×東西5.4mの方形。方位 N-20° -E 床面 ローム地山。壁 確認面から深さ60cm。壁溝 東側以外。柱穴 4本。カマド 北カマド。遺物 実測可能な遺物は土師器坏5、甕5。

#### SI88 (第18図)

位置 Ⅲ次B調査区S-23北。平面形 南北2.8m×東西3.0mの方形。方位 N-46° -W 床面 ローム地山。壁 確認面から深さ70cm。壁溝 無。柱穴 2本。カマド 無。遺物 実測可能な遺物は無。備考 SD56に切られる。

#### SI89 (第19図)

位置 Ⅲ次B調査区R-24。平面形 南北2.3m×東西4.7mの長方形。方位 N-108° -E 床面 ローム地山。壁 確認面から深さ20cm。壁溝 無。柱穴 無。カマド 南カマド? 遺物 実測可能な遺物は土師器坏8、甕2、瓶1。

#### SI90 (第20図)

位置 Ⅲ次B調査区S-20南西。平面形 南北3.2m×東西5.3mの長方形。方位 N-22° -E 床面 ローム地山。壁 確認面から深さ50cm。壁溝 無。柱穴 1本? カマド 北カマド。遺物 実測可能な遺物は土師器坏6、鉢1、須恵器甕1。備考 SI91、SK727に切られる。

#### SI91 (第20図)

位置 Ⅲ次B調査区S-20南西。平面形 南北3.6m×東西4.2mの長方形。方位 N-24° -E 床面 ローム地山。壁 確認面から深さ50cm。壁溝 西側・北側と南側の一部。柱穴 4本。カマド 南カマド。遺物 実測可能な遺物は、土師器甕2。備考 SI90と切り合い関係。

#### SI92 (第21図)

位置 Ⅲ次B調査区M-29西。平面形 南北2.4m×東西2.7mの方形。方位 N-3° -E 床面 ローム地山。壁 確認面から深さ30cm。壁溝 東側に一部あり。柱穴 カマドの両脇に2本。カマド 北カマド。遺物 実測可能な遺物は須恵器坏2、蓋1。

#### SI93 (第22図)

位置 Ⅳ次調査区Q-11東。平面形 南北3.4m×東西1mの長方形。方位 N-10° -E 床面 ローム地山。壁 確認面から深さ70cm。壁溝 無 柱穴 4本? カマド 北カマド? 遺物 実測可能な遺物は須恵器坏2、土師器坏1、甕1。備考 東側は攪乱により割平。

#### SI94 (第23図)

位置 Ⅳ次調査区R-12南。平面形 南北3.0m×東西3.3mの方形?。方位 N-3° -W 床面 ローム地

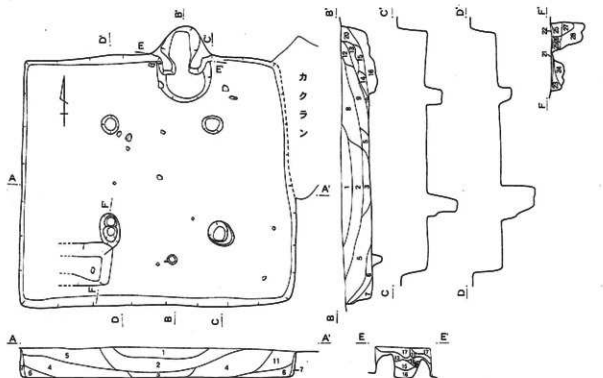
山。壁 確認面から深さ30cm。壁溝 無。柱穴 4本。カマド 不明。遺物 実測可能な遺物は土師器甕1、須恵器坏1。備考 攪乱あり。

### SI96 (第24図)

位置 IV次調査区Q-14。平面形 南北4.1m×東西4.1mの方形。方位 N-1°-W 床面 ローム地山。壁 確認面から深さ30cm。壁溝 無。柱穴 3本? カマド 北カマド。遺物 実測可能な遺物は須恵器坏2。

### SI97 (第25図)

位置 IV次調査区R-15南。平面形 南北4.8m×東西4.6mの方形。方位 N-4°-E 床面 ローム地山。壁 確認面から深さ80cm。壁溝 南側の一部。柱穴 6本。カマド 北カマド。遺物 実測可能な遺物は土師器坏1、皿1、須恵器高台付坏1、蓋1、刀子片、鉄鏝1、鉄薄1。備考 ゴボウ作付けのための攪乱あり。

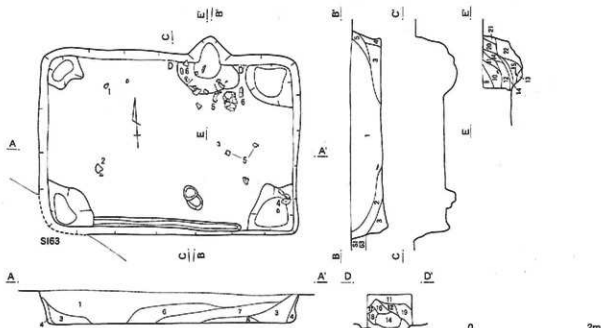


- 1 灰褐色土 (RR多、粘土粒)
- 2 黒褐色土 (RR多、R中や中、粘土粒、IP)
- 3 灰褐色土 (RR多、RB、C)
- 4 赤褐色土 (RR多、RB、大RB、粘土粒、IP、C)
- 5 灰褐色土 (RR多、小RB少、粘土粒、IP)
- 6 灰褐色土 (RR少)
- 7 淡褐色土 (RR多、小RB)
- 8 灰褐色土 (RRやや多、小RB少、粘土粒多、SY、C)
- 9 灰褐色土 (RR多、大RB、粘土粒やや多、SY、C)
- 10 赤褐色土 (RR多、RB、粘土粒、SY、焼熱している)
- 11 黄褐色土 (RR多、RB、粘土粒、SY)
- 12 赤褐色土 (RR多、RB、SY、粘土粒)
- 13 赤褐色土 (C-ム)
- 14 灰褐色土 (RR多、SY、粘土粒)
- 15 灰褐色土 (RR多、SY、粘土粒)

- 16 灰褐色土 (RR多、SY、SY、SY、粘土粒多、C)
- 17 灰褐色土 (RR多、小RB少、SY、粘土粒)
- 18 赤褐色土 (RR多、SY、C)
- 19 ロームブロック
- 20 赤褐色土 (RRやや多、RB、SY多、硬く硬まる、焼熱)
- 21 灰褐色土 (RRやや多、小RB少)
- 22 赤褐色土 (RR多、小RB少)
- 23 黄褐色土 (ローム主体)
- 24 赤褐色土 (RR多、小RB、C-ム)
- 25 黄褐色土 (RRやや多、大RB)
- 26 赤褐色土 (RRやや多、RB)
- 27 灰褐色土 (RR多、小RB多)
- 28 黄褐色土 (RR多、RB)

L=77.700m

第6図 SI97平・断面図

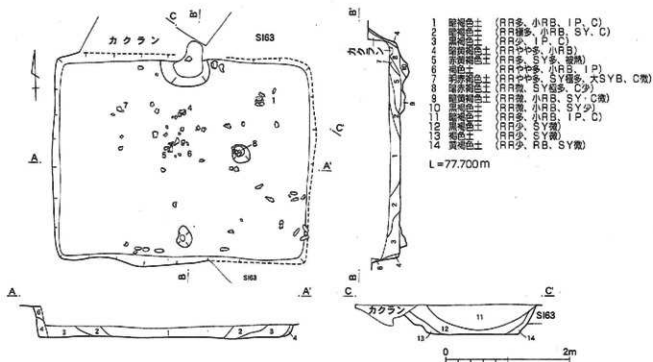


- 1 暗褐色土 (RR多, 大RB多, IP, C)  
 2 暗褐色土 (RR多)  
 3 暗褐色土 (RR多, 小RB多)  
 4 暗褐色土 (RR多, 小RB多)  
 5 暗褐色土 (RR多, 小RB多, 跡まりあるが柔らかい)  
 6 暗褐色土 (RR多)  
 7 暗褐色土 (RR多, RBやや多, 粘土粒, IP)  
 8 暗褐色土 (RR多, RB多, 粘土粒, IP)  
 9 暗褐色土 (RR多, 粘土粒やや少, 粘土B, 粘土塊)  
 10 暗褐色土 (RR多, 粘土粒やや多, SY, C)  
 11 暗褐色土 (RR多, 粘土粒やや多)  
 12 暗褐色土 (RR多, 粘土粒多, 粘土塊, SY, C  
 粘土は灰色系と粘土色の2種あり。)

- 13 暗褐色土 (RR多, ローム塊, SYやや多)  
 14 暗褐色土 (RR少, SY多, 粘土粒多)  
 15 暗褐色土 (RR少, RB, SY少, 粘土多)  
 16 暗褐色土 (粘土B主体, RR多, SY多)  
 17 暗褐色土 (RR少, 小RB, 粘土粒)  
 18 ローム塊  
 19 灰黄色土 (RR多, RB, 粘土粒やや多, 粘土B, SY少)  
 20 暗褐色土 (RR少, 小RB多, ローム塊, SY少, 粘土粒少)  
 21 暗褐色土 (RR多)  
 22 暗褐色土 (RR多, SY少, 粘土粒多)

L=77.700m

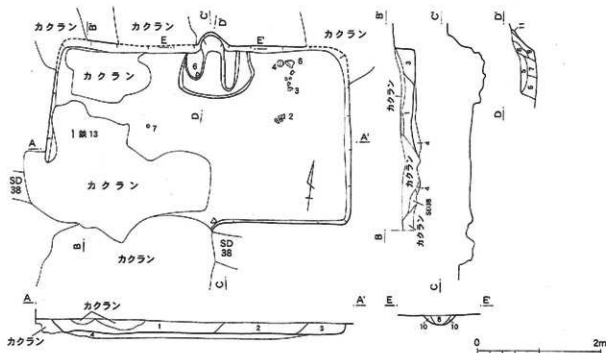
第7図 SI65平・断面図



- 1 暗褐色土 (RR多, 小RB, IP, C)  
 2 暗褐色土 (RR多, 小RB, SY, C)  
 3 暗褐色土 (RR少, IP, C)  
 4 暗褐色土 (RR多, 小RB)  
 5 暗褐色土 (RR多, SY多, 跡塊)  
 6 暗褐色土 (RR多, 小RB, IP)  
 7 暗褐色土 (RR多, 小RB, SY多, 大SYB, C塊)  
 8 暗褐色土 (RR多, SY多, C少)  
 9 暗褐色土 (RR多, 小RB, SY, C塊)  
 10 暗褐色土 (RR多, 小RB, SY少)  
 11 暗褐色土 (RR多, 小RB, IP, C)  
 12 暗褐色土 (RR少, SY多)  
 13 暗褐色土 (RR少, SY多)  
 14 暗褐色土 (RR少, RB, SY塊)

L=77.700m

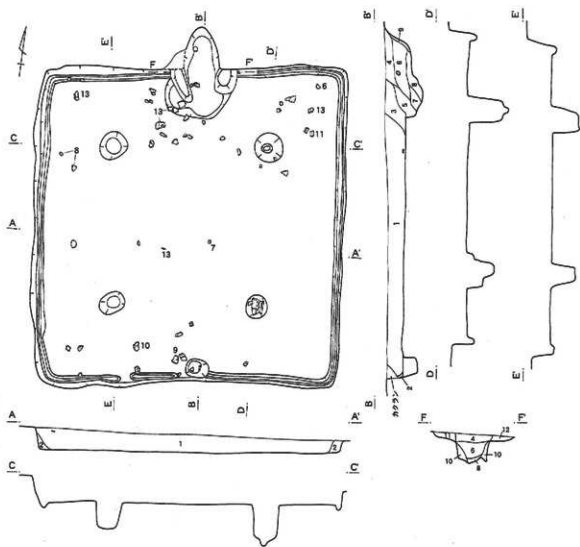
第8図 SI66平・断面図



- |   |                          |    |                           |
|---|--------------------------|----|---------------------------|
| 1 | 褐色土 (RR多、小RB、SYやや多、Cやや多) | 7  | 深褐色土 (RR微、SY多、SYB、C少、粘土微) |
| 2 | 褐色土 (RR多、小RB多、SY、C)      | 8  | 深褐色土 (RR微、SY多、粘土)         |
| 3 | 暗褐色土 (RR多、小RB少、SY微、Cやや多) | 9  | 深褐色土 (RR少、SY微、粘土微)        |
| 4 | 黄褐色土 (RRやや多、大RBやや多、はり多)  | 10 | 灰褐色土 (RR多、小RB多、SY少、C)     |
| 5 | 灰褐色土 (RRやや多、RB、SYやや多)    | 11 | 黄褐色土 (RR微、RB、SY微)         |
| 6 | 暗褐色土 (RR少、SYやや多、Cやや多)    |    |                           |

L=77.300m

第9図 SI77平・断面図



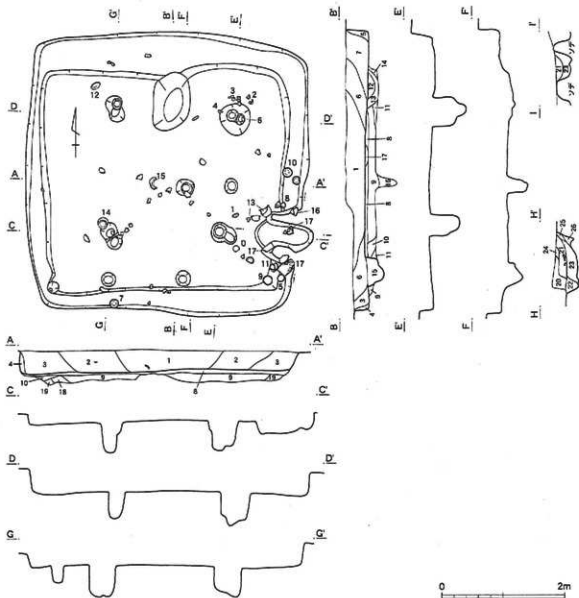
- 1 暗褐色土 (RR種多、小RB・IP微)  
 2 褐色土 (RR種多、小RB少)  
 3 褐色土 (RR種多、小RB・SY・C・粘土粒微)  
 4 暗褐色土 (RR種多、SYやや多、粘土粒・C微)  
 5 褐色土 (RR種少、SY・粘土粒微)  
 6 灰赤色土 (RR・小RB微、SY種多、小SYB微)  
 7 暗褐色土 (RR種、RB・SY少、C微)

- 8 暗褐色土 (RR・小RB少、SY・C微)  
 9 赤褐色土 (RR種少)  
 10 暗褐色土 (RR種少、やや多、C微、粘土少)  
 11 暗褐色土 (RR種少、やや多、C微、粘土少)  
 12 明黄色土 (RR種少、RR・SY・CR・粘土粒微)

L=77.30m

第10図 S180平・断面図



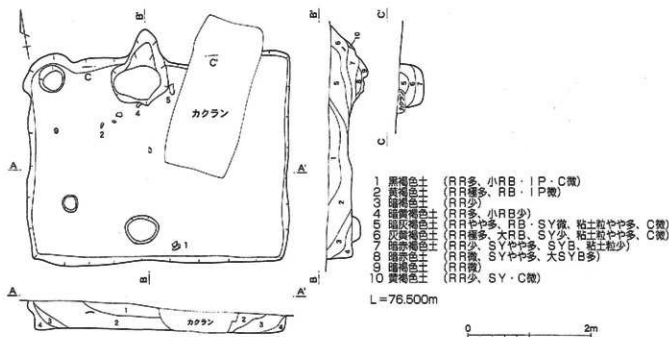


- |    |      |                          |
|----|------|--------------------------|
| 1  | 褐色土  | (RR多、大RB・SY少)            |
| 2  | 褐色土  | (RR多、大SYやや多、C)           |
| 3  | 暗褐色土 | (RR多、大P・C微)              |
| 4  | 暗褐色土 | (RR多、大RB)                |
| 5  | 暗褐色土 | (RR多、大RB・SY微、粘土粒少)       |
| 6  | 暗褐色土 | (RR多、大RB・C微、粘土粒少)        |
| 7  | 灰褐色土 | (RR多、大RB微、SY少、粘土粒やや多)    |
| 8  | 暗褐色土 | (RR多、大RBやや多、大RB少、C・粘土粒微) |
| 9  | 暗褐色土 | (RR多、大RB微、RB種多)          |
| 10 | 暗褐色土 | (RR多、大RB微)               |
| 11 | 暗褐色土 | (RR多、大RB微)               |
| 12 | 暗褐色土 | (RR多、大RB微)               |
| 13 | 灰褐色土 | (RR少、大RB、大RB・SY少、粘土粒種多)  |

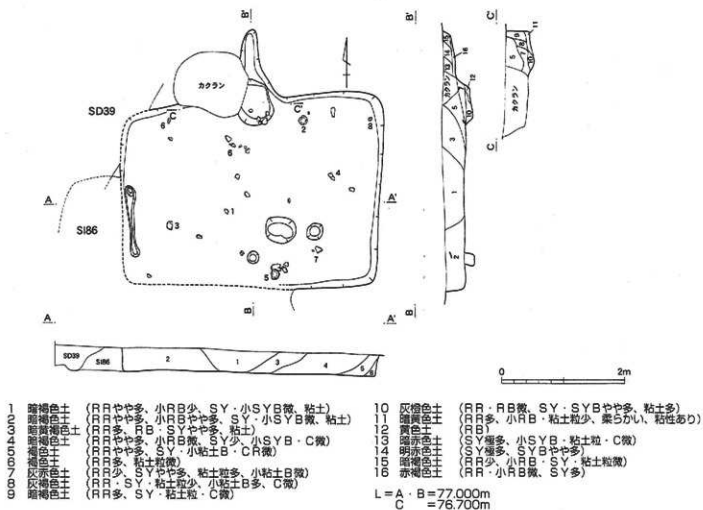
- |    |      |                      |
|----|------|----------------------|
| 14 | 暗褐色土 | (RR少、小RB微)           |
| 15 | 暗褐色土 | (RR多、C・粘土粒微)         |
| 16 | 暗褐色土 | (RR少、小RBやや多、柔らかい)    |
| 17 | 暗褐色土 | (SY種多、粘土粒微)          |
| 18 | 暗褐色土 | (RR・RB少、硬くしまる)       |
| 19 | 暗褐色土 | (RR多、RB少、柔らかいが網まりあり) |
| 20 | 暗褐色土 | (RR・SY少、CR微)         |
| 21 | 暗褐色土 | (RR少、SY種多)           |
| 22 | 暗褐色土 | (RR・RB少、SY微)         |
| 23 | 暗褐色土 | (RR・小RB、SY微)         |
| 24 | 暗褐色土 | (RR少、SY・C微)          |
| 25 | 暗褐色土 | (RR・SY微)             |
| 26 | 暗褐色土 | (RR微、小RB、SY・C微)      |

L=77.300m

第11圖 S181平・断面圖

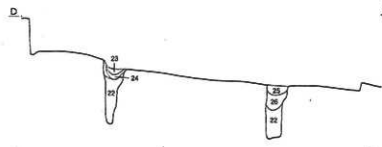
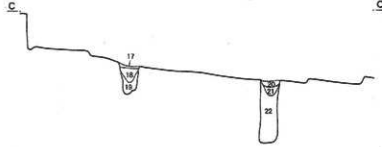
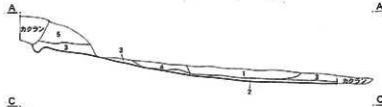
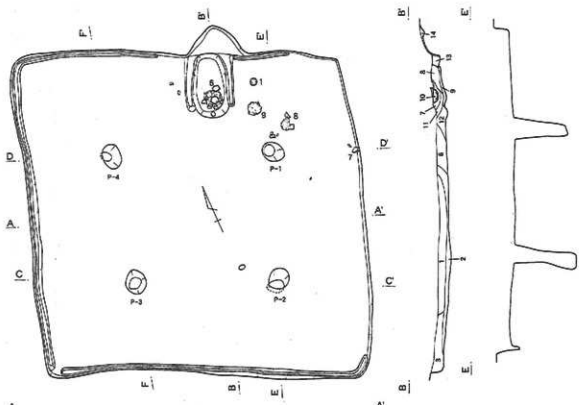


第12図 SI83平・断面図



第13図 SI84平・断面図



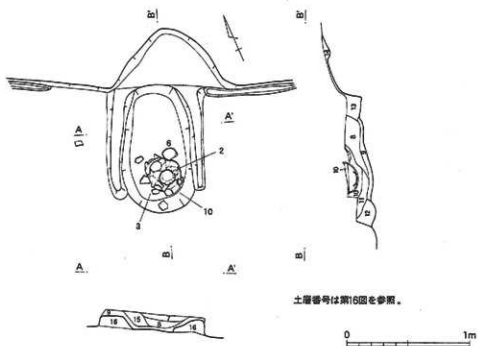


1	土	土	(P)
2	土	土	(P)
3	土	土	(P)
4	土	土	(P)
5	土	土	(P)
6	土	土	(P)
7	土	土	(P)
8	土	土	(P)
9	土	土	(P)
10	土	土	(P)
11	土	土	(P)
12	土	土	(P)
13	土	土	(P)
14	土	土	(P)
15	土	土	(P)
16	土	土	(P)
17	土	土	(P)
18	土	土	(P)
19	土	土	(P)
20	土	土	(P)
21	土	土	(P)
22	土	土	(P)
23	土	土	(P)
24	土	土	(P)
25	土	土	(P)
26	土	土	(P)
27	土	土	(P)
28	土	土	(P)
29	土	土	(P)
30	土	土	(P)
31	土	土	(P)
32	土	土	(P)
33	土	土	(P)
34	土	土	(P)
35	土	土	(P)
36	土	土	(P)
37	土	土	(P)
38	土	土	(P)
39	土	土	(P)
40	土	土	(P)
41	土	土	(P)
42	土	土	(P)
43	土	土	(P)
44	土	土	(P)
45	土	土	(P)
46	土	土	(P)
47	土	土	(P)
48	土	土	(P)
49	土	土	(P)
50	土	土	(P)
51	土	土	(P)
52	土	土	(P)
53	土	土	(P)
54	土	土	(P)
55	土	土	(P)
56	土	土	(P)
57	土	土	(P)
58	土	土	(P)
59	土	土	(P)
60	土	土	(P)
61	土	土	(P)
62	土	土	(P)
63	土	土	(P)
64	土	土	(P)
65	土	土	(P)
66	土	土	(P)
67	土	土	(P)
68	土	土	(P)
69	土	土	(P)
70	土	土	(P)
71	土	土	(P)
72	土	土	(P)
73	土	土	(P)
74	土	土	(P)
75	土	土	(P)
76	土	土	(P)
77	土	土	(P)
78	土	土	(P)
79	土	土	(P)
80	土	土	(P)
81	土	土	(P)
82	土	土	(P)
83	土	土	(P)
84	土	土	(P)
85	土	土	(P)
86	土	土	(P)
87	土	土	(P)
88	土	土	(P)
89	土	土	(P)
90	土	土	(P)
91	土	土	(P)
92	土	土	(P)
93	土	土	(P)
94	土	土	(P)
95	土	土	(P)
96	土	土	(P)
97	土	土	(P)
98	土	土	(P)
99	土	土	(P)
100	土	土	(P)

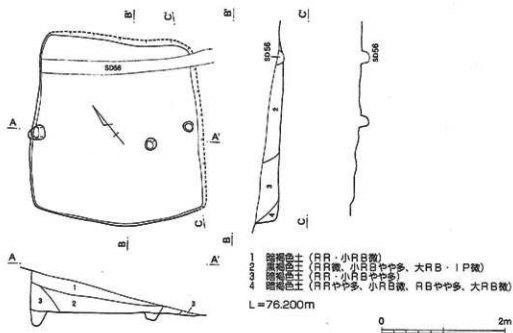
L = A - C - D = 78.400m  
 = B - E = 78.000m



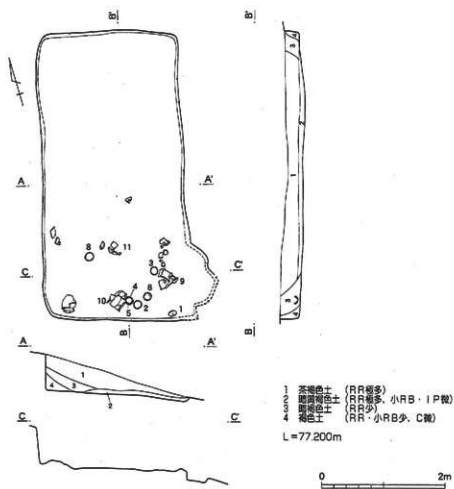
第16图 SI87平・断面图



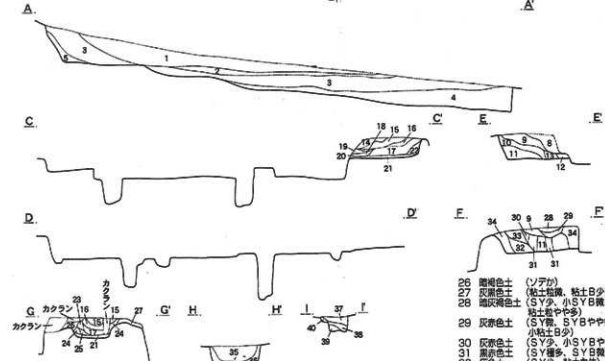
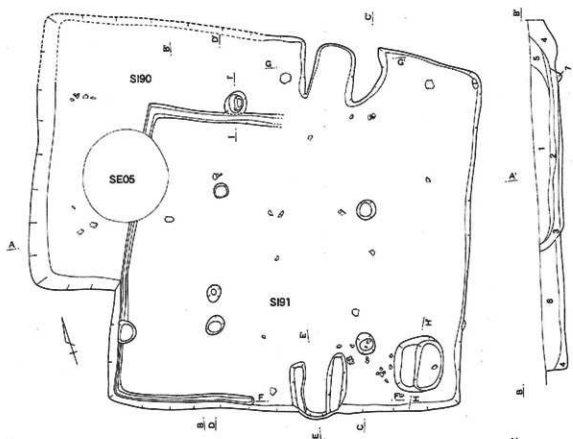
第17図 S187カマド平・断面図



第18図 S188平・断面図



第19圖 SI89平・断面圖

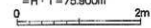


- 1 暗褐色土 (RR多, 小RB・IP・C微)
- 2 黄褐色土 (RR多, 小RB少, RBやや多)
- 3 暗褐色土 (RR少, IP微)
- 4 黒色土 (層くぼまっている)
- 5 暗黄褐色土 (RR多, 小RB微)
- 6 褐色土 (RR少, IP微, 粘土粒少)
- 7 暗褐色土 (RR多, 小RB・小IP微)
- 8 灰黒色土 (SY・小SYB少, 粘土粒やや多)
- 9 暗灰赤色土 (SY・小SYB微, 粘土粒多, 粘土B)
- 10 灰赤色土 (SY・SYB多, 粘土少)
- 11 黄赤色土 (SY多, SYB微)
- 12 赤色土 (SY多, 粘土微)
- 13 濃赤色土 (SY多, 粘土微)

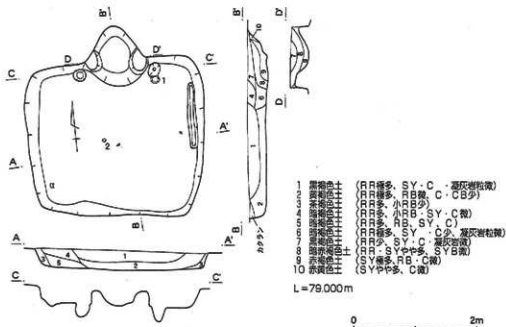
- 14 赤褐色土 (SY・粘土粒少, 粘土B微)
- 15 暗灰色土 (SY・小SYB微, 粘土粒多, 粘土Bやや多, 粘土微)
- 16 明灰赤色土 (SY多, 粘土粒少, 粘土微)
- 17 暗灰赤色土 (SYやや多, 粘土粒少)
- 18 灰赤色土 (SYやや多, 小SYB微, 大SYB, 粘土粒やや多)
- 19 暗赤色土 (SY多, 小SYB, 粘土粒微, 小粘土B)
- 20 淡赤色土 (SY多)
- 21 濃赤色土 (SY・粘土粒微)
- 22 暗赤色土 (SY多, SYB微)
- 23 赤色土 (SY・粘土粒少, 小粘土B微)
- 24 明灰赤色土 (粘土主体, SY微)
- 25 灰赤色土 (SY・SYB・粘土粒微)

- 26 暗褐色土 (ソテカ)
- 27 灰赤色土 (粘土粒微, 粘土B少)
- 28 暗灰褐色土 (SY少, 小SYB微, 粘土粒やや多)
- 29 灰赤色土 (SY微, SYBやや多, 粘土粒多, 小粘土B少)
- 30 灰赤色土 (SY少, 小SYBやや多)
- 31 黄赤色土 (SY多, SYB微)
- 32 灰赤色土 (SY少, 粘土主体)
- 33 暗灰赤色土 (SY微, 粘土粒多, 粘土多)
- 34 灰赤色土 (SY微, 粘土粒少)
- 35 暗褐色土 (SY・粘土粒微)
- 36 黒色土 (RR微, IP微)
- 37 褐色土 (RRやや多, 小RB微)
- 38 暗黄褐色土 (RR多, 小RB微)
- 39 黄褐色土 (RR多)
- 40 暗褐色土 (RR・小RB微, 小SYB)

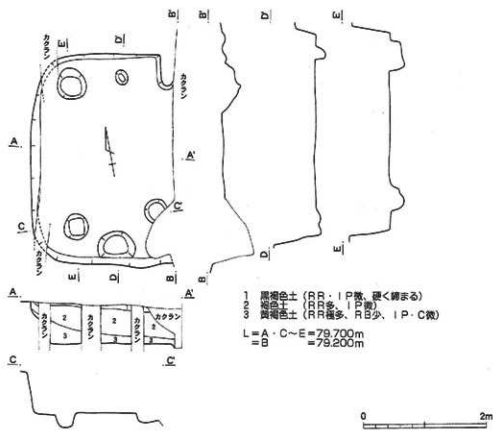
L = A = 77.100m  
 = B ~ G = 76.300m  
 = H・I = 75.900m



第20図 SI90・91平・断面図

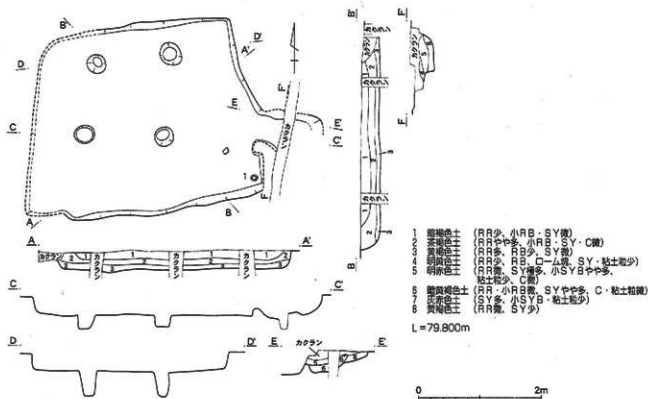


第 21 图 SI92 平・断面图

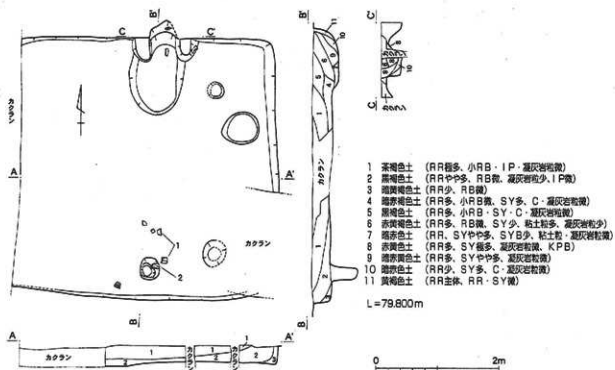


第 22 图 SI93 平・断面图

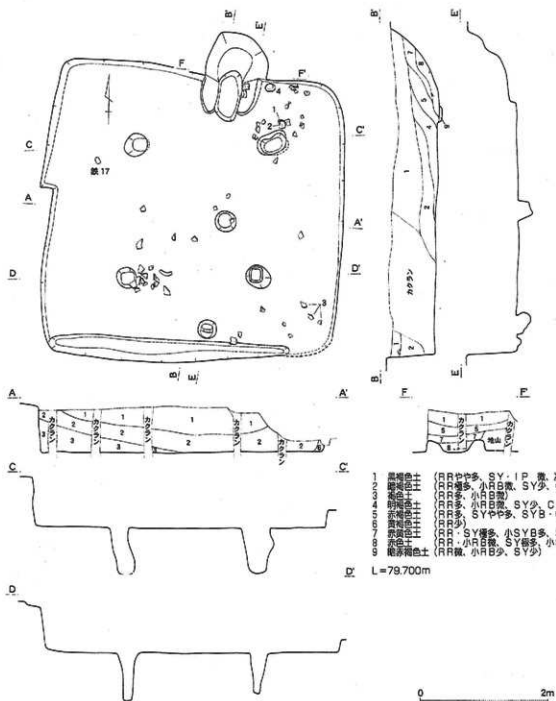




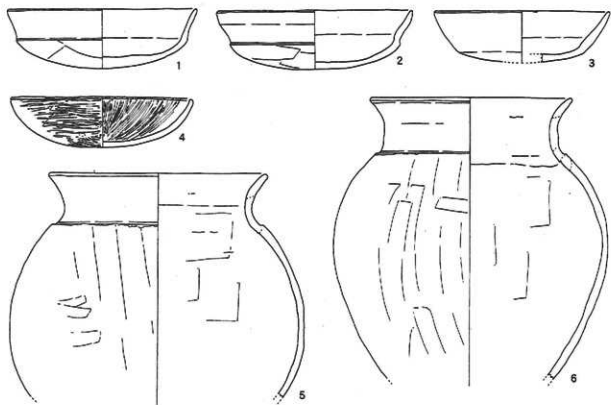
第23図 SI94平・断面図



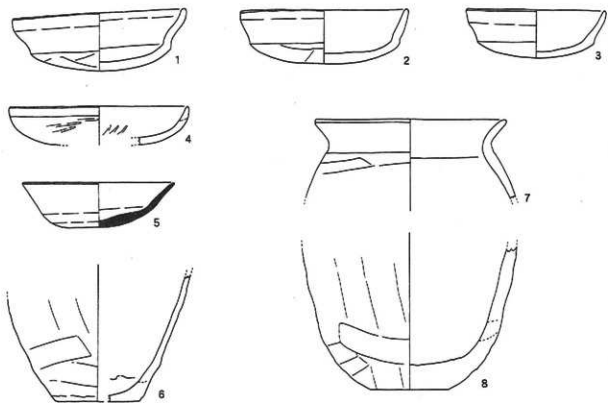
第24図 SI96平・断面図



第 25 图 SI97 平·断面图



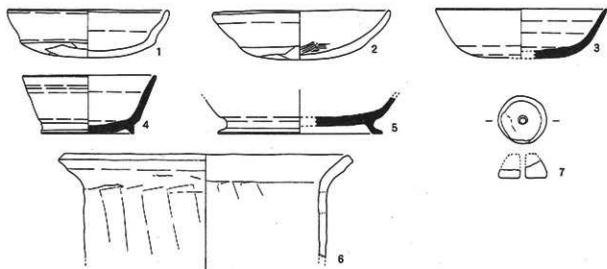
S165



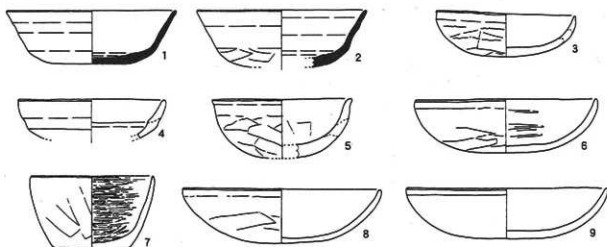
S166

0 10cm

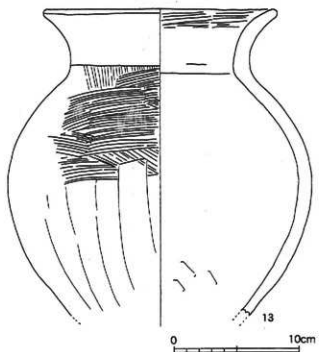
第26图 S165·66出土物实测图



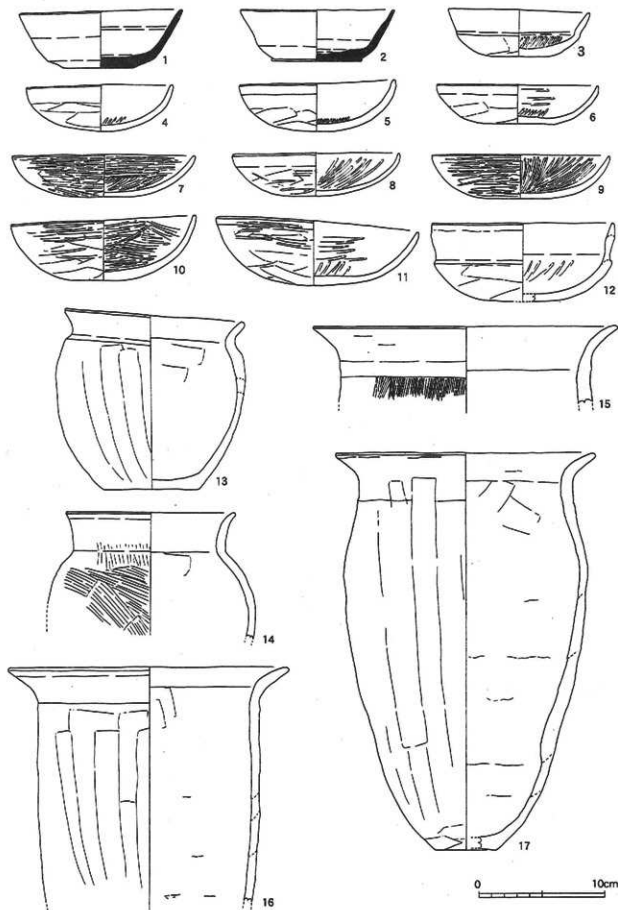
S177



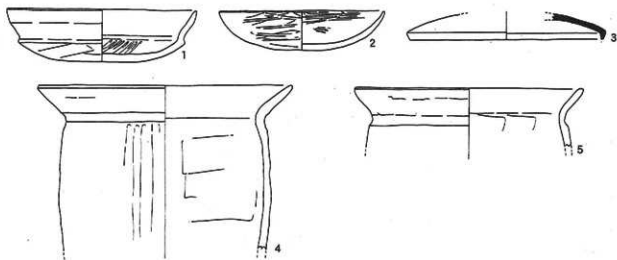
S180



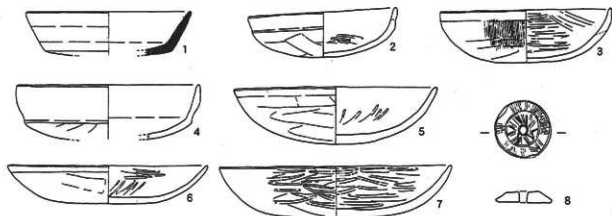
第27圖 S177・80出土遺物実測圖



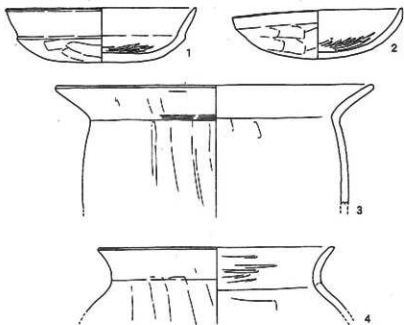
第 28 图 S181 出土遺物実測図



S183



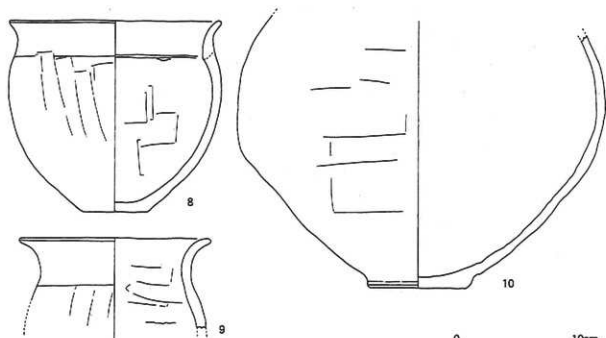
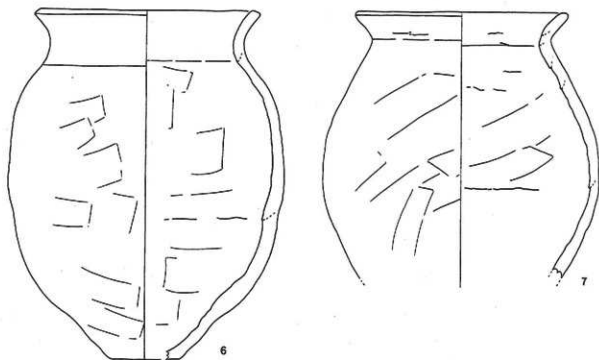
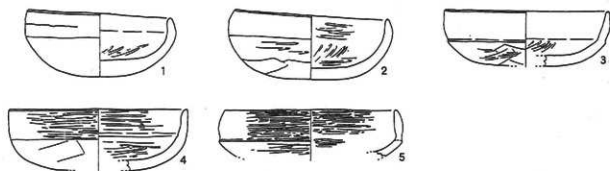
S184



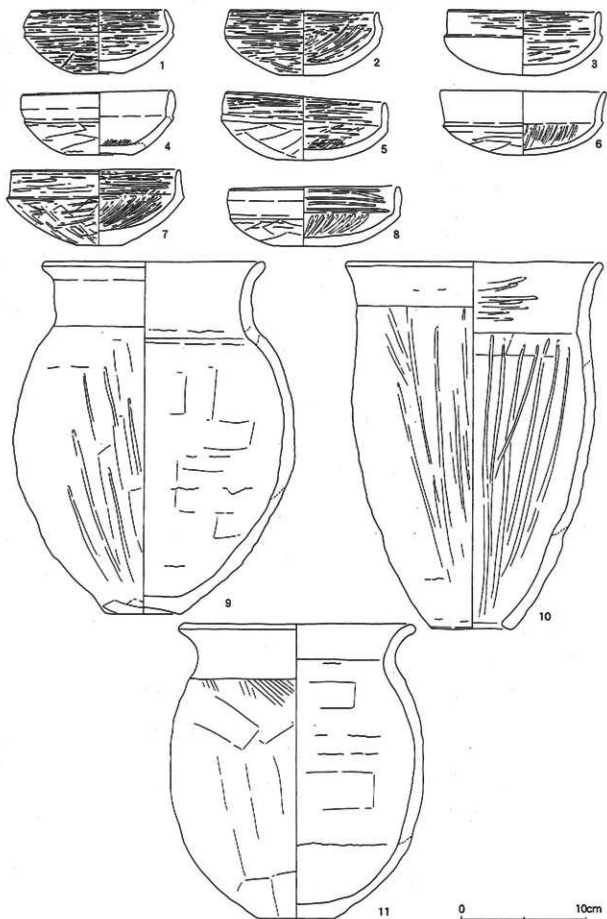
S185

0 10cm

第 29 图 S183·84·85 出土物实测图

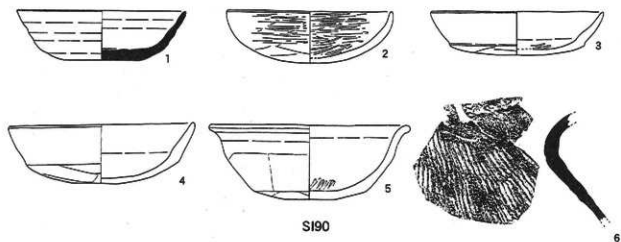


第30圖 S187出土遺物実測図

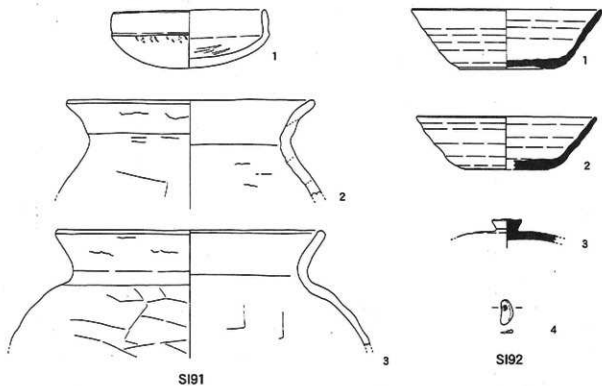


第31圖 S189出土遺物実測圖



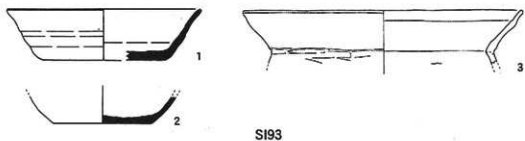


SI90



SI91

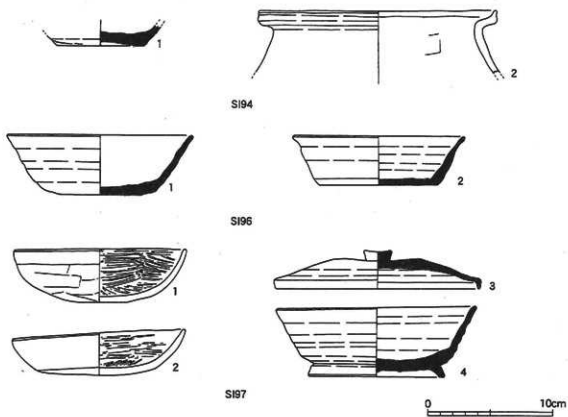
SI92



SI93

0 10cm

第32图 SI90·91·92·93出土遺物実測図



第 33 图 S194·96·97 出土遺物実測図

遺物 番号	部 号	部 種	寸法 (cm)			器形の特徴	調整の特徴	色調	粘土	完成	出土位置	備考
			口径	高さ	底径							
S105	1	土師器杯	15.0	4.7		丸底で、口縁部と体部の境に線を有する。	口縁部内外面ヨコナダ、体部内面ナダ、外面ヘリ削り。	暗灰色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	1/4段
S105	2	土師器杯	15.4	4.6		丸底で、口縁部と体部の境に線を有する。	口縁部内外面ヨコナダ、体部内面ヘラミギキ、外面ヘリ削り。	暗灰色	砂粒	良好	埋土下層	1/2段
S105	3	土師器杯	14.0	4.0	4.8	平底。	内外面ヨコナダ。	灰褐色	砂粒	良好	埋土中	残片、内外面両面に付着。
S105	4	土師器杯	14.4	4.0		平底形。	内面斜状のヘラミギキ、外面ヘリ削り後底位のヘラミギキ。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	1/4段。
S105	5	土師器甕	17.2			「く」の字口縁。	外面ヘリ削り、内面ヘラナダ。	暗褐色	小粒、砂粒	良好	埋土下層	残片、焼き色ムラ。
S105	6	土師器甕	16.0			「く」の字口縁。	外面ヘリ削り、内面ヘラナダ。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中	1/2段、焼き色ムラ、外面に付着。
S106	1	土師器杯	13.7	4.9		丸底で、口縁部と体部の境に線を有する。	口縁部内外面ヨコナダ、体部内面ナダ、外面ヘリ削り。	灰褐色	砂粒	良好	埋土中	1/4段形。
S106	2	土師器杯	13.3	4.2	7.6	丸底で、口縁部と体部の境に線を有する。	口縁部内外面ヨコナダ、体部内面ナダ、外面ヘリ削り。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中	1/2段、内面に付着、口縁部外面に付着。
S106	3	土師器杯	11.0	3.8		丸底で、口縁部と体部の境に線を有する。	口縁部内外面ヨコナダ、体部内面ナダ、外面ヘリ削り。	乳白色	砂粒	良好	埋土中	1/3段、口縁部内外面に付着。
S106	4	土師器杯	14	3.2		丸底で、内面気味に立ち上がる。	口縁部内外面ヨコナダ、体部内面ヘラミギキ、外面ヘリ削り後ヘラミギキ。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中層	1/2段、口縁部内外面に付着。
S106	5	深底器杯	12	3.3		丸底で、体部がやや外反する。	口口成形、底面外面削り削り。	灰褐色	白色砂粒、小石	良好	埋土中層	1/4段、焼き色ムラ。
S106	6	土師器甕		4.5		長胴。	外面ヘリ削り、内面ヘラナダ。	暗赤褐色	白色砂粒、小石	良好	埋土中層	残片、焼き色ムラ、ウツキ、外面に付着。
S106	7	土師器甕	15.0			「く」の字口縁。	口縁部ヨコナダ。	褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中層	残片、内面に付着、内面に付着。
S106	8	土師器甕		6.0		平底、長胴。	外面ヘリ削り、内面ヘラナダ。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒、小石	良好	埋土中層	残片。
S107	1	土師器杯	12.6	3.8		丸底で、口縁部と体部の境に線を有する。	口縁部ヨコナダ、体部外面ヘリ削り、内面ナダ。	暗褐色	砂粒	良好	埋土中層	1/4段、内外面に付着。
S107	2	土師器杯	14.0	4.0		丸底で、口縁部が外反する。	口縁部ヨコナダ、体部外面ヘリ削り、内面ヘラミギキ。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	ほぼ定形。
S107	3	深底器杯	13.6	4.0	6.0	丸底気味で、口縁部外反する。	口口成形、底面削り削り削り。	灰白色	白色砂粒、小石	良好	埋土中層	1/2段。
S107	4	深底器杯付杯	10.5	4.6	7.2	体部は外傾し、高台を付す。	口口成形。	灰色	白色砂粒	良好	埋土中層	定形。
S107	5	深底器杯付杯		13.0		高台を付す。	口口成形。	灰白色	砂粒	良好	埋土中層	1/4段。
S107	9	土師器甕	22.4			長胴。	口縁部ヨコナダ、斜縁底位ヘリ削り。	褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土上層	残片。
S107	7	石製給養車	径 (3.9)							良好	埋土下層	石製。
S109	1	深底器杯	13.4	4.2	6.0	平底で体部が外傾する。	口口成形、底面削り削り削り削り。	灰色	白色砂粒	良好	埋土上層	1/2段。
S109	2	深底器杯	13.4	4.5		丸底で体部が外傾する。	口口成形、底面削り削り削り削り。	灰色	砂粒	良好	埋土中層	残片。
S109	3	土師器杯	11.1	3.7		丸底で体部が内面気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナダ、体部外面ヘラケズリ。	灰褐色	砂粒	良好	埋土中	1/4段、内外面に付着。
S109	4	土師器杯	11.6			口縁部外面に線を有する。	口縁部ヨコナダ、体部外面ヘラケズリ。	乳白色	砂粒	良好	埋土中	残片、内面に付着。
S109	5	土師器甕	11.0	4.7		丸底で、口縁部が外反する。	口縁部ヨコナダ、体部外面ヘリ削り。	褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中	1/4段、焼き色ムラ。
S109	6	土師器杯	14.4	4.2		丸底で体部が内面気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナダ、体部外面ヘラケズリ、体部内面ヘラミギキ。	暗褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土中層	1/4段、内外面に付着。
S109	7	土師器甕	9.7	5.6	6.0	平底で、外面気味に立ち上がる。	外面ヘリ削り、内面ヘラミギキ。	灰褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良好	埋土下層	1/4段、内外面に付着。

第3表 出土遺物観察表(1)

遺構番号	層号	層名	寸法 (cm)			器形の特徴	取巻の特徴	色調	胎土	成成	胎土位置	備考
			口径	高さ	底径							
S180	8	土師器坪	15.0	4.3		丸底で肩部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部コナダ、腹部外面ヘラケズリ、底部内面ヘラナダ。	暗褐色	砂粒、赤色スロリア粒	良好	埋土下層	3/4残、内外面漆付着。
S180	9	土師器坪	(16.0)	4.0		丸底で肩部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部コナダ、腹部外面ヘラケズリ、底部内面ヘラナダ。	乳白色	砂粒	良好		3/4残、内外面漆付着。口縁部内面では、
S180	10	土師器甕	17.6			口縁部が外反する。	口縁部コナダ、腹部外面ヘラナダ後ヘラケズリ。	赤褐色	砂粒、赤色スロリア粒	良好	埋土下層	破片、漆付着。
S180	11	土師器甕	12.4			「く」の字口縁。	口縁部コナダ、腹部外面ヘラケズリ、口縁部内面コナダ、底部内面ヘラナダ。	暗褐色	砂粒、赤色スロリア粒	良好	埋土下層	破片、漆付着。
S180	12	土師器小豆壺		2.8		胴胴。	腹部外面コナダ、ヘラケズリ。	暗褐色	砂粒、赤色スロリア粒	良好	埋土中	口縁部欠残、胴部が厚い厚り。
S180	13	土師器甕	18.2			「く」の字口縁で、胴胴。	口縁部コナダ、腹部外面上平タテヘラケズリコナダ、腹部外面下平タテ方向のヘラケズリ、腹部内面口縁部方向のヘラケズリコナダ、底部ヘラナダ。	褐色	砂粒、赤色スロリア粒	良好	埋土中層	破片、焼き色ムラ。
S181	1	須恵器坪	12.9	4.6	5.3	平底で肩部が外反する。	コナ成柄。回転ヘウ切り。	灰白色	黄赤	良好	埋土中層	ほぼ完整。
S181	2	須恵器坪	12.2	4.1	7.0	平底で肩部が外反する。	コナ成柄。回転ヘウ切り。	灰白色	白色砂粒、赤色小豆	良好	埋土下層	欠残。
S181	3	土師器坪	11.2	3.8		丸底で、口縁部と腰部の間に腰を有する。	口縁部コナダ、腹部外面ヘラケズリ、口縁部内面コナダ、腹部内面ヘラケズリ。	暗赤褐色	砂粒	良好	埋土下層	ほぼ完整、内外面漆付着。
S181	4	土師器坪	11.5	3.8		丸底で肩部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部コナダ、腹部外面ヘラケズリ、口縁部内面コナダ、腹部内面ヘラケズリ。	暗褐色	砂粒	良好	埋土中層	ほぼ完整、内外面漆付着。
S181	5	土師器坪	12.3	4.1		丸底で肩部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部コナダ、腹部外面ナダ、ヘラケズリ、口縁部内面コナダ、腹部内面ヘラケズリ。	暗褐色	砂粒	良好	埋土下層	完整、内面漆付着。
S181	6	土師器坪	12.8	3.1	8.0	平底で肩部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部コナダ、腹部外面ヘラケズリ、腹部内面ヘラミダキ。肩部に本脚痕残る。	暗褐色	砂粒	良好	埋土下層	1/2残、内外面漆付着。
S181	7	土師器坪	14.4	3.4		丸底で肩部が内湾気味に立ち上がる。	腹部外面ヘラケズリ後、ヘラミダキ、内面ヘラミダキ。	暗赤褐色	砂粒	良好	埋土中層	ほぼ完整、内外面漆付着。
S181	8	土師器坪	13.2	3.5		丸底で肩部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部コナダ、腹部外面ヘラケズリ後、ヘラミダキ、腹部内面口縁部方向のヘラミダキ。肩部に本脚痕残る。	赤褐色	砂粒	良好	埋土中層	完整、内外面漆付着。
S181	9	土師器坪	14.0	3.5		丸底で肩部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部コナダ後、ヘラミダキ、腹部外面ヘラケズリ後、ヘラミダキ、腹部内面口縁部方向のヘラミダキ。肩部に本脚痕残る。	赤褐色	砂粒	良好	埋土下層	完整、内外面漆付着。
S181	10	土師器坪	14.4	5.2		丸底で肩部が内湾気味に立ち上がる。	腹部外面ヘラケズリ後、ヘラミダキ、腹部内面ヘラミダキ。	外面 褐色 内面 黒色	砂粒	良好	埋土下層	欠残、内面黒色処理。
S181	11	土師器坪	13.9	3.4		丸底で肩部が内湾気味に立ち上がる。	口縁部コナダ後、ヘラミダキ、腹部外面ヘラケズリ後、ヘラミダキ、肩部に本脚痕残る。	暗褐色	砂粒、赤色スロリア粒	良好	埋土下層	1/4残、内外面漆付着。
S181	12	土師器坪	14.4	6.2		丸底で、口縁部と腰部の間に腰を有し、口縁部は直立する。	口縁部コナダ、腹部外面ヘラケズリ、口縁部内面コナダ、腹部内面ヘラケズリ。	褐色	砂粒、赤色スロリア粒	良好	埋土下層	1/2残、内外面漆付着。
S181	13	土師器甕	14.0	14.3	7.5	「く」の字口縁。	口縁部コナダ、腹部外面縁方向のヘラケズリ、口縁部内面コナダ、腹部内面ヘラナダ。	褐色	砂粒、小豆多	良好	埋土中層	ほぼ完整、内面漆付着下平から胴部直上へ。
S181	14	土師器甕	13.2			口縁部が直立気味に立ち上がる。	口縁部コナダ後、縁方向のハタ目、腹部外面縁の縁方向のハタ目、口縁部内面コナダ、底部内面ヘラナダ。	赤褐色	砂粒、赤色スロリア粒	良好	埋土中層	1/3残。
S181	15	土師器甕	24.0			口縁部が外反する。	口縁部コナダ、輪縁のみあり、腹部外面縁方向のハタ目、口縁部内面コナダ、腹部内面ヘラナダ。	暗褐色	砂粒	良好	埋土中層	破片、漆付着。
S181	16	土師器甕	22.0			胴胴で、口縁部が外反する。	口縁部コナダ、腹部外面ヘラケズリ、口縁部内面コナダ、腹部内面ヘラナダ。	褐色	砂粒	良好	埋土中層	破片。
S181	17	土師器甕	20.4	31.3	4.8	胴胴で、口縁部が外反する。	口縁部コナダ、腹部外面ヘラケズリ、口縁部内面コナダ、腹部内面ヘラナダ。輪縁あり。	褐色	砂粒、小豆多、赤色スロリア粒	良好	埋土中層	3/4残。
S183	1	土師器坪	15.0	4.1		丸底で、口縁部と腰部の間に腰を有する。	口縁部コナダ、腹部外面ヘラケズリ、口縁部内面コナダ、腹部内面ヘラケズリ。	暗褐色	砂粒、赤色スロリア粒	良好	埋土下層	1/2残、内外面漆付着。
S183	2	土師器坪	13.0	3.1		丸底で肩部が内湾気味に立ち上がる。	腹部外面ヘラケズリ後ミダキ、腹部内面ヘラミダキ。	外面 褐色 内面 暗褐色	砂粒、赤色スロリア粒	良好	埋土中層	破片、小豆目立つ。
S183	3	須恵器蓋	15.4			コナ成柄。		灰白色 暗褐色	黄赤	良好	埋土中層	破片。
S183	4	土師器甕	20.0			胴胴で、口縁部が外反する。	口縁部コナダ、輪縁のみあり、腹部外面ヘラケズリ、尻付。口縁部内面コナダ、腹部内面ヘラナダ。	赤褐色	砂粒、小豆多、赤色スロリア粒	良好	埋土上層	破片、胴胴。

第4表 出土遺物観察表(2)

遺物 番号	部 号	器 種	寸法 (cm)			器形の特徵	装飾的特徴	色調	胎土	装工	出土位置	備考
			口徑	器高	底徑							
5182	5	土師器甕	18.0			胴腹で、口縁部が外反する。	口縁部ヨコナゲ、輪襷あり、外部外曲線付着。口縁部内面ヨコナゲ、内部内面ヘラケズリ。	褐色	砂粒、灰土 多、小石	良好	埋土上層	甕片。焼き色ムラ。
5184	1	土師器杯	13.0			杯面が外傾する。	口ノ口成器、図柄ヘラケズリ。	青灰色	白色小石、 砂粒	良好	埋土上層	甕片。
5184	2	土師器杯	11.3	4.0		丸底で、口縁部と杯部の境に 稜を有し、口縁部は内傾す る。	口縁部ヨコナゲ、杯部外面ヘラケズリ、 口縁部内面ヨコナゲ、杯部内面ヘラケ ズリ。	赤褐色	砂粒、赤色 スクリヤ粒	良好	埋土下層	定形、内外面漆 付着。
5184	3	土師器杯	13.6	4.1	5.0	丸底で杯部が内湾気味に立ち 上がる。	口縁部ヨコナゲ、杯部外面ヘラケズリ 後、ヘラケの工具で調整をせよろへラ ケミガキ。内部内面ヘラケミガキ。	暗褐色	砂粒	良好	埋土中層	1/2瓶、内外面漆 付着。
5184	4	土師器杯	14.4			丸底で、口縁部と杯部の境に 稜を有する。	口縁部ヨコナゲ、杯部外面ヘラケズリ、 口縁部内面ヨコナゲ、杯部内面ヘラケ ズリ。	暗褐色	砂粒、赤色 スクリヤ粒	良好	埋土下層	甕片、内外面漆 付着。
5184	5	土師器杯	16.0	4.6		丸底で杯部が内湾気味に立ち 上がる。	口縁部ヨコナゲ、杯部外面ヘラケズリ、 口縁部内面ヨコナゲ、杯部内面ヘラケ ズリ。	暗褐色	砂粒	良好	埋土下層	3/4瓶、内外面漆 付着。焼き色ムラ。
5184	6	土師器杯	13.6	3.0		平底で杯部が内湾気味に立ち 上がる。	口縁部ヨコナゲ、杯部外面ヘラケズリ、 杯部内面ヘラケミガキ。	赤褐色	砂粒、赤色 スクリヤ粒	良好	埋土下層	1/2瓶。
5184	7	土師器杯	16.2	4.0		丸底で杯部が内湾気味に立ち 上がる。	杯部外面ヘラケズリ後、ヘラミガキ、 杯部内面ヘラケミガキ。	赤褐色	砂粒	良好	埋土下層	甕片。
5184	8	脚碟車	径4.4					灰色		良好	埋土下層	石質。使用痕あり。
5185	1	土師器杯	13.6	4.0		丸底で、口縁部と杯部の境に 稜を有し、口縁部は内傾す る。	口縁部ヨコナゲ、杯部外面ヘラケズリ、 口縁部内面ヨコナゲ、杯部内面ヘラケ ズリ。	褐色	砂粒	良好	埋土下層	定形、内面漆付 着。
5185	2	土師器杯	15.0	4.3	5.5	丸底で杯部が内湾気味に立ち 上がる。	口縁部ヨコナゲ、杯部外面ヘラケズリ、 口縁部内面ヨコナゲ、杯部内面ヘラケ ズリ。	暗褐色	砂粒、赤色 スクリヤ粒	良好	埋土中層	甕片、内面漆付 着。
5185	3	土師器甕	25.0			胴腹で、口縁部が外反する。	口縁部ヨコナゲ、輪襷あり、外部 外部ヘラケズリ後、壁方向のヘラミガキ。 口縁部内面ヨコナゲ、内部内面ヘラケ ズリ。	赤褐色	砂粒、赤色 スクリヤ粒	良好	埋土中層	甕片。
5185	4	土師器甕	18.6			「く」の字口縁。	口縁部ヨコナゲ、杯部外面ヘラケズリ、 口縁部内面ヨコナゲ、杯部内面ヘラケ ズリ。	暗褐色	砂粒、赤色 スクリヤ粒	良好	埋土中層	甕片。
5187	1	土師器杯	11.3	5.2		丸底で杯部が内湾気味に立ち 上がる。	口縁部ヨコナゲ、杯部外面ヘラケズリ、 口縁部内面ヨコナゲ、杯部 内面ヘラケミガキ。	暗褐色	砂粒	良好	埋土中層	定形、断面が漆 塗り。
5187	2	土師器杯	12.3	5.4		丸底で杯部が内湾気味に立ち 上がる。	口縁部ヨコナゲ、杯部外面ヘラケズリ、 ヘラケズリ、杯部内面ヘラケミガ キ。	暗褐色	砂粒、赤色 スクリヤ粒	良好	埋土上層	2/3瓶。
5187	3	土師器杯	13.0	4.4		丸底で、口縁部と杯部の境に 稜を有し、口縁部は内傾す る。	口縁部ヨコナゲ、杯部外面ヘラケズリ 後、ヘラミガキ。口縁部内面ヨコナゲ、 杯部内面ヘラケミガキ。	暗褐色	砂粒、赤色 スクリヤ粒	良好	埋土上層	1/4瓶。
5187	4	土師器杯	14.0	4.9		丸底で杯部が内湾気味に立ち 上がる。	口縁部ヘラミガキ、杯部外面ヘラケズリ、 杯部内面ヘラケミガキ。	赤褐色	砂粒、赤色 スクリヤ粒	良好	埋土中	1/4瓶。
5187	5	土師器杯	13.6			丸底で、口縁部と杯部の境に 稜を有し、口縁部は内傾す る。	杯部外面ヘラミガキ、杯部内面ヘラミ ガキ。	赤褐色	砂粒	良好	埋土中層	甕片。
5187	6	土師器甕	17.0	27.4	5.5	「く」の字口縁。	口縁部ヨコナゲ、杯部外面ヘラケズリ、 口縁部内面ヨコナゲ、杯部内面ヘラ ケズリ。輪襷あり。	暗褐色	砂粒、小石 多い	良好	埋土上層	1/2瓶。スス付 着。
5187	7	土師器甕	16.6			「く」の字口縁、胴部最大径 を中に有す。	口縁部ヨコナゲ、輪襷あり、外部 外部ヘラケズリ。口縁部内面ヨコナゲ、 杯部内面ヘラケズリ後ヘラケズリ。 輪襷あり。	暗褐色	砂粒、小石 多い	良好	埋土中層	1/3瓶。
5187	8	土師器碗	16.6	15.0	5.0	胴腹で口縁部は内反する。	口縁部ヨコナゲ、杯部外面ヘラケズリ、 口縁部内面ヨコナゲ、杯部内面ヘラ ケズリ。	暗褐色	砂粒、小石 多、赤色ス クリヤ粒	良好	埋土下層	1/2瓶。
5187	9	土師器甕	15.0			口縁部は外反する。	口縁部ヨコナゲ、杯部外面ヘラケズリ、 口縁部内面ヨコナゲ、杯部内面ヘラ ケズリ。	暗褐色	砂粒	良好	埋土上層	甕片。
5187	10	土師器甕		7.6		胴腹	杯部外面ヘラケズリ、杯部内面ヘラケ ズリ。	暗褐色	砂粒、小石 多	良好	埋土上層	1/3瓶。焼き色ムラ。
5189	1	土師器杯	10.6	5.0	4.0	丸底で、口縁部と杯部の境に 稜を有し、口縁部は内傾す る。	杯部外面ヘラケズリ後ヘラミガキ、外部 外面ヘラケミガキ、内面ヘラミガキ。	暗褐色	砂粒、赤色 スクリヤ粒	良好	埋土下層	3/4瓶、内外面漆 付着。作りが粗 い。
5189	2	土師器杯	11.7	5.1	3.6	丸底で、口縁部と杯部の境に 稜を有し、口縁部は内傾す る。	口縁部ヨコナゲ後ヘラミガキ、杯部外 面ヘラケズリ後ヘラミガキ。杯部内面 ヘラケズリ、内面ヘラミガキ。	暗褐色	砂粒、赤色 スクリヤ粒	良好	埋土下層	定形、内外面漆 付着。
5189	3	土師器杯	12.0	5.1		丸底で、口縁部と杯部の境に 稜を有し、口縁部は直立す る。	口縁部ヘラミガキ、杯部外面ヘラケ ズリ、内面ヘラミガキ。	暗褐色	砂粒、赤色 スクリヤ粒	良好	埋土下層	定形、内外面漆 付着。
5189	4	土師器杯	11.8	5.1	4.9	平底で、口縁部と杯部の境に 稜を有し、口縁部は直立す る。	口縁部ヨコナゲ、杯部外面ヘラケズリ、 口縁部内面ヨコナゲ、杯部内面ヘラケ ズリ。	暗褐色	砂粒	良好	埋土中層	甕片。

第5表 出土遺物観察表(3)

遺物 番号	番号	器種	寸法 (cm)			器形の特徴	裏面の特徴	色澤	胎土	焼成	出土位置	備考
			口径	胎高	底径							
S109	5	土師器杯	12.7	5.3	4.8	平底で、口縁部と底部の間に 稜を有し、口縁部は直立す る。	口縁部が丸く、外面はヘラケズリ、 内面は直ぐ。	緑褐色	赤粒	良好	埋土下層	元部、内外面直 線状に欠。
S109	6	土師器杯	13.2	5.1		丸底で、口縁部と底部の間に 稜を有し、口縁部は外傾す る。	口縁部コナダ、外面はヘラケズ リ、口縁部内面はコナダ、外面はヘ ラミガキ。	緑褐色	赤粒、赤色 スロリア灰 多次	良好	埋土下層	元部。
S109	7	土師器杯	13.3	6.0	3.0	平底で、口縁部と底部の間に 稜を有し、口縁部は直立す る。	口縁部コナダ、外面はヘラミガキ、外面は ヘラケズリ、口縁部内 面はコナダ、外面はヘラミガキ。	緑褐色	赤粒	良好	埋土下層	口縁部元部。
S109	8	土師器杯	13.5	4.7	5.0	平底で、口縁部と底部の間に 稜を有し、口縁部は直立す る。	口縁部コナダ、外面はヘラケズ リ、口縁部内面はコナダ、外面はヘ ラミガキ。	緑褐色	赤粒、赤色 スロリア灰	良好	埋土下層	元部。
S109	9	土師器碗	17.4	27.8	6.0		口縁部コナダ、腹部外面はヘラケズ リ、口縁部内面はコナダ、外面はヘ ラミガキ、内面はヘラミガキ。	緑褐色	赤粒、小石	良好	埋土下層	口縁部元部。
S109	10	土師器鉢	20.2	28.9	6.4	筒形。	口縁部コナダ、腹部外面はヘラケ ズリ、口縁部内面はコナダ、外面はヘ ラミガキ、内面はヘラミガキ。	緑褐色	小石、赤色 スロリア灰	良好	埋土下層	元部、内外面直 線状に欠。
S109	11	土師器碗	18.0	23.3	6.6	深腹で、「く」の字口縁。	口縁部コナダ、腹部外面はヘラケ ズリ、口縁部内面はコナダ、外面はヘ ラミガキ、内面はヘラミガキ。	緑褐色	赤粒多、赤色 スロリア灰	良好	埋土下層	口縁部元部。
S100	1	灰志部杯	13.4	3.9	6.6		口縁部丸形、腹部はヘラケズリ、ヘラ ミガキ有り。	灰色	小石、白色	良好	埋土下層	口縁部元部、内面直 線状に欠。
S100	2	土師器杯	13.1	4.1		丸底。	口縁部ヘラケズリ、外面は直ぐ、 内面はヘラミガキ。	赤褐色	赤粒	良好	埋土中	口縁部元部。
S100	3	土師器杯	13.8	3.4	3.0		口縁部コナダ、腹部はヘラケズリ、口 縁部内面はコナダ、外面はヘラミガ キ。	緑褐色	赤粒	良好	埋土中	元部、内外面直 線状に欠。
S100	4	土師器杯	12.0	4.6		丸底。	口縁部コナダ、外面はヘラケズ リ、口縁部内面はコナダ、外面はヘ ラミガキ。	緑褐色	赤粒、赤色 スロリア灰	良好	埋土中	口縁部元部、外面 にヘラミガキによる 刻痕状に欠。
S100	5	土師器杯	12.0				口縁部コナダ、外面はヘラミガキ、外面は ヘラケズリ、口縁部内面はコナダ、 外面はヘラミガキ。	緑褐色	赤粒、赤色 スロリア灰	良好	埋土中	元部。
S100	6	土師器杯	14.7	4.8		丸底。	口縁部コナダ、腹部外面はヘラケ ズリ、口縁部内面はコナダ、外面は ヘラミガキ。	緑褐色	赤粒	良好	埋土中	口縁部元部、内外面直 線状に欠。
S100	7	土師器鉢	16.0	5.8	4.0		口縁部コナダ、腹部外面はヘラケ ズリ、口縁部内面はコナダ、外面は ヘラミガキ、内面はヘラミガキ。	緑褐色	赤粒、赤色 スロリア灰	良好	埋土中	口縁部元部、内外面直 線状に欠。
S100	8	灰志部碗					外面は直ぐ。	灰色	赤粒、小石 多	良好	埋土中	元部。
S101	1	土師器碗	19.4				口縁部コナダ、腹部外面はヘラケ ズリ、口縁部内面はコナダ、外面は ヘラミガキ。	緑褐色	赤粒、小石	良好	埋土中	元部、口縁部直 線状に欠。
S101	2	土師器碗	21.0				口縁部コナダ、腹部外面はヘラケ ズリ、口縁部内面はコナダ、外面は ヘラミガキ。	褐色	赤粒	良好	埋土中	元部、口縁部直 線状に欠。
S102	1	灰志部杯	15.0	4.6	7.5		口縁部丸形、腹部直ぐ。	灰色	白色赤粒	良好	埋土下層	口縁部元部。
S102	2	灰志部杯	14.2	4.1	6.0		口縁部丸形、腹部直ぐ。	灰色	赤粒	良好	埋土下層	口縁部元部、内外面直 線状に欠。
S102	3	灰志部碗					ヘラケズリ。	灰色	白色赤粒	良好	埋土中	元部。
S102	4	石製土師	長さ: 2.9cm; 0.1~0.3					オリーブ黄			埋土中	元部からコー スに孔をあけて いる。
S103	1	灰志部杯	18.4	4.0	9.4		口縁部丸形、腹部直ぐ。	灰色	赤粒	良好	埋土中	口縁部元部、内外面直 線状に欠。
S103	2	灰志部杯			7.8		口縁部丸形、腹部直ぐ。	灰色	赤粒、小石	良好	埋土中	元部。
S103	3	土師器碗	22.0			「く」の字口縁。	口縁部コナダ、腹部外面はヘラケ ズリ、口縁部内面はコナダ、外面は ヘラミガキ。	赤褐色	赤粒、赤色 スロリア灰	良好	埋土中	元部、内外面直 線状に欠。
S104	1	灰志部杯		7.0		平底。	口縁部丸形、腹部直ぐ。	灰色	赤粒	良好	埋土下層	元部、元部直 線状に欠。
S104	2	土師器碗	19.0			受け口縁の口縁。	口縁部コナダ、内面はコナダ。	褐色	赤粒、ウン ギ	良好	埋土中	元部。
S104	1	灰志部杯	14.6	4.7	6.4	平底で腹部が外傾する。	口縁部丸形。	灰色	赤粒、小石	良好	埋土中	口縁部元部、内外面直 線状に欠。

第6表 出土遺物観察表(4)

遺物 番号	器 種	寸法 (cm)			器形の特徴	装型の特徴	色薬	粘土	焼成	出土位置	備考	
		口径	器高	底径								
S196	2	瓶形蓋	13.4	4.0	9.4	口縁で体部が外傾する。	ロクロ成形。体部外面下半ヘラケズリ。底面外面手持ちヘラケズリ。	褐色	褐色砂粒	良材	埋土下層	3/4段。
S197	1	土師器杯	13.6	4.2		丸底で体部が内傾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナヅ。体部外面ヘラケズリ。底面内面ヘラキボキ。	褐色褐色	新粒	良材	埋土下層	1/2段。
S197	2	土師器杯	13.7	3.6	4.8	平底で、体部が内傾気味に立ち上がる。	口縁部ヨコナヅ。体部外面ヘラケズリ。体部内面ヘラキボキ。	赤褐色	砂粒、赤色スコリア粒	良材	埋土下層	3/4段。
S197	3	瓶形蓋	16.2	3.0		ボタン状の蓋み。	河転ヘラケズリ。河転点削り。	褐色	白色砂粒	良材	埋土下層	3/4段。
S197	4	瓶形蓋 内面 付片	15.9	5.6	10.6	蓋面を付す。	ロクロ成形。河転ヘラ削り。	黄灰色	白色砂粒多	良材	埋土下層	1412完片。

第7表 出土遺物観察表(5)

## 2 掘立柱建物跡

Ⅲ次調査で3棟の掘立柱建物跡、Ⅳ次調査で1棟の掘立柱建物跡が確認された。以下、それぞれの遺構について記す。

### SB21 (第34図)

位置 Ⅲ次調査区。平面形 南北5.6m×東西4.0mのほぼ長方形。間数 3間×2間。方位 N-2° -E  
遺物 無。備考 SD38と切り合う。

### SB22 (第35図)

位置 Ⅲ次調査区。平面形 南北3.4m×東西4.2mのやや不整な長方形。間数 2間×2間。方位 N-10° -W  
遺物 無。備考 5本の柱穴内で柱痕を確認。

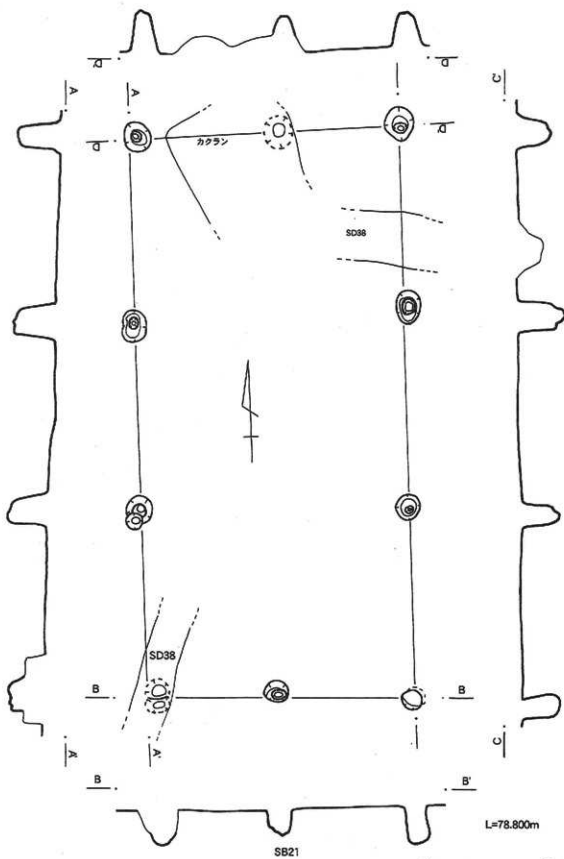
### SB24 (第35図)

位置 Ⅲ次B区調査区。平面形 南北2.4m×東西2.4mの方形。間数 1間×1間。方位 N-7° -E  
遺物 無。備考 SD53と切り合う。

### SB25 (第35図)

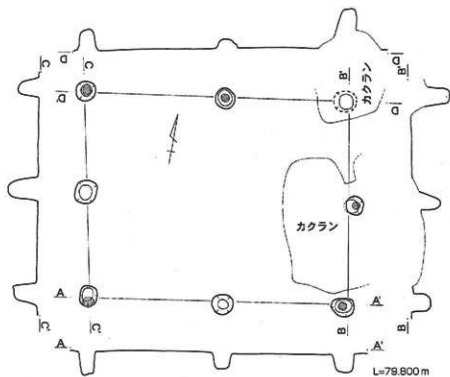
位置 Ⅳ次調査区。平面形 南北1.9m×東西4.6mの長方形。間数 1間×2間。方位 N-12° -E  
遺物 無。



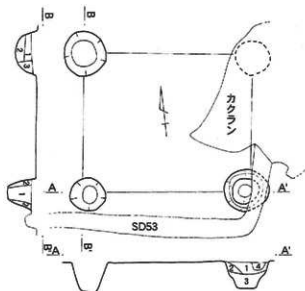


第34図 III・IV次調査区SB平・断面図(1)





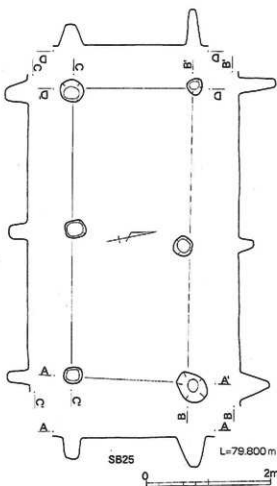
SB22



- 1 埋納色土 (RR 埋多・小RB 埋)
- 2 黄褐色土 (RR 多・RB 埋)
- 3 緑色土 (RR 埋多・小RB 埋、IP)
- 4 茶褐色土 (RR・小RB 少)

L=79.800m

SB24



SB25

L=79.800m

第35図 III・IV次調査区SB平・断面図(2)

### 3. 溝状遺構

溝状遺構は、Ⅰ次調査で7条、Ⅱ次調査で16条、Ⅲ次調査で18条（Ⅱ次調査SD21は重複）が確認された。以下、各遺構について記す。

#### SD01（第36図）

位置 Ⅰ次調査区。平面形 北東から南西方向に約53m、直線的にのびる。一部6mほど途切れる部分がある。方位  $N-23^{\circ}-E$  規模 上幅1.0m、下幅0.2mの逆台形。深さ 確認面から深さ30cm。備考 SD02とはほぼ平行する。

#### SD02（第36図）

位置 Ⅰ次調査区。平面形 北東から南西方向に約57m、直線的にのびるが、SD04との交差点付近で一度クランクする。方位  $N-23^{\circ}-W$  規模 上幅2.5m×下幅0.35mの葉研状を呈する。セクションの観察等から新旧2時期あることがわかる。深さ 確認面から深さは古い時期のものが1.1m、新しい時期のものが1.4mを測る。遺物 埋土中より鉄砲の玉が1点（第45図6）出土している。直径が1.2cm。

備考 SI01・SI03を切る。

#### SD03（第36図）

位置 Ⅰ次調査区。平面形 北東から南西方向に約20m、直線的にのびるが、SD03に切られているため、その前後は不明である。方位  $N-18^{\circ}-W$  規模 上幅0.9mのU字形。深さ 確認面から深さ20cm。備考 SI02・SI03を切る。

#### SD04（第36図）

位置 Ⅰ次調査区。平面形 東西方向に約30m直線的にのびる。方位  $N-78^{\circ}-W$  規模 新しい時期の上幅0.3m×下幅0.15mのU字形のものと、古い時期の推定上幅0.4m×下幅0.2mのものがある。深さ 確認面から新しい時期のものが20cm、古い時期のものが10cmである。

#### SD05（第36図）

位置 Ⅰ次調査区。平面形 SI03の南側でほぼ直角に曲がる。規模 上幅0.8m～1.0m。

#### SD09（第36図）

位置 Ⅰ次調査区。平面形 南北方向に約13m直線的にのびる。方位  $N-3^{\circ}-W$  規模 上幅0.5m。

#### SD10（第36図）

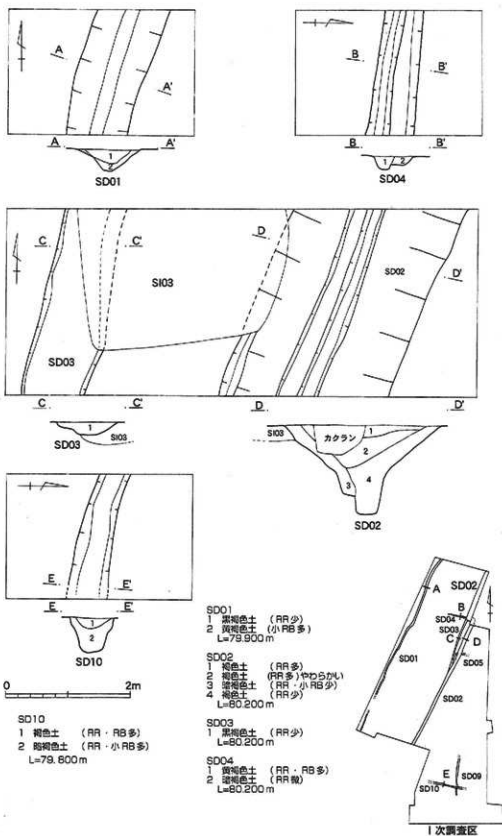
位置 Ⅰ次調査区。平面形 東西方向に約8m直線的にのびる。方位  $N-80^{\circ}-W$  規模 上幅0.7m×下幅0.3mの逆台形。深さ 確認面から深さ25cm。

#### SD20（第37図）

位置 Ⅱ次調査区。平面形 南北方向に約50m直線的にのびる。方位  $N-20^{\circ}-W$  規模 上幅2.0mのV字形。深さ 確認面から深さ40cm。備考 SD21とはほぼ平行。

#### SD21（第37・43図）

位置 Ⅱ次調査区。平面形 南北方向に約50m直線的にのびる。方位  $N-6^{\circ}-W$  規模 上幅1.2m×下幅0.5mの逆台形。深さ 確認面から深さ50cm。遺物 埋土中より土師器小型甕が1点（第45図3）出土している。寸法は底径が5.6cmで、器面の調整は、外面ヘラケズリ、内面ナデ。色調は淡褐色で胎土に砂粒、赤色スコリア粒を含む。



第36図 1次調査区SD平・断面図

**SD22 (第37図)**

位置 II次調査区。平面形 南北方向に約50m直線的にのびる。方位 N-16° -W 規模 上幅0.35mのU字形。深さ 確認面から深さ10cm。

**SD23 (第38図)**

位置 II次調査区。平面形 東西方向に約30m直線的にのびる。方位 N-80° -E 規模 上幅0.5m×下幅0.2mのU字形。深さ 確認面から深さ30cm。備考 SD21を切る。

**SD24 (第38図)**

位置 II次調査区。平面形 南北方向に約50m直線的にのびる。方位 N-14° -W 規模 上幅0.8m×下幅0.6mの逆台形。深さ 確認面から深さ20cm。

**SD25 (第38図)**

位置 II次調査区。平面形 南北方向に約50m直線的にのびる。方位 N-9° -W 規模 上幅0.4m×下幅0.2mの逆台形。深さ 確認面から深さ30cm。

**SD27 (第40図)**

位置 II次C調査区。平面形 南北方向に約20m直線的にのびる。方位 N-5° -E 規模 上幅0.6m×下幅0.2mの逆台形。深さ 確認面から深さ70cm。

**SD28 (第40図)**

位置 II次C調査区。平面形 南北方向に約15m直線的にのびる。方位 N-5° -W 規模 上幅1.3m×下幅0.7mの逆台形。深さ 確認面から深さ40cm。

**SD30 (第40図)**

位置 II次C調査区。平面形 南北方向に約18m直線的にのびる。方位 N-18° -E 規模 上幅0.6m×下幅0.3mの逆台形。深さ 確認面から深さ50cm。備考 SD31と平行する。

**SD31 (第40図)**

位置 II次C調査区。平面形 南北方向に約12m直線的にのびる。方位 N-18° -E 規模 上幅0.8m×下幅0.2mの逆台形。深さ 確認面から深さ60cm。備考 SD30と平行する。

**SD32 (第37図)**

位置 II次調査区。平面形 東西方向に約50m直線的にのびる。方位 N-18° -E 規模 上幅1.0m

**SD33 (第38図)**

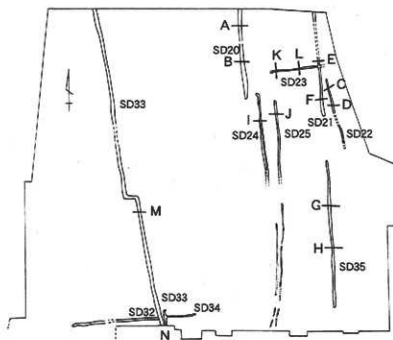
位置 II次調査区。平面形 北西から南東方向に約105m直線的にのび、調査区中央付近で一度クランクし、さらに南に約70mのびる。方位 N-11° -W 規模 上幅1.5~2.1のU字形。深さ 確認面から深さ30~50cm。遺物 埋土中よりカワラケが1点出土している。寸法は、口径5.9cm、器高0.8cm、底径4.0cmでロクロ成形。底部の切り離しは回転糸切り。色調は褐色で胎土に砂粒を含む。ほぼ完形。

**SD35 (第37図)**

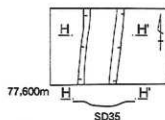
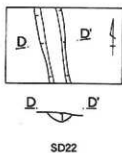
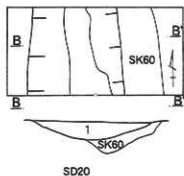
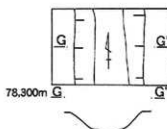
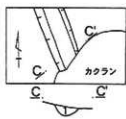
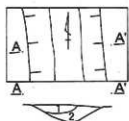
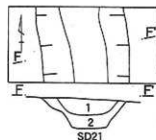
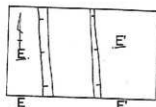
位置 II次調査区。平面形 南北方向に約81m直線的にのびる。方位 N-4° -W 規模 上幅0.6~1.8mのU字形。深さ 確認面から深さ10~30cm。

**SD36 (第39図)**

位置 II次B調査区。平面形 南北方向に約15m直線的にのび、その後クランクし東に12m、さらにクランクし南に10mで途切れる。方位 N-11° -W 規模 上幅1.1~1.4m、下幅0.2~0.6m。深さ 確認面から深さ30~50cm。



II次調査区

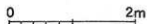


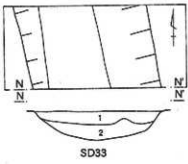
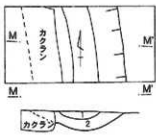
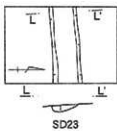
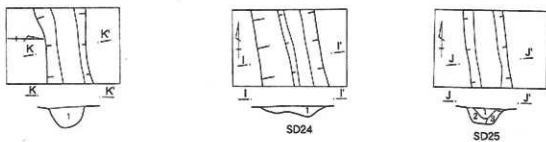
SD20  
1 茶褐色土 (RR多)  
2 炭褐色土 (RR多)  
L=78,800m

SD21  
1 暗褐色土 (RR少)  
2 暗黄褐色土 (RR・RB少)  
L=78,300m

SD22  
1 褐色土 (RR・RB微)  
L=78,000m

第 37 図 II次調査区 SD平・断面図(1)

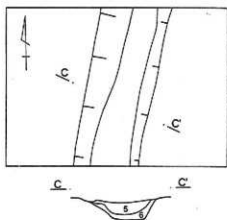
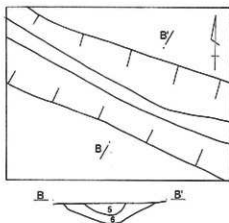
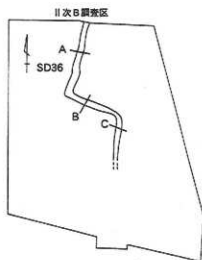
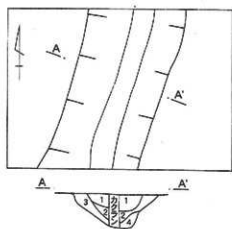




- SD23  
 1 赤褐色土 (RR 極少・RB 少)  
 L=78.500m
- SD24  
 1 赤褐色土 (RR 多・RB 少)  
 L=78.600m
- SD25  
 1 赤褐色土 (RR 少)  
 2 褐色土 (RR やや多)  
 3 暗黄褐色土 (RR 多・RB 少)  
 L=78.600m
- SD33  
 1 赤褐色土 (RR 少)  
 2 赤褐色土 (RR やや多)  
 L=78.800m

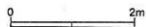
第 38 図 II 次調査区 SD 平・断面図 (2)





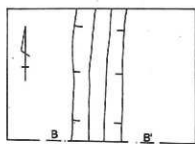
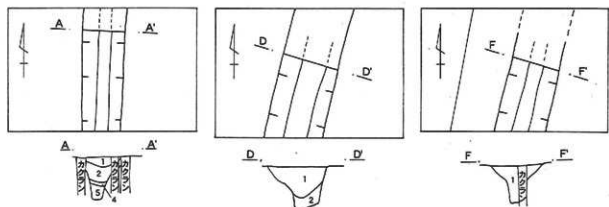
SD36

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1 茶褐色土 (RR 多)      | 5 赤褐色土 (RR 多)    |
| 2 黒褐色土 (RR 多・RB 多) | 6 赤褐色土 (RR・RB 少) |
| 3 茶褐色土 (RR 多・RB 少) | 7 明褐色土 (RR 多)    |
| 4 黒褐色土 (RR 多・RB 多) | 8 暗褐色土 (RR やや多)  |
- L=71.100m

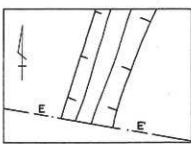


第 39 图 II 次 B 区 SD 平・断面图

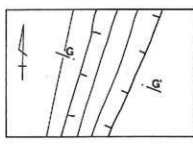




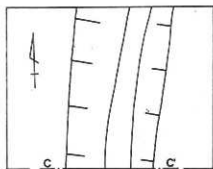
SD27



SD30



SD31



SD28

SD27

- 1 暗褐色土 (RR少·RB少)
- 2 紫褐色土 (RR多·IP微)
- 3 黑土 (RR主体)
- 4 黄褐色土 (RR主体)
- 5 紫褐色土 (RR偏多·RB少)

L=79.700m

SD28

- 1 暗褐色土 (RR多)
- 2 暗褐色土 (RR少)
- 3 褐色土 (RR偏多·RB少)

L=80.100m

SD31

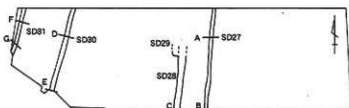
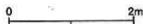
- 1 暗紫褐色土 (RR·RB微·IP微)
- 2 紫褐色土 (RR)
- 3 暗褐色土 (RR少)

L=79.700m

SD30

- 1 暗紫褐色 (RR·RB少·IP微)
- 2 暗紫褐色 (RR少·RB微)
- 3 紫褐色土 (RR少·RB微)

L=79.800m



II次C調査区

第40图 II次C区SD平·断面图

**SD38 (第41図)**

位置 Ⅲ次調査区。平面形 東西方向に約60m直線的にのび、クランクして南北方向に約15mのびる。方位 N-20°-E 規模 上幅0.4~0.6m、下幅0.3mの逆台形。深さ 確認面から深さ20~30cm。備考 SD39に切られる。

**SD39 (第41図)**

位置 Ⅲ次調査区。平面形 南北方向に約12m直線的にのびる。方位 N-16°-E 規模 上幅1.5のU字形。深さ 確認面から深さ20~25cm。備考 SD38を切る。

**SD41 (第43図)**

位置 Ⅲ次B調査区。平面形 南北方向に約80m直線的にのびる。方位 N-5°-E 規模 上幅0.7~0.8mの逆台形。深さ 確認面から深さ60~80cm。遺物 埋土中より土師器坏が1点(第45図1)と須恵器高台付坏1点(第45図2)が出土している。1は、口径15.0cm、器高5.0cm、底径7.0cmで、器面の調整は、内面ヘラミガキで内面黒色処理。色調は褐色で胎土に砂粒を含む。2は底径15.8cmで、ロクロ成形後高台を付す。色調は灰褐色で胎土に砂粒を含む。備考 SD27と同一。SD21を切る。

**SD43 (第44図)**

位置 Ⅲ次B調査区。平面形 南北方向に約80m湾曲気味にのびる。方位 N-12°-E 規模 上幅0.5~0.7mのU字形。深さ 確認面から深さ10cm。

**SD45 (第44図)**

位置 Ⅲ次B調査区。平面形 東西方向に約20m直線的にのびる。方位 N-10°-W 規模 上幅0.4m、下幅0.3mのU字形。深さ 確認面から深さ45cm。

**SD46 (第44図)**

位置 Ⅲ次B調査区。平面形 東西方向に約15m直線的にのびる。方位 N-0°-E 規模 上幅0.2mのU字形。深さ 確認面から深さ10cm。

**SD47 (第43図)**

位置 Ⅲ次B調査区。平面形 東西方向に約20m直線的にのびる。方位 N-5°-W 規模 上幅0.7~0.9mの逆台形。深さ 確認面から深さ30cm。

**SD49 (第43図)**

位置 Ⅲ次B調査区。平面形 南北方向に約30m直線的にのびる。方位 N-5°-W 規模 上幅1.6~1.8m、下幅0.5~0.8m。深さ 確認面から深さ30cm。

**SD50 (第43図)**

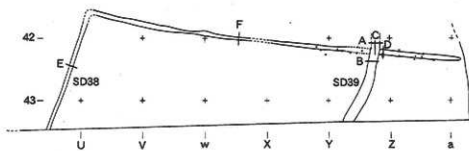
位置 Ⅲ次B調査区。平面形 東西方向に約10m、南北方向に約40mのL字形。方位 N-5°-W 規模 上幅0.9mのU字形。深さ 確認面から深さ30cm。

**SD51 (第42・43図)**

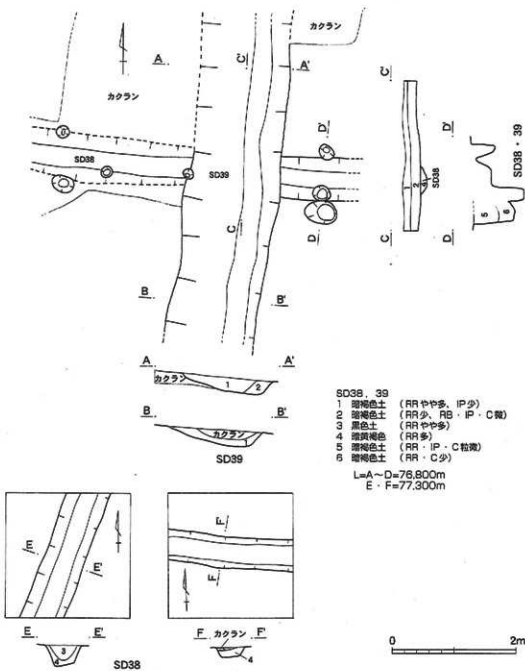
位置 Ⅲ次B調査区。平面形 南北方向に約50m直線的にのび、クランクし東に約40mのびる。方位 N-5°-W 規模 上幅1.2~2.2のU字形。深さ 確認面から深さ30~50cm。遺物 埋土中より須恵器壺が1点(第45図4)出土している。寸法は底径10.8cmで、高台を付す。胴部外面下に横方向のヘラケズリ。色調は暗灰色で胎土に砂粒を含む。備考 4号墳の周溝を切る。

**SD52 (第42図)**

位置 Ⅲ次B調査区。平面形 北側が開放するコの字形の区画。南側の一部が途切れる。方位 N-5°-W 規模 上幅0.3~1.2m、下幅0.2mの逆台形。深さ 確認面から深さ20~60cm。

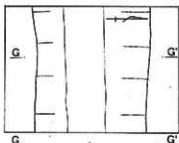
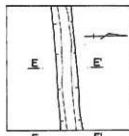
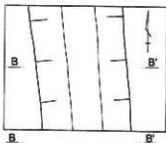
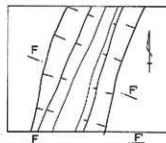
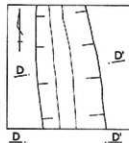
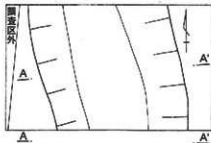
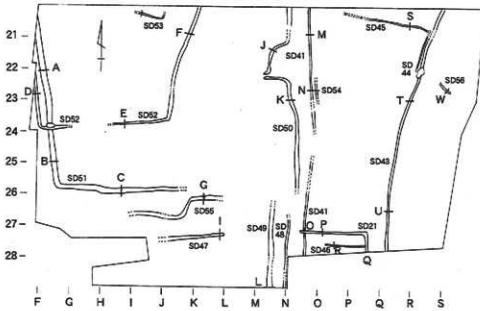


Ⅲ次調査 SD 全体図



第41図 Ⅲ次調査区 SD 平・断面図

Ⅲ次B区



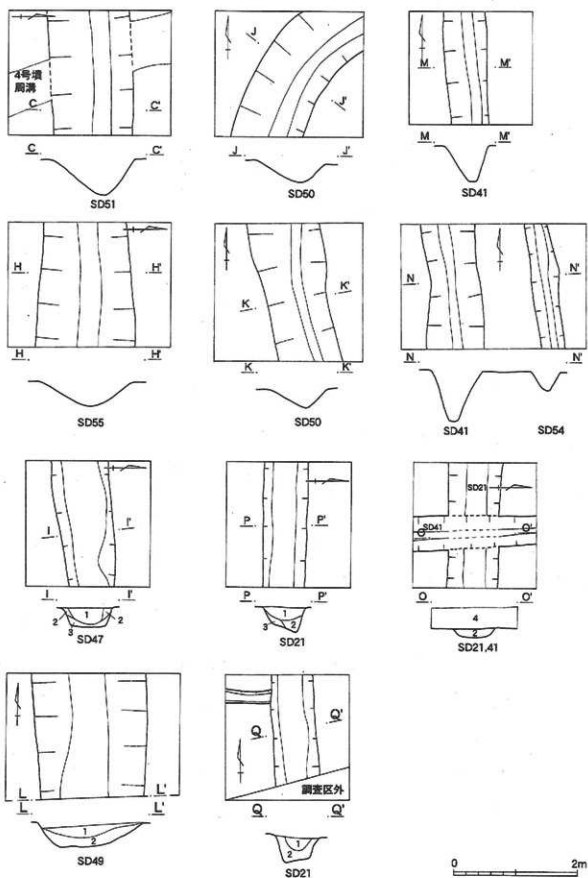
- SD51
- 1 暗褐色土 (RR 種多, 小RB・C 粒微)
  - 2 暗褐色土 (RR・小RB 微)
  - 3 暗褐色土 (RR・小RB 少)
  - 4 暗褐色土 (RR 多, RB・C 粒微)
  - 5 暗褐色土 (RR 中多, RB 少)

- SD52
- 1 暗褐色土 (RR 微)
  - 2 暗褐色土 (RR 少, RB 微)
  - 3 暗褐色土 (RR 微)

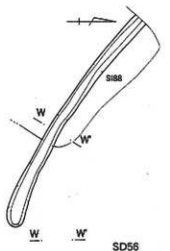
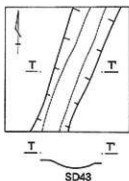
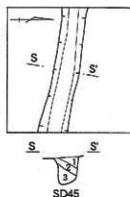
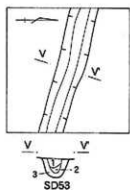
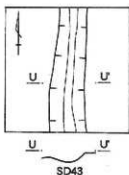
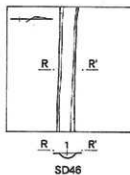
L=A~C=76.800m  
E·F=77.300m



第 42 图 Ⅲ次B区 SD平・断面图(1)



第43图 Ⅲ次B区SD平·断面图(2)



SD21, SD41

- |   |      |               |
|---|------|---------------|
| 1 | 黄褐色土 | (RR少, IP微)    |
| 2 | 黄褐色土 | (RRやや多, RB微)  |
| 3 | 黄褐色土 | (RR多, 小RBやや多) |
| 4 | 黄褐色土 | (RR多, RB少)    |
| 5 | 黄褐色土 | (RR多, RB少)    |
| 6 | 黄褐色土 | (RR多, RB少)    |

SD45

- |   |      |                |
|---|------|----------------|
| 1 | 黄褐色土 | (RR多, KP微)     |
| 2 | 黄褐色土 | (RR多, KP微)     |
| 3 | 黄褐色土 | (RR多, RB, KP少) |

SD46

- |   |      |              |
|---|------|--------------|
| 1 | 暗褐色土 | (RRやや多, RB微) |
|---|------|--------------|

SD47

- |   |      |             |
|---|------|-------------|
| 1 | 黄褐色土 | (RR微)       |
| 2 | 暗褐色土 | (RR少)       |
| 3 | 黄褐色土 | (RR多, 小RB微) |

SD49

- |   |      |       |
|---|------|-------|
| 1 | 暗褐色土 | (RR微) |
| 2 | 黑色土  | (RR多) |

SD53

- |   |      |             |
|---|------|-------------|
| 1 | 黄褐色土 | (RR微)       |
| 2 | 黄褐色土 | (RR多, 小RB微) |
| 3 | 黄褐色土 | (RR多, RB少)  |

L=R=78.900m  
S=78.700m  
T~V=79.800m  
W=75.700m

0 2m

第44图 Ⅲ次B区SD平·断面图(3)

SD53 (第44図)

位置 Ⅲ次B調査区。平面形 東西約10m、南北約5mのL字形。方位 N-15° -E 規模 上幅0.4mのU字形。深さ 確認面から深さ30cm。

SD54 (第43図)

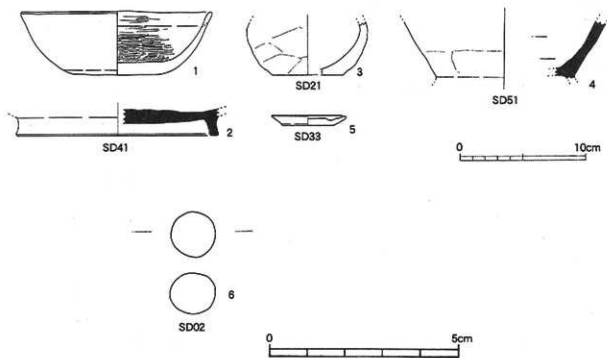
位置 Ⅲ次B調査区。平面形 南北方向に約10m直線的にのびる。方位 N-5° -E 規模 上幅0.4mのV字形。深さ 確認面から深さ30cm。

SD55 (第42・43図)

位置 Ⅲ次B調査区。平面形 東西方向に約20m直線的にのび、2度クランクし約10m東にのびる。方位 N-5° -W 規模 上幅1.7m、下幅0.5m。深さ 確認面から深さ50cm。

SD56 (第44図)

位置 Ⅲ次B調査区。平面形 北西から南東の方向に約10m。方位 N-60° -W 規模 上幅0.2mのU字形。深さ 確認面から深さ10cm。備考 SI88を切る。



第45図 溝出土遺物実測図

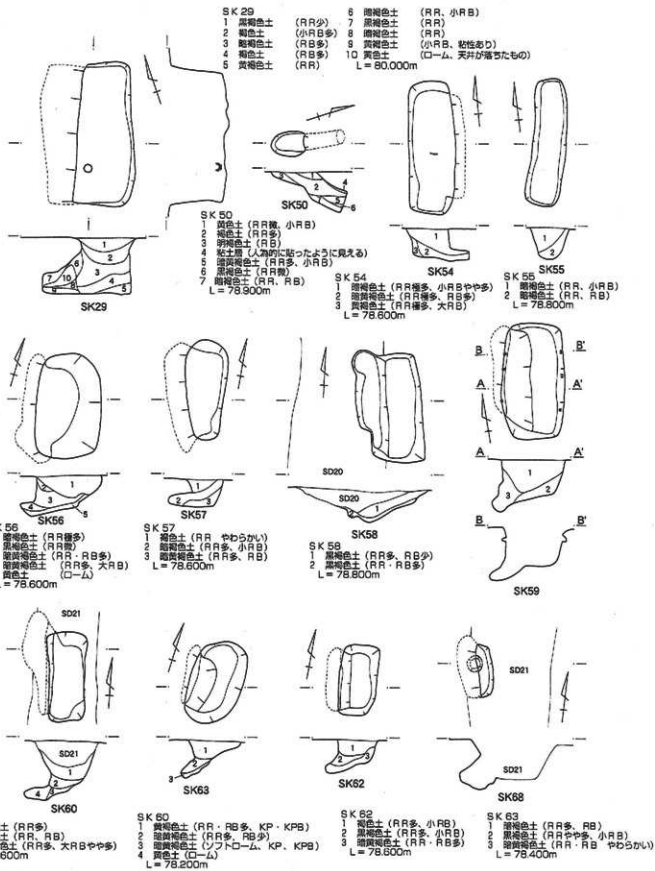
#### 4. 土坑

土坑は、Ⅰ次調査区で1基、Ⅱ次調査区で24基、Ⅲ次調査区で23基が確認できた。その内、側壁込込土坑が24基あり、出土遺物の中に須恵器の坏が含まれることから平安時代の墓坑と考えられる。各遺構の規模等については第8表のとおりである。

遺構名	調査次	出土位置	形態	長軸×短軸	深さ	方向	備考
SK29	I	K-35南東	長方形	2.3m × 0.8m	0.90m	N-22°-E	L字土坑 カワラケが2枚重なって出土
SK50	II	L-35東	楕円形	0.8m × 0.46m	0.60m	N-19°-E	
SK54	II	L-35南	長方形	2.1m × 0.75m	0.50m	N-4°-E	
SK55	II	N-30北東	隅丸長方形	2.0m × 0.54m	0.50m	N-12°-E	
SK58	II	N-31北	隅丸長方形	2.0m × 1.0m	0.56m	N-13°-W	L字土坑
SK57	II	O-31西	隅丸長方形	1.6m × 0.6m	0.40m	N-8°-W	L字土坑
SK58	II	N-32西	長方形	1.8m × 0.5m	0.55m	N-8°-W	L字土坑 SD20に切られている
SK59	II	O-35北	長方形	1.8m × 1.0m	0.85m	N-10°-E	L字土坑
SK60	II	Q-33北	長方形	1.4m × 0.6m	0.90m	N-4°-W	L字土坑 SD21に切られている
SK61	II	N-31東	隅丸長方形	1.1m × 0.56m	0.50m	N-5°-W	L字土坑
SK63	II	P-31東	楕円形	1.4m × 0.8m	0.60m	N-3°-E	L字土坑
SK68	II	N-34北	楕円形	0.85m × 0.24m	0.85m	N-18°-E	L字土坑 SD21に切り合い関係
SK87	II	F-41西	隅丸長方形	1.6m × 1.2m	1.00m	N-8°-E	L字土坑
SK453	II	L-40南東	楕円形	1.4m × 1.3m	0.90m	N-3°-E	SI36を切っている
SK455	II	Q-43北東	円形	1.3m × 1.2m	-	-	
SK456	II	R-41南西	隅丸長方形	1.4m × 1.0m	0.70m	N-5°-E	L字土坑 SD35に切られている
SK601	II	T-40西	円形	0.9m × -	0.30m	-	
SK602	II	T-40西	円形	1.0m × 1.0m	0.20m	-	
SK603	II	T-40西	円形	0.92m × 0.9m	0.20m	-	
SK604	II	F-35北東	円形	1.1m × 1.0m	0.18m	-	
SK605	II	F-35東	円形	1.06m × 1.06m	0.25m	-	
SK607	II	F-35東	楕円形	1.2m × 1.0m	0.20m	N-2°-E	
SK609	II	F-36南	楕円形	2.5m × 1.8m	0.60m	N-1°-W	
SK610	II	E-36南東	円形	1.0m × 1.0m	0.20m	-	
SK801	II	F-40南東	隅丸長方形	1.8m × 1.1m	0.84m	N-0°-W	L字土坑 遺物有り
SK726	III	S-22南	隅丸長方形	0.6m × 1.44m	0.42m	N-10°-W	L字土坑 1号墳周溝と切り合い関係
SK730	III	N-25西	隅丸長方形	1.18m × 2.04m	1.00m	N-6°-W	L字土坑
SK731	III	L-38北西	隅丸長方形	0.73m × 1.36m	0.58m	N-5°-W	L字土坑
SK732	III	L-27南東	隅丸長方形	1.6m × 2.64m	0.90m	N-8°-E	L字土坑
SK733	III	N-28北東	隅丸長方形	0.99m × 1.88m	0.80m	N-28°-E	L字土坑 SD48に切られている
SK734	III	N-24東	円形	1.3m × 1.25m	0.34m	-	
SK735	III	N-26北	隅丸長方形	1.12m × 5.28m	0.82m	N-4°-E	L字土坑
SK737	III	N-20北	円形	4.2m × 3.84m	2.14m	-	有段土坑
SK738	III	O-22北東	楕円形	0.96m × 1.24m	0.70m	N-11°-E	L字土坑
SK739	III	L-212西	隅丸長方形	0.72m × 1.6m	0.64m	N-13°-E	L字土坑
SK740	III	L-21北	円形	1.0m × 1.15m	0.30m	-	L字土坑
SK741	III	M-21北東	円形	0.9m × 0.86m	0.14m	-	
SK746	III	L-23北東	円形	0.88m × 0.76m	0.48m	-	
SK747	III	J-24南	長方形	0.8m × 1.76m	0.54m	N-11°-E	L字土坑
SK748	III	K-26北東	隅丸長方形	0.64m × 2.21m	0.56m	N-7°-W	L字土坑
SK751	III	I-29北東	楕円形	0.86m × 1.76m	0.48m	N-22°-W	L字土坑
SK755	III	L-29北西	隅丸長方形	0.76m × 1.6m	0.34m	N-16°-W	
SK759	III	S-21南	円形	1.89m × 1.86m	0.38m	-	
SK760	III	S-22北	長方形	2.04m × 2.12m	0.94m	N-30	E SK776と切り合い関係
SK771	III	S-22南	円形	1.13m × 1.28m	0.20m	-	
SK772	III	R-24南東	円形	0.55m × 0.65m	0.40m	N-10	E 遺物有り
SK775	III	R-24北	楕円形	0.7m × 1.4m	0.75m	N-21	E
SK776	III	S-22北	円形	0.52m × 0.52m	2.24m	-	SK770と切り合い関係

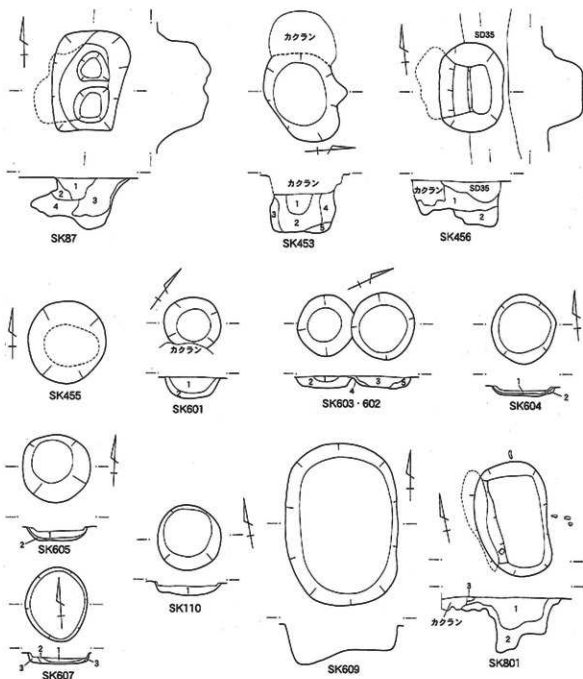
第8表 SK一覽表 (Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ次調査区)





第46図 II 次調査区 SK 平・断面図 (1)





SK 87  
 1 黒褐色土 (RR やや多)  
 2 黒褐色土 (RR 小RB)  
 3 黒褐色土 (RR 種多大RB少)  
 4 黄褐色土 (ローム主体)  
 L = 79.000m

SK 602 - 603  
 1 黒褐色土 (RR 腹)  
 2 黒褐色土 (RR、RB やや多)  
 3 黒褐色土 (RR、RB 少、IP 腹)  
 4 黒褐色土 (RR、RB 少)  
 5 黄褐色土 (RB 主体、黒褐色土少)  
 L = 77.800m

SK 453  
 1 黒褐色土 (SY、炭化物)  
 2 黒褐色土 (RR やや多、RB 少)  
 3 褐色土 (RB 小)  
 4 黄褐色土 (RR 種多、RB)  
 5 黒褐色土 (RR、RB)  
 6 黄褐色土 (RR やや多)  
 L = 78.500m

SK 604  
 1 黒褐色土 (RR、小RB 少)  
 2 黄褐色土 (RR 腹、RB 多)  
 L = 79.300m

SK 605  
 1 黒褐色土 (RR 少、RB)  
 2 黄褐色土 (RR やや多、RB)  
 L = 79.300m

SK 456  
 1 黒褐色土 (RR、RB 少、IP 腹)  
 2 黒褐色土 (RR、RB 多、IP 腹)  
 3 黄褐色土 (RB 主体、RR、黒褐色土少)  
 L = 77.700m

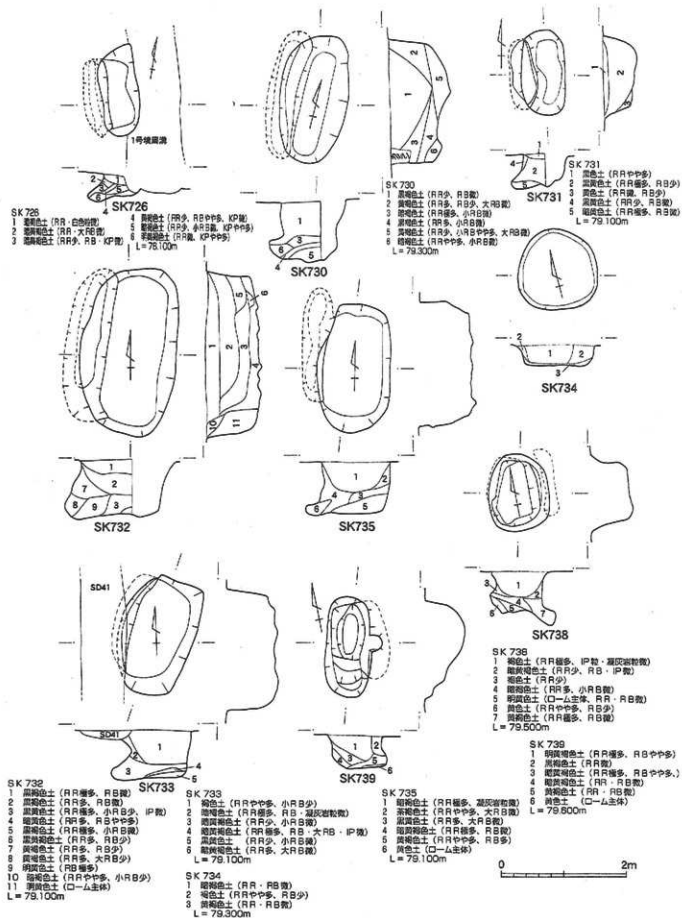
SK 610  
 1 褐色土 (RR 多、IP 腹)  
 L = 79.300m

SK 801  
 1 黒褐色土 (RR 多、IP 腹)  
 2 黄褐色土 (RR 種多、RB 少)  
 3 黒褐色土 (RR 少)  
 L = 79.000m

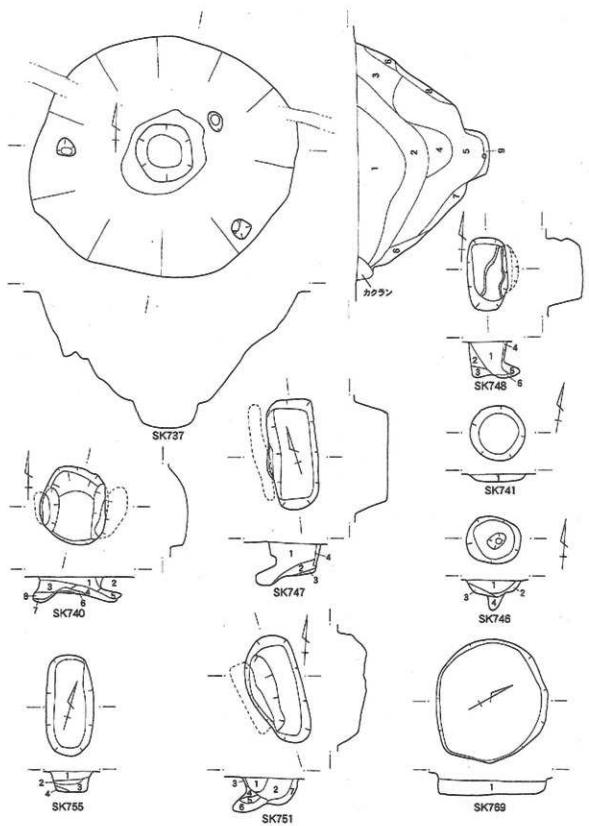
SK 601  
 1 黒褐色土 (RR やや多、RB やや少)  
 2 黒褐色土 (RR 多、RB やや多)  
 L = 77.800m

第 47 図 II 次調査区 SK 平・断面図 (2)

0 2m



第 48 图 Ⅲ次B区 SK·断面图(1)



第49図 川次B区SK平・断面図(2)

- SK 737
- 1 黑褐色土 (RR やや多、凝灰岩粒・C粒微)
  - 2 茶褐色土 (RR やや多、凝灰岩粒・C粒微、KP少)
  - 3 暗褐色土 (RR 極多、凝灰岩粒・C粒・IP微)
  - 4 暗褐色土 (RR 少、KP やや多、凝灰岩粒微)
  - 5 暗褐色土 (RR 少、KP やや多、C粒微)
  - 6 明褐色土 (RR 極多、RB・大RB・凝灰岩粒微)
  - 7 暗茶褐色土 (RR 微、KP 多、C粒微)
  - 8 茶褐色土 (RR 多、小RB・KP・C粒微)
  - 9 明褐色土 (RR 微、KP 多)
- L = 79.100m

- SK 740
- 1 黑褐色土 (RR・RB 微)
  - 2 暗褐色土 (RR・IP 微)
  - 3 黑褐色土 (RR 多、小RB 微)
  - 4 黄褐色土 (RR 微、小RB やや多、大RB 微)
  - 5 暗褐色土 (RR 少、RB 微)
  - 6 黄褐色土 (RR やや多、RB 微)
  - 7 明褐色土 (□-ム主体)
  - 8 茶褐色土 (RR・小RB 微)
- L = 79.600m

- SK 741
- 1 黑褐色土 (RR やや多、小RB 少)
- L = 79.600m

- SK 746
- 1 暗褐色土 (RR・IP・KP・凝灰岩粒微)
  - 2 褐色土 (RR・IP 微)
  - 3 黄褐色土 (RR・IP 微、RB やや多)
  - 4 黄褐色土 (RR やや多、IP 微)
- L = 79.300m

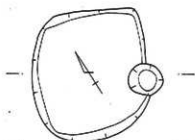
- SK 747
- 1 黑褐色土 (RR 多、小RB 微)
  - 2 明黄褐色土 (□-ム主体、RR・小RB 少)
  - 3 明黄褐色土 (□-ム主体)
  - 4 黄褐色土 (RR やや多、小RB 微)
- L = 79.500m

- SK 748
- 1 黒色土 (RR やや多、小RB 少)
  - 2 暗黄褐色土 (RR やや多、小RB 微)
  - 3 黄褐色土 (RR 多、RB 少)
  - 4 黄色土 (RR・RB 微)
  - 5 黄褐色土 (RR 多、小RB 微)
  - 6 褐色土 (RR やや多、RB 微)
- L = 79.200m

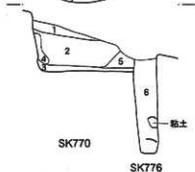
- SK 751
- 1 黒色土 (RR 微)
  - 2 黄褐色土 (RR 極多、小RB 少)
  - 3 茶褐色土 (RR 微)
  - 4 暗黄褐色土 (RR 多、RB 少)
  - 5 明黄褐色土 (RR 微、RB 少)
  - 6 暗黄褐色土 (RR 極多、RB 微)
  - 7 黄褐色土 (RR 極多、RB 少)
- L = 79.300m

- SK 755
- 1 茶褐色土 (RR 少、RB 微)
  - 2 明黄褐色土 (RR 微、大RB 少)
  - 3 暗黄褐色土 (RR・RB やや多)
  - 4 明黄褐色土 (□-ム主体)
- L = 79.100m

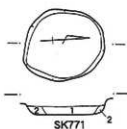
- SK 769
- 1 黄褐色土 (RR・RB 極多、大RB 少、IP 微)
- L = 76.400m



SK770



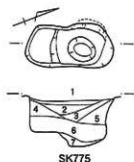
SK776



SK771



SK772



SK775



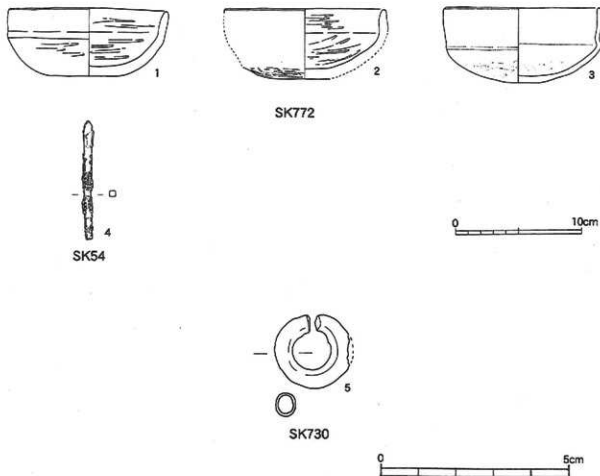
- SK 770 - 776
- 1 暗褐色土 (RR やや多)
  - 2 暗褐色土 (RR 極多、小RB・IP 微)
  - 3 暗褐色土 (RR 少、RB 微)
  - 4 暗黄褐色土 (□-ム主体)
  - 5 黄褐色土 (RR 多)
  - 6 黒色土 (RR・RB 微)
- L = 76.700m

- SK 771
- 1 黑褐色土 (RR・RB・IP・C粒微)
  - 2 黄褐色土 (RR 少、KP・IP 微)
- L = 76.000m

- SK 772
- 1 黒色土 (RR 微)
  - 2 黄褐色土 (RR・小RB 微)
- L = 76.000m

- SK 775
- 1 褐色土 (RR・IP 微)
  - 2 暗褐色土 (RR やや多、小RB 微)
  - 3 暗褐色土 (RR 極多、小RB やや多)
  - 4 黄褐色土 (RR・RB・大RB 少)
  - 5 暗褐色土 (RR・小RB 少、大RB・KP 微)
  - 6 暗黄褐色土 (RR・RB やや多、大RB・KP 微)
  - 7 黄褐色土 (□-ム主体、KP 少)
- L = 77.100m

第50图 Ⅲ次B区SK平・断面图(3)



第 51 図 土坑出土遺物実測図

品目	名称	寸法 (cm)			原料の物産	遺物の形状	遺物の用途	色澤	胎土	組成	出土位置	番号
		口径	底径	底高								
1	土坑磁鉢	12.4	5.2	5.4		口縁部コナナク、胴部内面へラミガキ、胴部内面へラミガキ	緑褐色	砂粒、赤色ク	灰砂	SK772	土坑出土部、内面黒	SK772
2	土坑磁鉢	12.7	5.4			口縁部コナナク、胴部下部へラミガキ、胴部内面へラミガキ	緑褐色	赤色クナナク	灰砂	SK772	土坑出土部、内面黒	SK772
3	土坑磁鉢	12.4	5.4	9.8	丸底	口縁部コナナク、胴部内面へラミガキ、胴部内面へラミガキ	緑褐色	砂粒	灰砂	SK772	土坑出土部、内面黒	SK772
4	鉄鏝	長さ: 9.7	幅: 0.5	厚さ: 0.43	長さ: 6.0			鉄質		SK54	土坑	SK54
5	鉄鏝	幅: 2.0	厚さ: 0.05	長さ: 2.0				鉄質		SK730	土坑	SK730

第 9 表 土坑出土遺物観察表

## 5. 井戸

井戸は、Ⅱ次調査区で4基、Ⅲ次調査区で1基が確認できた。この中でSE04は最大で、掘立柱の区画施設内に位置する。また、開口部の四方に粘土が使われており、上屋構造との関連が想定される。

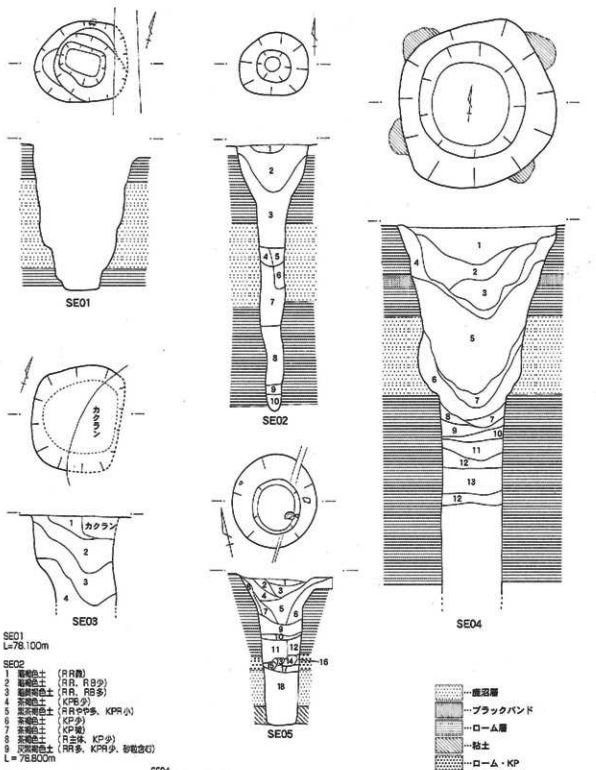
SE02とSE03は区画外で、他の遺構がない空間地に位置する。尚、SE02、SE03、SE04のそれぞれの間隔は約50mである。

遺構の切り合いは、SE05がSI90を切り、SE01がSD22に切られているが、時期を特定する遺物は出土していない。

各遺構の規模等については第10表のとおりである。

遺構名	調査次	出土位置	形態	長軸×短軸(m)	深さ(m)	方向	備考
SE01	Ⅱ	Q - 33南東	楕円形	(1.5) × 1.3	2.33	N - 15° - W	SD22に切られている
SE02	Ⅱ	J - 8北	円形	1.1 × 1.0	4.26	N - 3° - E	
SE03	Ⅱ	N - 38北北東	楕円形	1.72 × (1.4)	不明	N - 17° - W	攪乱に切られている
SE04	Ⅱ	G - 35南	楕円形	2.8 × 2.5	不明	N - 8° - W	四方に粘土が付着
SE05	Ⅲ	S - 21北東	円形	1.44 × 1.37	2.43	N - 15° - E	SI90を切っている

第10表 井戸一覧表



SE01  
L=78100m

SE02

- 1 凝結土 (RR少)
  - 2 凝結土 (RR, RB少)
  - 3 凝結褐色土 (RR, RB多)
  - 4 凝結土 (KP少)
  - 5 凝結褐色土 (RRやPP多, KPR少)
  - 6 凝結土 (KP少)
  - 7 凝結土 (KP少)
  - 8 凝結土 (R主, KP少)
  - 9 凝結褐色土 (RR多, KPR少, 砂粒多)
- L = 78500m

SE03

- 1 凝結土 (RR少, RB少)
  - 2 凝結土 (RR多, RB少, KP少)
  - 3 凝結褐色土 (RR主, RR少, KP少)
  - 4 凝結土 (大RB, RR多, KP少)
- L = 78500m

SE04

- 1 凝結土 (RR少)
  - 2 凝結土 (RR多, RB, KP少, PP少)
  - 3 凝結褐色土 (RR, RB, KP多, PP少)
  - 4 凝結褐色土 (R主, RR, KP多)
  - 5 凝結土 (R主, KP多)
  - 6 凝結褐色土 (KP主)
  - 7 凝結土 (R主)
  - 8 凝結土 (R主)
  - 9 凝結土 (KT多)
  - 10 凝結土 (大RB多)
  - 11 凝結土 (粘土質のRB多)
  - 12 凝結土 (KP主)
  - 13 凝結土 (粘土のRB多)
- L = 78200m

SE05

- 1 凝結土 (RR多, 小RB少)
- 2 凝結土 (RR多, 火山灰少)
- 3 凝結土 (RR多, 火山灰主)
- 4 凝結土 (RR多, 小RB少)
- 5 凝結褐色土 (RR多, 小RB少)
- 6 凝結褐色土 (RR多, 小RB少)
- 7 凝結土 (RR中多, 大RB少)
- 8 凝結土 (RR多, 小RBやPP多)
- 9 凝結土 (ローム主, RR多, 小RBやPP多)
- 10 凝結土 (RR多, RB, 小RB少)
- 11 凝結土 (ローム主)
- 12 凝結土 (RR多, 小RB少)
- 13 凝結土 (ローム主)
- 14 凝結土 (ローム主)



0 2m

第52図 II・III次調査区SE平・断面図



## 6. 古墳

古墳は、第Ⅲ次調査地区内で5基の円墳を確認した。何れも横穴式石室を持つことから後期古墳である。

### (1) 1号墳

#### 位置

本古墳はⅢ次調査区の台地東側の緩斜面に位置する。この古墳群内では一番東に位置する。SD54に周溝西側が切られる。

#### 墳丘と周溝

墳丘部分は削平され、現状では古墳があることがわからなかった。周溝は円形にめぐるが、南側の墓道と周溝の連結部分が影らみをみせる。周溝の内側立ち上がり部分で測った墳丘径は最大26.6m、最小26m、周溝外径は、最大33m、最小29mである。周溝の円の中心はほぼ横穴式石室奥壁の位置である。

周溝幅は、最大が南側で5m、最小が東側で0.7m、確認面からの深さは、0.2～0.6mである。周溝底面は、地山ローム層である。覆土は、自然堆積で、大きく3層に分けられる。

墓道と周溝の連結部付近では、閉塞石や玄門等に使用されたと思われる凝灰岩や川原石が散乱し出土している。

#### 埋葬施設

埋葬施設は横穴式石室である。石室は、玄室及び羨道部に川原石を使用しているが、1段～2段しか残存せず、玄門付近と羨道西側側壁が抜き取られている。石室の方位はN-4°-Eで、ほぼ南向きに開口する。

#### 玄室と羨道

掘り方は、南北3.9m、東西3.76mの長方形で、確認面からの深さは約80cmである。石室の全長は2.24m、幅1.1mである。天井石や柵石が抜き取られ、側壁も数段残存する程度で、残りはあまりよくない。羨道西側の石が抜き取られている。

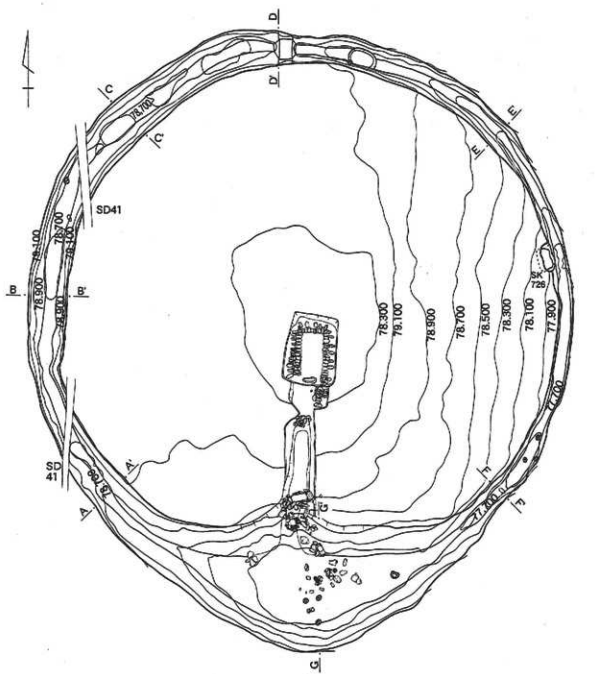
また、玄室と羨道には50cmの段差を有し、確認面からの羨道の深さは30～40cmである。

#### 墓道

墓道は、ほぼ直線的に伸び、南に向かって緩やかに傾斜する。閉塞石は、羨門部と、墓道と周溝部との境に見られるが、後者は川原石の他に、柵石や方立石のような凝灰岩が散乱することから、後世に石室の一部が破壊され、投げ捨てられた状態の可能性も考えられる。墓道幅は1.6m、確認面からの深さは約40～50cmである。

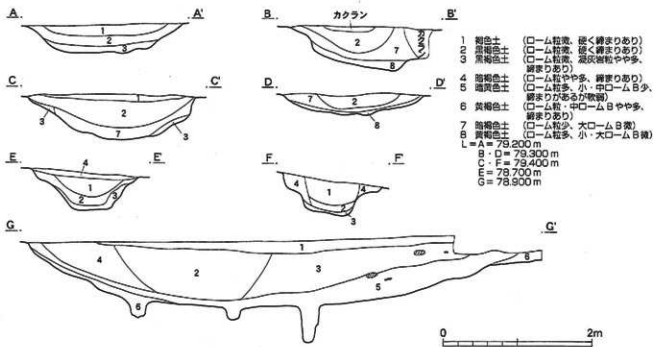
#### 出土遺物

第64図2の灰釉陶器碗1点、3の須恵器短頸壺1点、4の錫杖状鉄製品1点、5の刀子1点、6の鉄鍔1点が出土している。灰釉陶器碗は、口径15.8cm、底径7.2cm、器高4.5cm。ロクロ成形で、体部が内湾気味に立ち上がる。周溝埋土下層より出土しているが、この器形より平安期のものと考えられ、後世の混入もしくは祭祀に関する遺物と思われる。須恵器短頸壺は、口径9.8cmで、口縁部が短く立ち上がる。周溝埋土中より出土し、2号墳及び4号墳出土の破片と接合した。錫杖状鉄製品は、現存長12.5cm、頭部幅5cm、本体部幅1.8cm、厚さ0.15cmで、頭部が左右2つに分かれ、環状になり、羊角状を呈する。断面は扁平で板状である。玄室内、羨道部、周溝内よりバラバラに出土している。刀子は推定長11cm、最大幅1.4cmで、周溝南側埋土中より出土している。鉄鍔は、現存長4cm、鍔身長2.4cm、鍔身幅1.8cmの有茎鍔である。羨道部内より出土している。

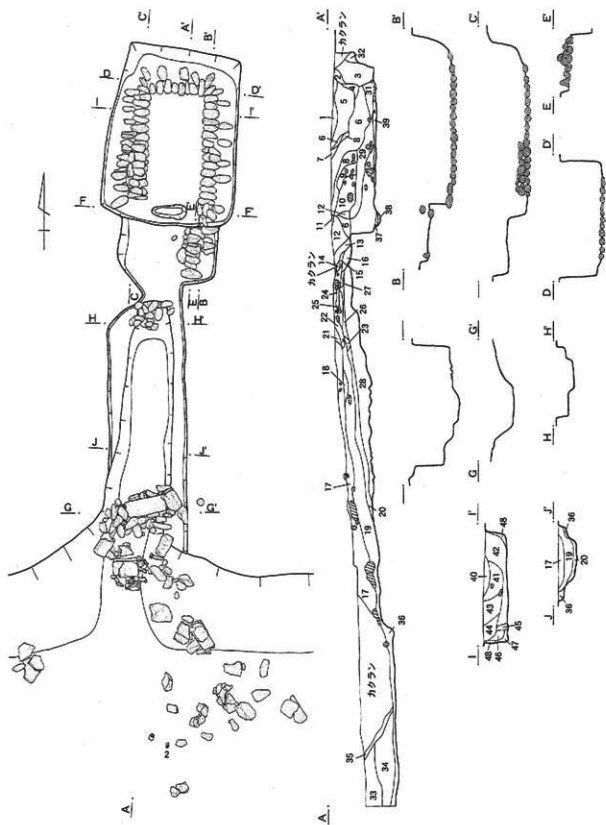


第 53 图 I 号坟平面图

0 10m



第54図 I号墳周溝断面図



第55图 1号墳主体部平・断面图

0 2m

- 1 黄褐色土 (ローム粒やや多、中・大ロームB微)
- 2 黄色土 (ローム粒・小・中ロームB少、凝灰岩粒)
- 3 明黄色土 (ローム粒少、小・中ロームB多)
- 4 暗褐色土 (ローム粒多、小ロームB・凝灰岩粒微、粘土粒少)
- 5 暗黑色土 (ローム粒極多、小ロームB微、凝灰岩粒少、粘土粒多)
- 6 暗褐色土 (ローム粒極多、小ロームB・凝灰岩粒・粘土粒微)
- 7 褐色土 (ローム粒多、粘土粒・炭化物粒微)
- 8 灰黄褐色土 (ローム粒極多、小ロームB・凝灰岩粒・粘土粒やや多、中ロームB少)
- 9 明褐色土 (ローム粒多、凝灰岩粒・炭化物粒微、粘土粒少)
- 10 暗褐色土 (ローム粒少、凝灰岩粒微、粘土粒やや多)
- 11 褐色土 (ローム粒極多、凝灰岩粒・粘土粒微)
- 12 明灰褐色土 (ローム粒少、小ロームB・凝灰岩粒微、粘土粒多)
- 13 明灰褐色土 (ローム粒・小・中粘土B少、小ロームB・凝灰岩粒微、粘土粒極多)
- 14 暗灰褐色土 (ロームB粒・凝灰岩粒・粘土粒微)
- 15 灰黑褐色土 (ローム粒・小ロームB・凝灰岩粒・粘土粒・粘土B微)
- 16 灰黄褐色土 (ローム粒・小ロームB少、粘土粒多)
- 17 褐色土 (ローム粒・粘土粒微、凝灰岩粒少)
- 18 暗褐色土 (凝灰岩粒やや多)
- 19 暗褐色土 (ローム粒・凝灰岩粒微、粘土粒少)
- 20 暗黄色土 (ローム粒多、小ロームB・凝灰岩粒・粘土粒・粘土B微)
- 21 灰褐色土 (ローム粒微、凝灰岩粒やや多、小凝灰岩粒B・粘土粒少)
- 22 暗灰褐色土 (小ロームB・凝灰岩粒微、粘土粒多)
- 23 暗黄色土 (ローム粒・小ロームB少、凝灰岩粒微)
- 24 灰黄色土 (小ロームB微、粘土粒・小粘土B少)
- 25 暗灰黄色土 (ローム少、粘土粒微、粘土塊含)
- 26 暗褐色土 (ローム粒・小ロームB微)
- 27 灰黄色土 (ローム主体、粘土B含)
- 28 暗褐色土 (ローム粒微)
- 29 暗黄褐色土 (ローム粒・粘土粒・小粘土B・凝灰岩粒少、小ロームBやや多)
- 30 灰黑色土 (ローム粒・粘土B少、小ロームB微、凝灰岩粒・粘土粒やや多)
- 31 暗灰黄色土 (ローム粒・粘土粒・小中粘土B少、小ロームBやや多、凝灰岩粒微)
- 32 暗褐色土 (小ロームB微、やや軟弱)
- 33 暗褐色土 (ローム粒多、粒が非常に細かい、締まりあり)
- 34 黒褐色土 (ローム粒多、粒が非常に細かい、締まりあり)
- 35 褐色土 (ローム粒少)
- 36 暗黄色土 (ローム粒・中ロームB少、やや軟弱)
- 37 暗灰褐色土 (ローム粒・小粘土ブロック微、小ロームBやや多、粘土粒少)
- 38 灰黄色土 (ローム主体、粘土粒やや多、やや粘りあり)
- 39 灰黄色土 (ローム主体、粘土粒やや多、粘土B・凝灰岩少、締まりあり)
- 40 茶褐色土 (ローム粒少、小ロームB・粘土粒微、5cm大ロームB含)
- 41 黄褐色土 (ローム粒極多、小・中ロームB・黒色土粒やや多、大ロームB・粘土粒少、凝灰岩微)
- 42 明褐色土 (ローム粒多、小ロームBやや多、中ロームB・粘土粒多、凝灰岩粒微)
- 43 灰褐色土 (ローム粒極多、小・中ロームB・凝灰岩粒微、粘土粒多)
- 44 明灰褐色土 (ローム粒極多、中ロームB・小粘土B微、粘土粒多、黒色土粒やや多)
- 45 暗褐色土 (ローム粒多、粘土粒やや多、黒色土粒微)
- 46 暗黄褐色土 (ローム粒・小ロームBやや多、中ロームB少、黒色土粒微)
- 47 暗黄褐色土 (ローム粒やや多、小・中ロームB・粘土粒・黒色土粒微)
- 48 黄褐色土 (ローム主体、ローム粒少、凝灰粒微)
- L = A · F · I = 79.500m  
B ~ D = 79.400m  
E · G · H · J = 79.200m

## (2) 2号墳

### 位置

本古墳は1号墳の北西方約10mに位置する。古墳の東側と中央部の一部がSD41とSD50により切られる。

### 墳丘と周溝

墳丘部分は削平され、1号墳同様、現状では古墳があることがわからなかった。周溝はほぼ円形にめぐらる。周溝の内側立ち上がり部分で測った墳丘径は最大20.5m、最小19.5m、周溝外径は、最大23.4m、最小21.8mである。周溝の円の中心はほぼ横穴式石室奥壁の位置である。

周溝幅は、最大が前底部分で3m、最小が西側から北側にかけて0.5m、確認面からの深さは、0.1～0.8mである。周溝底面は、地山ローム層である。覆土は自然堆積である。

### 埋葬施設

埋葬施設は横穴式石室である。石室は、玄室に川原石を使用しているが、1段～2段しか残存していない。石室の方位はN-2°-Eで、ほぼ南向きに開口する。

### 玄室と羨道

掘り方は、南北3.3m、東西2.4mの長方形で、確認面からの深さは約10～20cmである。石室の全長は2.2m、幅0.96mである。羨道部の側壁が残っておらず、羨道部の規模は不明である。また、玄室と羨道には10cmの段差を有し、玄門部に位置する場所には、奥壁と同様に縦長に使用した川原石を一列に並べている。

### 墓道

墓道は、ほぼ直線的に伸び、南に向かって緩やかに傾斜する。墓道幅は0.8～1.4m、確認面からの深さは羨道部付近で約10cm、周溝との接続部分で40cmである。

### 出土遺物

第64図1の土師器埴1点が周溝埋土中より出土している。寸法は、口径11cm、底径3.5cm、器高5.3cm。平底で、体部が内湾気味に立ち上がる。器面の調整は、外面ナデで、内面は剥離が目立ち荒れている。

## (3) 3号墳

### 位置

本古墳は1号墳の西方約30mに位置する。古墳の西側がSD52により切られる。

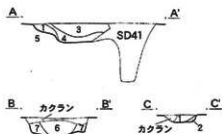
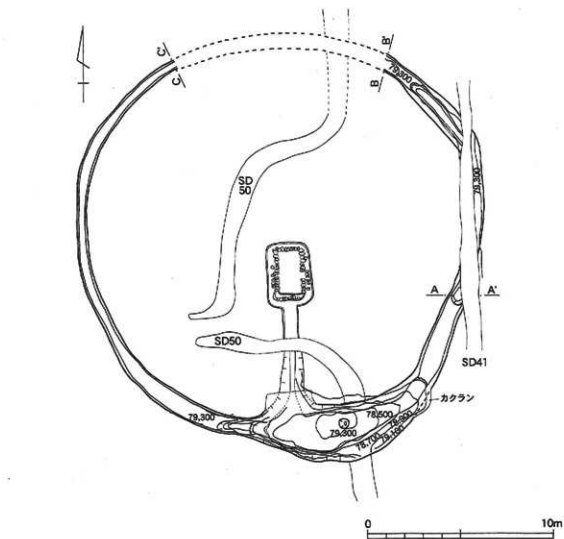
### 墳丘と周溝

墳丘部分は削平され、1号墳同様、現状では古墳があることがわからなかった。また、周溝も掘り込みが浅いせいか、西側の一部及び東側が確認できなかったが、墳形は円形と考えられる。想定される墳丘径は15m、周溝外径は16.5mである。

周溝幅は、0.8m、確認面からの深さは、0.4mである。周溝底面は、地山ローム層である。覆土は自然堆積である。周溝南側の墓道脇に土坑状の掘り込みと隣接してピットが確認され、周溝内埋葬の可能性がある。土坑の規模は、長軸80cm、短軸40cm、周溝底よりの深さが20cmである。

### 埋葬施設

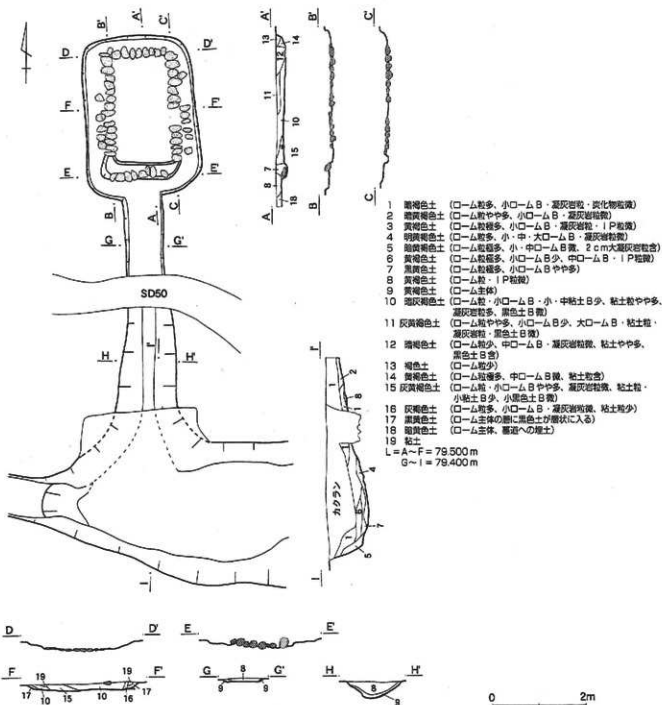
埋葬施設は横穴式石室である。石室は、玄室及び羨道に川原石を使用しているが、1段～2段しか残存していない。石室の方位はN-1°-Eで、ほぼ南向きに開口する。



- 1 暗褐色土 (ローム粒、中ロームB・IP粒状)
  - 2 明褐色土 (ローム主体)
  - 3 明褐色土 (ローム粒極多、凝灰岩粒状)
  - 4 茶褐色土 (ローム粒極多、小ロームB・炭化物粒状)
  - 5 黄褐色土 (ローム粒、大ロームB型)
  - 6 暗褐色土 (ローム粒少、IP粒・炭化物粒)
  - 7 黄色土 (ローム主体)
- L = A = B1.800m  
B・C = B1.800m

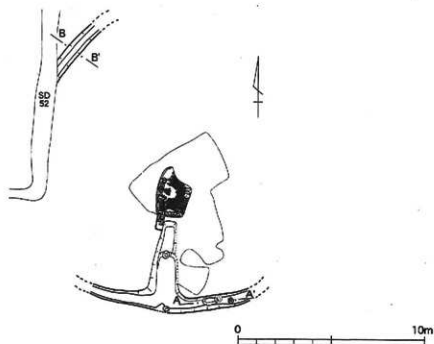


第56図 2号墳平・断面図



第57図 2号墳主体部平・断面図

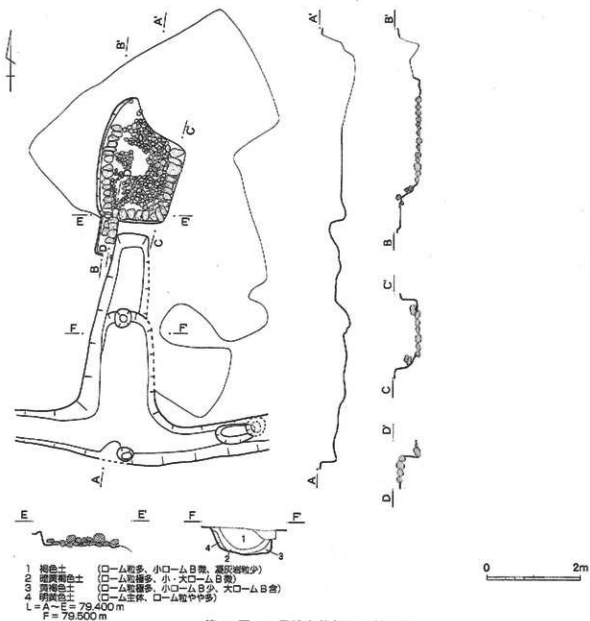




- |   |       |                                |
|---|-------|--------------------------------|
| 1 | 黒褐色土  | (□-ム粒・炭化物微、硬く締まりあり)            |
| 2 | 黒灰褐色土 | (□-ム粒やや多、小□-ムB微、硬く締まりあり)       |
| 3 | 黒灰褐色土 | (□-ム粒、小□-ムB、炭化物微・IP粒微、硬く締まりあり) |
| 4 | 暗褐色土  | (□-ム粒多、小□-ムB少、中□-ムB含、締まりあり)    |
| 5 | 黒褐色土  | (□-ム粒やや多、中□-ムB含、締まりあり)         |
- L = A = 79,300 m  
B = 79,500 m



第58図 3号墳平・断面図



第59图 3号墳主体部平·断面图

#### 玄室と羨道

大きく攪乱を受けており、奥壁及び羨道の一部が不明。掘り方の確認面からの深さは約20~40cmである。羨道部の東側側壁が攪乱のため不明であることから、平面形態は確定できない。玄室床面には拳大の川原石が敷かれている。

また、玄室と羨道には40cmの段差を有し、玄門部に位置する場所には、2号墳と同様に縦長に使用した川原石を2段一列に並べている。

#### 墓道

墓道は、南に向かってやや「ハ」字状に開き、2段に掘り込まれている。墓道幅は0.9~1.6mで、確認面からの深さは、羨道付近が約10cm、周溝との接続部分が約50cmである。

#### 出土遺物

出土遺物は確認されなかった。

### (4) 4号墳

#### 位置

本古墳は3号墳の南方約15mに位置する。古墳は東西方向のSD47・SD51・SD55の三本の溝により切られる。

#### 墳丘と周溝

墳丘部分は削平され、1号墳同様、現状では古墳があることがわからなかった。また、周溝も掘り込みが浅いせいか、東側半分の周溝が確認できなかったが、墳形は円形と考えられる。想定される墳丘径20m、周溝外径は21mである。

周溝幅は、0.5~1.7m、確認面からの深さは、0.5~1.3mである。周溝底面は、地山ローム層である。覆土は自然堆積である。

#### 埋葬施設

埋葬施設は横穴式石室である。石室は、玄室に川原石を使用していたと思われるが、側壁はほとんど抜き取られている。石室の方位はN-2°-Eで、ほぼ南向きに開口する。

#### 玄室と羨道

玄室床面には川原石が敷かれていたが、側壁等が抜かれており、平面形態は不明。掘り方の規模は、南北3.4m×東西2.8mで、確認面からの深さは約60cmである。

#### 墓道

墓道は、南に向かってやや「ハ」字状に開く。墓道幅は0.9~1.6m、確認面からの深さは、羨道付近が約20cm、周溝との接続部分が約30cmである。

#### 出土遺物

出土遺物は確認されなかった。

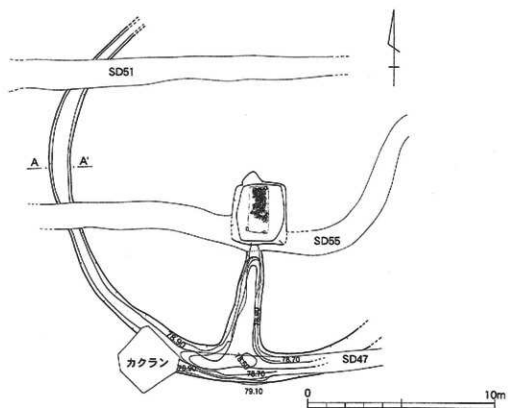
### (5) 5号墳

#### 位置

本古墳は4号墳の西側に隣接して位置する。古墳はSD51により切られる。

#### 墳丘と周溝

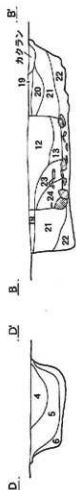
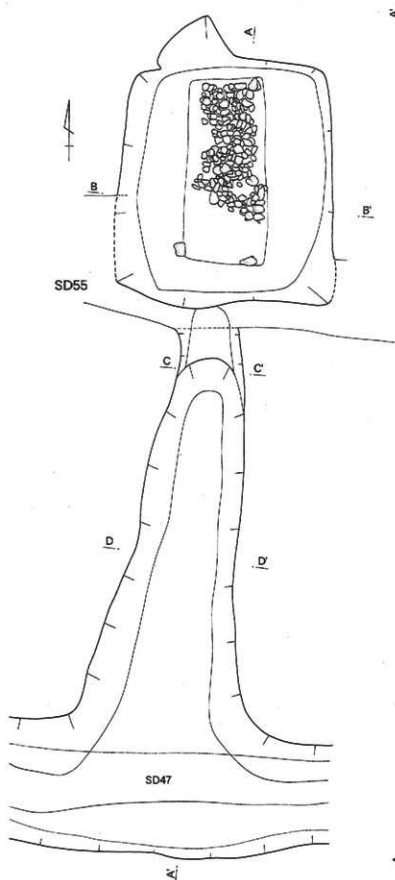
墳丘部分は削平され、1号墳同様、現状では古墳があることがわからなかった。周溝南側に大きな攪乱があるが、墳形は円形と考えられる。想定される墳丘径は19.5m、周溝外径は20.5mである。



- 1 黒褐色土 (□-ムR・小□-ムB境)
- 2 暗黄褐色土 (□-ムR多量、□-ムB境)
- 3 黄褐色土 (□-ム主体、□-ムR・□-ムB境)

L=79.300m

第60図 4号墳平・断面図

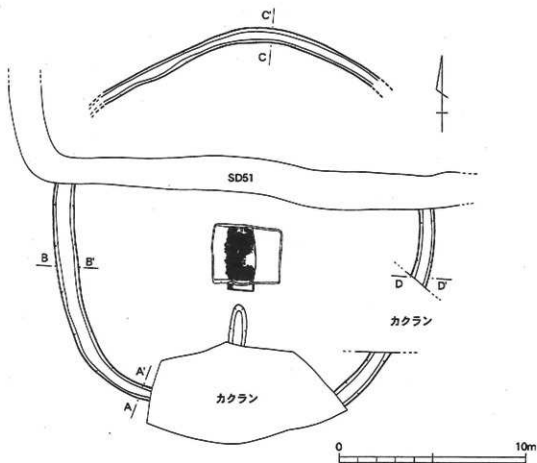


- |    |       |  |
|----|-------|--|
| 1  | 黄褐色土  | (□-M R少, 凝灰岩粒質, IP 粒)                    |
| 2  | 赤褐色土  | (□-M Rやや多, 凝灰岩粒質)                        |
| 3  | 灰褐色土  | (□-M R多, 小□-M B少, □-M B多, 大□-M B質)       |
| 4  | 凝灰褐色土 | (□-M R少, 凝灰岩粒質)                          |
| 5  | 黄褐色土  | (□-M R, 凝灰岩粒質)                           |
| 6  | 凝灰褐色土 | (□-M 多, □-M B質)                          |
| 7  | 灰褐色土  | (□-M Rやや多, □-M B)                        |
| 8  | 黄褐色土  | (□-M Rやや多, □-M B, 凝灰岩粒質)                 |
| 9  | 明灰褐色土 | (□-M R多, 小□-M Bやや多, □-M B, 凝灰岩粒質)        |
| 10 | 黄褐色土  | (□-M Rやや多, □-M B質, 凝灰岩 B)                |
| 11 | 黄褐色土  | (□-M R質, □-M B)                          |
| 12 | 黄褐色土  | (□-M R多, 小□-M Bやや多, □-M B, 凝灰岩粒質)        |
| 13 | 黄褐色土  | (□-M R少, □-M B, 凝灰岩粒質)                   |
| 14 | 黄褐色土  | (□-M R質, □-M 主体)                         |
| 15 | 黄褐色土  | (□-M R多, 小□-M Bやや多, 大□-M B, IP 粒, 凝灰岩粒質) |
| 16 | 黄褐色土  | (□-M R多, 小□-M Bやや多, 凝灰岩粒質)               |
| 17 | 褐色土   | (□-M R少, 小□-M B, 凝灰岩粒質)                  |
| 18 | 黄褐色土  | (□-M R少, □-M Bやや多, 大□-M B)               |
| 19 | 黄褐色土  | (□-M R多, 小□-M B, 凝灰岩粒質)                  |
| 20 | 黄褐色土  | (□-M R多, □-M Bやや多, 凝灰岩粒質)                |
| 21 | 黄褐色土  | (□-M R多, □-M B少, 大□-M B, IP 粒)           |
| 22 | 黄褐色土  | (□-M R, □-M B少, 大□-M B質)                 |
| 23 | 黄褐色土  | (□-M R少, □-M B質)                         |
| 24 | 黄褐色土  | (□-M R多, 小□-M B, 凝灰岩粒質)                  |

L=79.300m

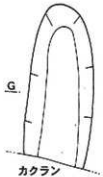
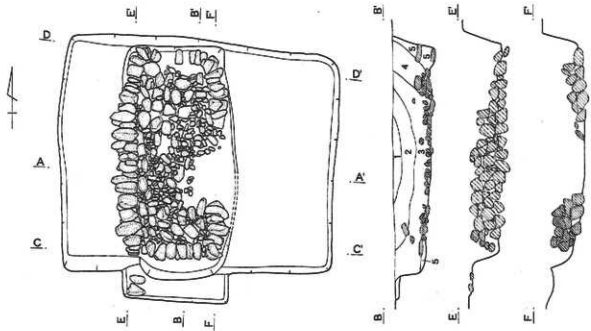
第 61 图 4号墳主体部平・断面图

0 2m



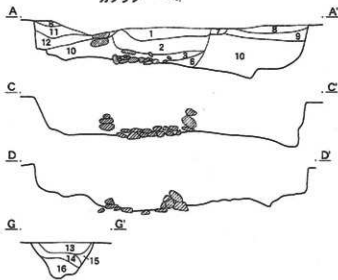
- |                        |                          |
|------------------------|--------------------------|
| 1 暗褐色土 (ロームRや多、小ロームB線) | 5 暗褐色土 (ローム主体、IP粒微)      |
| 2 黒褐色土 (ロームR濃、小ロームB少)  | 7 暗黄褐色土 (ロームR・ロームB・炭化物微) |
| 3 野褐色土 (ロームR濃、火山灰少)    |                          |
| 4 暗黄褐色土 (ロームR濃)        | L=79.800m                |
| 6 暗赤褐色土 (ロームR濃)        |                          |

第62図 5号墳平・断面図



- 1 赤褐色土 (□-△R多, 小□-△BやP多, □-△B少)
- 2 深赤褐色土 (□-△R多, 小□-△B中多, □-△B少)
- 3 深赤褐色土 (□-△R, 小□-△B多, 大□-△B散)
- 4 暗褐色土 (□-△R多, 小□-△B多, □-△B散)
- 5 黄褐色土 (□-△R少, 小□-△B散)
- 6 暗褐色土 (□-△R多, 小□-△B少, □-△B散)
- 7 黄褐色土 (□-△R中多, □-△B散)
- 8 黄褐色土 (□-△R少, 小□-△B多)
- 9 暗褐色土 (□-△R少, □-△B散)
- 10 黄土 (□-△B主多)
- 11 明黄褐色土 (□-△B多)
- 12 暗褐色土 (□-△R少, □-△B多)
- 13 暗褐色土 (□-△R少, 小□-△B, 凝灰岩粒散)
- 14 黄褐色土 (□-△R多, □-△B散, □-△B塊)
- 15 暗黄褐色土 (□-△R多, □-△B散)
- 16 暗黄褐色土 (□-△R多, □-△B散, 大□-△B)

L=79.500m



第 63 图 5号墳主体部平・断面図

周溝幅は、0.6～1.0m、確認面からの深さは、0.5mである。周溝底面は、地山ローム層である。覆土は自然堆積である。

#### 埋葬施設

埋葬施設は横穴式石室である。石室は、玄室に川原石を使用し、床面に拳大の川原石を敷いている。石室の方位はN-0° -Eで、ほぼ南向きに開口する。

#### 玄室と羨道

玄室床面に敷かれた石を確認した。羨道部分東側が抜かれているため平面形態は不確定であるが、無袖形と考えられる。掘り方の規模は、南北3.1m×東西3.5mで、確認面からの深さは約40cmである。石室の全長は2.7m、幅1.4mである。

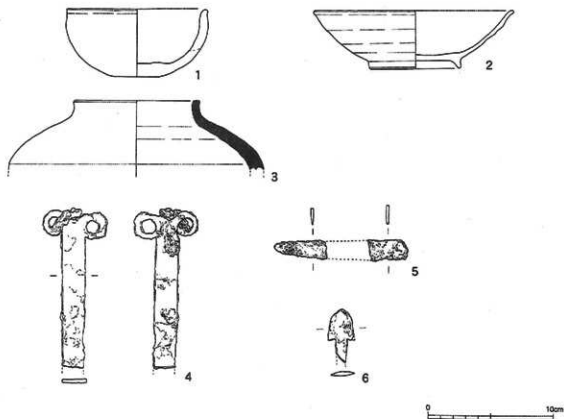
また、玄室と羨道には40cmの段差を有し、玄門部に位置する場所には、3号墳と同様に縦長に使用した川原石を2段一列に並べている。

#### 墓道

墓道は、南側に大きな攪乱があるためその形状は不明であるが、直線的に南側に伸びると考えられる。墓道幅は0.9～1.6m、確認面からの深さは約40cmである。

#### 出土遺物

出土遺物は確認されなかった。

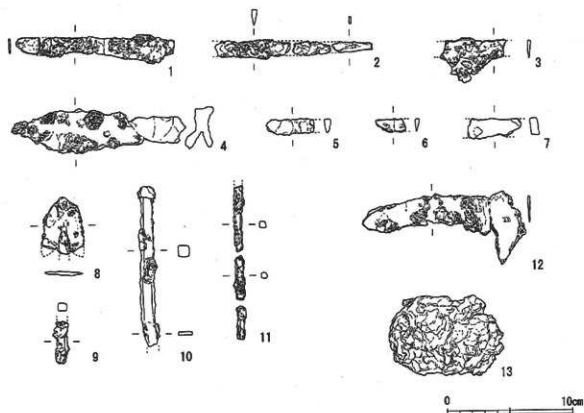


第64図 古墳出土遺物実測図



## 7 鉄製品

第1次調査区～第4次調査区の住居跡内からは、刀子7点、鉄鏝3点、鎌1点、鉄滓1点、不明1点(第65図)が出土している。詳細については観察表で記す。



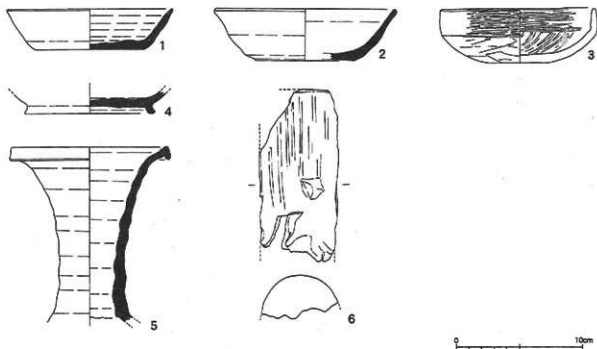
第65図 鉄製品実測図

番号	品名	寸法 (cm)	重さ (g)	出土位置	備考
1	刀子	長さ:12.4 幅:2.0 厚さ:0.1	17	S128 堀土中層	
2	刀子	長さ:12.4 幅:1.2 厚さ:0.5	23	S149 堀土中	
3	刀子	幅:1.4 厚さ:0.2	11	S164 堀土中	かなり腐食している。
4	刀子	長さ:13.8 幅:3.2	64	S148 堀土中	
5	刀子	長さ:3.8 幅:1.2 厚さ:0.7	4	S197 堀土中	
6	刀子	長さ:2.3 幅:1.0 厚さ:0.4	1	S177 堀土中	刀子の先端。
7	刀子	長さ:2.3 幅:1.0 厚さ:0.4	1	S197 堀土中	
8	鉄鏝	長さ:4.5 幅:3.0 厚さ:0.25	7	S173 堀土中	
9	鉄鏝	長さ:3.2幅:0.8厚さ:0.9	5	S197 堀土中	
10	不明	長さ:12.6 幅:1.2 厚さ:0.8	40	S177 堀土下層	
11	鉄鏝	幅:0.5 厚さ:0.5	9	S181 堀土中	
12	鉄鏝	長さ:12.5 幅:2.0 厚さ:0.1	39	S142 堀土中層	本質部残存。
13	鉄滓		230	表層	

第11表 鉄製品観察表

## 8 遺構外出土遺物

遺構外からは、須恵器杯2点、須恵器高台付杯1点、須恵器長頸壺1点、土師器杯1点、土製支脚1点(第66図)が出土している。詳細については観察表で記す。



第66図 遺構外出土遺物実測図

番号	器種	寸法 (cm)			器形の特色	器底の特色	色調	胎土	構成	出土位置	備考
		口径	高さ	底径							
1	須恵器杯	15.0	3.2	8.4	口底で凹溝が浅く残る。	ロクク底面、凹輪へリあり。	淡黄褐色	黒粒	黒粒	磁瓦。	
2	須恵器杯	16.0	4.1	7.8	平底で凹溝が浅く残る。	ロクク底面、凹輪が凹輪へリあり、底面凹輪あり。	灰色	付着層粒	黒粒	磁瓦。	
3	土師器杯	12.2	4.2		口底で凹溝が浅く残る。	凹輪へリとび、口縁部凹輪へリとび、凹輪部へリとび。	赤褐色	砂粒	赤粒	磁瓦。	
4	須恵器高台付杯			30.2	高台を有す。	ロクク底面、凹輪へリあり。	灰白色	黒粒	黒粒	磁瓦。	
5	須恵器長頸壺	12.2				ロクク底面。	灰マゼンブ色	黒粒	付着層粒	付着層粒、凹輪部付着層粒。	
6	土製支脚					断面とび。	黄褐色		付着層粒	土製。	

第12表 遺構外出土遺物観察表

### Ⅲ おわりに

今まで第Ⅰ次調査から第Ⅳ次調査の結果を、3冊に分けて報告してきた。ここでは、本遺跡の全体的な流れについてまとめてみる。

本遺跡の始まりは、弥生時代中期に遡る。遺跡の北側に1軒の竪穴住居跡(SI94)が確認されている。周辺の大神主・茂原遺跡、愛宕塚遺跡、権現山北遺跡等で中期の土器が出土していることから、この台地一帯には小規模な中期の集落があったことがわかる。

このような集落景観は、すでに岩上照朗・藤田典夫の両氏が自治医科大学地区内の分析で「1軒の住居跡と数基の土坑から構成される小規模な集落が小谷を囲むように一ないし二単位で点在する在り方」と指摘している(岩上・藤田1997)とおりである。

その後、古墳時代前期になると東側の谷に向かって舌状に張り出した台地上に2時期にわたり十数軒程度の集落が営まれる。この茂原地域は、大日塚古墳、愛宕塚古墳、権現山古墳の3基の前方後方墳が築造されるなど、古墳時代前期において栃木県内で特出すべき地域である。同じ田川流域の下野市三王地区とともに、県内において古墳文化を最初に受け入れた地域と言える。

その後、5世紀末～6世紀初頭にSI87、SI89、SI90の3軒がⅢ次B区に営まれる。SI87とSI90は平面が方形でカマドがあり、SI89は平面が長方形でカマドが無い。また、SI90は、南カマドであり、煙道が短い点も注目される。

6世紀後半になると、横穴式石室をもつ円墳が5基築造される。何れの古墳も墳丘が削平され、石室の石も抜き取られていることから、その形態を十分に把握することができないが、その特徴をまとめてみると次のようになる。

- ① 玄室の側壁及び奥壁、羨道の側壁が川原石積みである。1号墳・2号墳・5号墳を見ると、側壁の石及び奥壁の石とも縦長に使用し積んでいる。また、2号墳・3号墳・5号墳では、玄室部の入口部分にも石を縦長に使用し数段積んでいる。
- ② 1号墳・3号墳・5号墳の羨道部は玄室より一段高く、玄室の側壁ラインより若干内側に石が配列されている。
- ③ 墓道は、5号墳が擾乱により不明であるが、それ以外は、緩く南側に向かって傾斜し、周溝に至る。

このような特徴をもつ古墳として星の宮神社古墳が上げられる。星の宮神社古墳は直径46mの円墳で、本遺跡の古墳より大型で副葬品も豊富である。玄室規模も、長さが7.1m、幅1.5mと長大である。それに対し、本古墳群は、何れも長さが2.2m前後、幅が1m前後と、1人分がようやく収納できるスペースしかなく、規模的な違いが見られる。

大橋泰夫氏は、「無袖式であり、羨道から玄室へ一段の段差を持ち、羨道が短く、閉塞は河原石積みで行う。また、構築にあたって旧地表土を掘り込むこと(地下式)も特徴の一つ」とするような石室を「飯塚型」と称し、その出現は6世紀中葉まで遡るとする(大橋1990)。

池上悟氏は、このような石室を竪穴系横口式石室とし、下野の横穴式石室を見る上で重要な位置を占めているとする(池上1988)。

片根義幸氏は、間々田六本木古墳群の事例から、このような川原石積み石室の変遷案を提示されている(片根1997)。

上記研究者の研究成果を踏まえて本古墳群の築造時期を考えると、出土遺物が少なく決定が難しいが、6世紀後半と考えられる。

本古墳群の東側の神主台地縁辺には、中期から後期にかけて40基にのぼる神主古墳群が築造されている。この古墳群の中に狐塚古墳と後志部古墳2基の前方後円墳があり、後志部古墳は横穴式石室をもつ。この古墳群と本古墳群との関係が目される。

尚、1号墳出土遺物の灰釉陶器と錫杖状鉄製品は奈良・平安時代の遺物と考えられ、本遺跡の奈良時代の集落が衰退して以降、古墳がどのような状況であったかを知る1つの手掛かりを与えてくれる資料として興味深い。特に錫杖状鉄製品は東北地方に出土が多く、時期不明のものもあるが、概ね奈良末～11世紀にかけての遺物と考えられており(田中1998)、近くを通る東山道との関連も類推される。

古墳が築造されたのは1世紀後に、古墳群の南側に柵列により区画された施設が出現する。この遺構に関しては、「評家」の可能性が指摘されている(板橋・田熊 2003)。

また、それに隣接し、7世紀後半～8世紀にかけての集落が営まれる。区画施設に関係しない堅穴住居跡は栃木県埋蔵文化財センター調査分を含めると140軒、掘立柱建物跡57棟が確認されている。これらの遺構の変遷については、板橋氏が報告書の中で分析されているので参照されたい。

#### (参考文献)

- 板橋正幸・田熊清彦 2003『西下谷田遺跡』栃木県教育委員会・(財)とちぎ生涯学習文化財団  
池上悟 1988『野州石室考』『立正大学文学部論叢』第88号  
岩上照朗・藤田典夫 1997『栃木県における弥生時代中期後半の土器群』『研究紀要』第5号 栃木県文化振興事業団  
大橋泰夫 1990『下野における古墳時代後期の動向』『古代』第89号 早稲田大学考古学会  
片根義幸 1997『古墳群について』『間々田地区遺跡群Ⅰ』栃木県教育委員会・(財)栃木県文化振興事業団  
田中珠美 1998『3 錫杖状鉄製品』『新町野遺跡・野木遺跡』青森県埋蔵文化財調査センター



# 写真図版



① SI65 完掘状況



② SI66 完掘状況



③ SI77 完掘状況



④ SI77 遺物出土状況



⑤ SI80 完掘状況



⑥ SI81 完掘状況



⑦ SI83 完掘状況



⑧ SI84・86 完掘状況



① SI87 完掘状況



② SI88 完掘状況



③ SI89 完掘状況



④ SI89 遺物出土状況



⑤ SI90・91 セクション



⑥ SI90・91 完掘状況



⑦ SI92 完掘状況



⑧ SI93 完掘状況





① SI94 完掘状況



② SI96 完掘状況



③ SI97 完掘状況



④ SB21 完掘状況



⑤ SB23 完掘状況



⑥ SE05 セクション



⑦ SK730 セクション



⑧ SK731 セクション



① SK732 完掘状況



② SK733 セクション



③ SK735 完掘状況



④ SK737 完掘状況



⑤ SK737 セクション



⑥ SK739 セクション



⑦ SK747 完掘状況



⑧ SK747 セクション



① SK748 セクション



② SK748 完掘状況



③ SK751 セクション



④ SK751 完掘状況



⑤ 1号墳 完掘状況



① 1号墳 石室



② 1号墳 周溝埋土状況



③ 1号墳 墓道



④ 1号墳 墓道閉塞石



⑤ 1号墳 石室確認状況



⑥ 1号墳 石室完露状況



① 2号墳 完掘状況



② 2号墳 石室完掘状況



③ 3号墳 完掘状況



① 3号墳 墓道セクション



② 4号墳 石室完掘状況



③ 4号墳 完掘状況



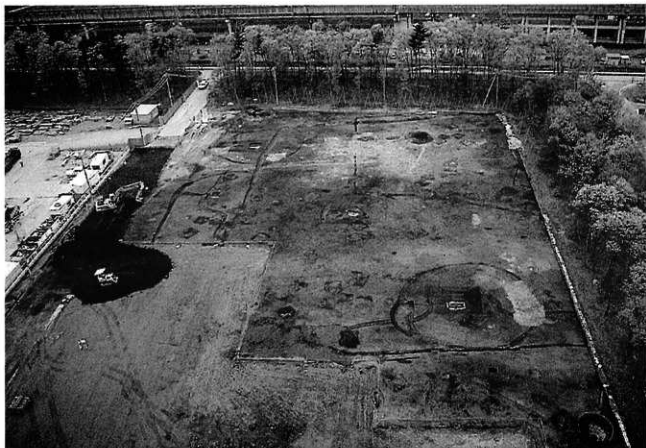
① 5号墳 完掘状況



② 5号墳 墓道完掘状況



③ 5号墳 石室完掘状況



① 古墳群遠景





1



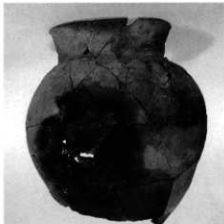
2



4



5

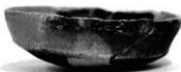


6

① SI65 出土遺物



1



2



3



4



6

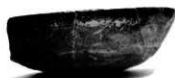


8



5

② SI66 出土遺物



1



2



3



4



5



6



7

① SI77 出土遺物



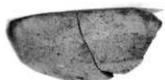
1



2



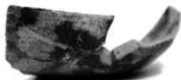
3



4



5



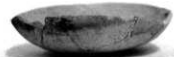
6



7



8

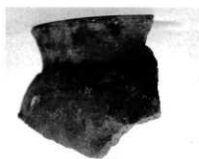


9

② SI80 出土遺物 (1)



10



11

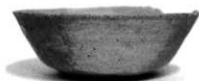


12



13

① S180 出土遺物 (2)



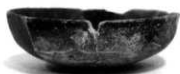
1



2



3



4



5



6



7



8



9

② S181 出土遺物 (1)



10



11



12



13



14



15



16



17



1



2



3



4



5

① S183 出土遺物



2



3



4



5



6



7



8

② S184 出土遺物



1



2



3

① S185 出土遺物



1



2



4



6



7



8



10

② S187 出土遺物



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



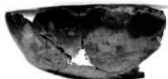
11



1



2



3



4



5

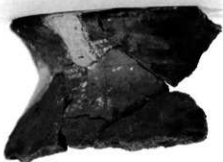


6

① S190 出土遺物



1



2

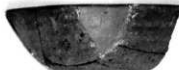


3

② S191 出土遺物



1



2



4

③ S192 出土遺物





1



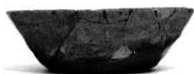
2

① SI93 出土遺物



1

② SI94 出土遺物



1



2

① SI96 出土遺物



1



2



3



4

④ SI97 出土遺物



1



2



3



4



5

① 溝 出土遺物



1



2



3



4



5

② 土坑出土遺物



1



2



3



5



4



6

① 古墳出土遺物



1



2



3



4



5



6



7

② 鉄製品 (1)



8



9



12



10



11



13

① 鉄製品 (2)



2



3



5



6

② 遺構外出土遺物

## 報 告 書 抄 録

ふりがな	にししもやたいせき
書名	西下谷田遺跡 一古代編Ⅱ一
副書名	
巻次	
シリーズ名	宇都宮市埋蔵文化財報告書
シリーズ番号	第 65 集
編著者名	今平利幸
編集機関	宇都宮市教育委員会
所在地	宇都宮市旭 1 丁目 1 番 5 号 Ⅱ028-632-2764
発行年月日	西暦 2008 年 (平成 20 年) 3 月 31 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
にししもやた 西下谷田 遺跡	うつのみやし 宇都宮市 もばらまろ 茂原町	09201	467	36 度 27 分 46 秒	139 度 52 分 39 秒	19961210 ～ 19991114	59,200	清掃工場 建設に伴 う発掘調 査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項
西下谷田遺跡	古墳	古墳時代	古墳	5 基	土師器 須恵器	
	集落跡	奈良時代	竪穴住居跡	17 軒	鉄製品	
		古墳時代	掘立柱建物跡	4 棟	耳環	
			竪穴住居跡	3 軒		

---

宇都宮市埋藏文化財調査報告書第65集

西下谷田遺跡—古代編Ⅱ—

平成20年3月発行

発行 宇都宮市教育委員会文化課

(宇都宮市旭1-1-5)

TEL (028) 632-2764

---